

# 北海道議会時報

平成27年第3回定例会

北海道議会事務局

# もくじ

議会日誌	1
平成27年度北海道補正予算の概要	2
<b>第3回定例会</b>	
概要	3
本会議	5
提出案件	24
決議案	26
意見案	27
請願	33
<b>委員会の動き</b>	
議会運営委員会	34
常任委員会	37
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	47
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
予算特別委員会	54
<b>資料</b>	
第3回定例会において議決を経た条例の公布調	75
7月・8月・9月の出来事	76

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主党・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産



# 議会日誌

## ▶ 8月

- 4日(火) 各常任委員会  
5日(水) 各特別委員会

## ▶ 9月

- 1日(火) 議会運営委員会  
各常任委員会  
2日(水) 各特別委員会  
7日(月) 議会運営委員会  
各常任委員会  
各特別委員会  
8日(火) 議会運営委員会  
**[第3回定例会開会]**  
**本会議** (会期決定〈25日間〉、提案説明)  
議場コンサート  
10日(木) 議会運営委員会  
**本会議** (代表質問〈2人〉)  
11日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (代表質問〈3人〉)  
15日(火) 議会運営委員会  
**本会議** (意見案1件否決、一般質問〈6人〉)  
16日(水) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈5人〉)  
17日(木) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈6人〉)  
18日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈5人〉、予算・決算特別委員会設置)  
予算特別委員会 (正・副委員長の互選、2分科会設置)  
予算特別委員会第1・第2分科会 (正・副委員長の互選)  
決算特別委員会 (正・副委員長の互選)  
決算特別委員会第1・第2分科会 (正・副委員長の互選)  
25日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

28日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

29日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会 (各部所管審査)

30日(水) 予算特別委員会 (各分科委員長報告、総括質疑、意見調整、議案等可決)

## ▶ 10月

- 1日(木) 各常任委員会  
各特別委員会  
決算特別委員会 (決算概要聴取等)  
決算特別委員会第1・第2分科会 (審査日程決定)  
2日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (各委員長報告、議案等可決、追加提出議案説明・同意議決、決議案1件否決、意見案1件否決・4件可決、報告第2号ないし第5号の閉会中継続審査の決定、議員派遣の決定、関係委員会の閉会中請願継続審査及び事務継続調査の決定)

## [第3回定例会閉会]

## 平成27年度北海道補正予算の概要

第3回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

### ○平成27年度北海道一般会計補正予算（第2号）

(単位 千円)

歳 入	歳 出
国 庫 支 出 金 3 4 7 , 7 3 5	総 務 費 2 0 , 4 6 2
財 産 収 入 1 5 , 6 5 0	総 合 政 策 費 1 6 , 8 2 1
寄 附 金 5 , 0 0 0	経 済 費 6 3 , 6 7 2
繰 入 金 4 8 2 , 8 9 5	農 政 費 6 2 7 , 9 5 0
諸 収 入 3 5 , 6 0 8	水 産 林 務 費 2 8 0 , 0 0 0
道 債 3 , 6 8 4 , 0 0 0	建 設 費 4 , 5 5 6 , 1 9 3
繰 越 金 1 , 6 2 0 , 4 1 5	教 育 費 2 5 , 0 1 7
	諸 支 出 金 6 0 1 , 1 8 8
計 6 , 1 9 1 , 3 0 3	計 6 , 1 9 1 , 3 0 3

### ○平成27年度北海道特別会計補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	6 6 , 2 6 3
計	6 6 , 2 6 3

平成27年第3回定例会で可決した補正予算は、総額約62億5700万円。

一般会計に係る歳出予算の主なものは、都市圏の企業等において事業の企画や運営などに実績を有する人材を活用し、道内中小企業等の経営改善を推進するための産業人材育成事業費2200万円、農業機構改革支援基金を積み立てるとともに、速やかな事業の実施を図るための関連経費総額6億2700万円、生徒数の増加に伴う教室不足等を解消するための特別支援学校施設整備費2100万円、本道経済の現状等に鑑み、道の単独施策を講じることとして、道路、河川などの特別対策事業費40億円、公共関連単独事業費8億円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金3億4700万円、繰入金4億8200万円、道債36億8400万円、繰越金16億2000万円。

### 第 3 回 定 例 会

#### ►総額62億5700万円余の平成27年度補正予算を可決◀

##### 概 要

① 平成27年度補正予算案等を審議する第3回定例会は、9月8日に召集され、会議録署名議員の指定等を行い、会期を10月2日までの25日間と決定。

次に、総額62億5700万円余の平成27年度補正予算案及びこれに関連する議案等39件が上程され、知事から提出議案に関する説明。

次に、議案等調査のため、9月9日の本会議を休会することに決定して散会。

② 休会明けの9月10日から代表質問に入り、9月11日に終結。議案等調査のため、9月14日の本会議を休会することに決定して散会。

③ 休会明けの9月15日、意見案第1号「「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書」について、説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、否決。

次に、一般質問に入り、9月18日に一般質問を終結。直ちに予算・決算特別委員会を設置し、議案第8号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に付託することを決定し、残余の議案等を各委員会に付託。

次に、各委員会付託議案等審査のため、9月24日から9月25日まで及び9月28日から10月1日までの本会議を休会することに決定して散会。

④ 予算特別委員会は、9月18日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

9月25日から各分科会において各部所管の審査に入り、9月29日にこれを終了。9月30日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも原案可決と決定。

なお、審査の経緯に鑑み、北海道総合戦略を誰もが住みたい、住み続けたいと思える北海道を築くための指針とすることについて、本道経済活性化のためのASEAN経済交流支援拠点の迅速かつ正確な情報提供と相談支援機能の充実への取り組みについて、災害時における道民の安全確保への取り組みについて、JR北海道に対し、安易な路線廃止、JR日高線の早急な運行再開及び道内の安全運行体制の構築を強く求めることについて意見を付すことについて決定。

⑤ 会期最終日の10月2日は、各付託議案に対する委員長報告、討論の後、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり、議案は原案可決、報告は承認議決。

次に、北海道教育委員会委員等の人事案件4件が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、いずれも異議なく同意議決。

次に、決議案第1号「9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議」について、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、否決。

次に、意見案第2号「生活保護費削減及び住宅扶助・冬季加算削減の撤回・中止を求める意見書」について、説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、否決。

次に、意見案第3号「子ども医療費助成の制度化を求める意見書」等4件について、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、請願1件を採択することについて、委員長報告を省略し、異議なく決定。

次に、議員派遣の件について決定。

次に、報告第2号ないし第5号について、閉会中の継続審査に付することに異議なく決定。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑥ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 案 者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	否 決	継続審査	
知 事	43	24	4	1		4	10
議員・委員会	7	4			3		
計	50	28	4	1	3	4	10

## 本会議

○9月8日（火） 午前10時1分開会、遠藤連議長、平成27年第3回定例会の開会を宣し、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告。

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月2日までの25日間と決定。

**日程第3 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

議案等調査のため、9月9日の本会議を休会することに決定し、午前10時14分散会。

○9月10日（木） 午前10時2分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号**を議題とし、**代表質問**に入り、



**笠井 龍司議員（自民）**から、

1 知事の政治姿勢について

- ・新しい総合計画策定に当たっての臨み方と道民へ訴える内容に対する見解
- ・総合計画の実効性の高め方

・北海道創生総合戦略に関する人口の将来展望の実現方法に対する認識

・総合戦略における将来展望の実現に向けた取り組み方

・今後さらに進行する札幌への人口集中に対する対応の進め方

・地方創生の新型交付金に関する国への働きかけも含めた今後の対応に対する考え方

・新・北海道ビジョンの食の輸出拡大戦略へのオール北海道による取り組みに対する見解

・外国人観光客300万人プロジェクト推進に向けた取り組みに対する考え方

・食の輸出拡大と外国人観光客300万人を結びつけた取り組みの必要性に対する見解

・グローバル人材育成プログラムが目指す姿とその実現に向けた進め方に対する検討の方向性及びプログラムの制定時期の考え方

・道職員短期派遣制度の制度設計の方法と実施時期に対する考え方

・新・北海道ビジョン推進方針に掲げられた政策に関連する政策の推進方法に対する考え方

- ・6月30日に決定した政府の「骨太の方針」で税や交付税などの一般財源の総額を確保することへの評価及び平成28年度以降の道財政への影響に対する認識と今後の財政運営への取り組み方

- ・骨太の方針における地方行政改革に対する認識と今後の取り組み方

### 2 道政上の諸課題について

- ・年度内の制定を目指す小規模企業振興条例と産業振興条例、地域商業活性化条例との目的や施策の方向性などの整理方法及び条例の組み立て方

- ・これまでの中小企業振興に関する施策への評価と小規模企業の振興施策の進め方

- ・持続可能な公共交通網の目標を広い視野から総合的に検討する会議体の設置に向けた今後の取り組みに対する考え方

- ・新千歳空港の深夜・早朝時間帯発着枠の利用促進に向けた今後の取り組みに対する考え方

- ・陸上自衛隊北部方面隊の大規模な地震・津波災害を想定した実践的な防災訓練に対する認識

- ・原子力防災対策に関する泊地域の緊急時対応への課題認識と今後の対応方法

- ・これまでの原子力防災訓練で得られた課題などを踏まえた今年度の訓練内容

- ・炭鉱技術の海外移転事業に関する国の動きに対する受けとめ方

- ・地域経済、地域社会を支える建設業などの振興に向けた取り組みに対する考え方

- ・北海道新幹線の開業に合わせた本道の文化と豊かな自然環境の魅力の発信に対する見解

- ・エゾシカの緊急対策期間における取り組みへの評価と今後の取り組みに対する見解

- ・エゾシカ肉のブランド化を図るための長距離輸送モデル事業や衛生処理施設の認証制度創設への取り組みと道内のレストランなどと連携した利用拡大に向けた取り組みの進め方にに対する見解

- ・二次医療圏ごとの必要病床数の推計から見えてきた将来の医療提供体制の確保に向けた課題とその課題への取り組みに対する見解

- ・医師不足を初めとする多くの課題がある中での地域医療構想の実現に向けた取り組みに対する見解

- ・民間支援団体や当事者などを含めたネットワークの構築による効果的な子どもの貧困対策への取り組みの必要性に対する見解
- ・ホッカイドウ・ハートフル臨時支援事業の基準日後の認定対象者への対応に対する見解
- ・本年度までを期限とする第4期農業・農村振興推進計画の進捗状況に対する評価
- ・農業の振興を図るための第5期計画策定に当たっての考え方
- ・生産性の向上と異常気象にも強い北海道農業を確立するためのパワーアップ事業の計画的な進め方に対する見解
- ・道が取りまとめたロシア200海里水域におけるサケ・マス流し網漁対策とその実施に向けた取り組みに対する見解
- ・未来につなぐ森づくり推進事業への評価と平成28年度以降の事業の充実に対する見解

### 3 教育問題について

- ・学力向上に向けた保護者や地域住民の意識啓発の充実への取り組みに対する見解
- ・広域分散型の本道特性に配慮した高校教育に関する指針の見直しも含めた高校配置計画の早急な検討の進め方に対する見解
- ・公立として道内初の中等教育学校となった登別明日中等教育学校の成果に対する評価及び平成27年度に開設した札幌開成中等教育学校の受験倍率に対する認識
- ・保護者及び生徒への意向調査などによる中等教育学校設置のあり方の見直しに対する見解

### 4 公安問題について

- ・警察署の統合計画の検討の有無及びその計画の内容と進め方

等について質問があり、知事、荒川副知事、山谷副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時4分休憩。午後1時11分再開し、

#### **道下 大樹議員（民主）から、**

- 1 知事の政治姿勢について
  - ・安倍首相の戦後70年談話を知事が肯定的に受けとめた論拠も含めての談話に対する所見
  - ・安全保障法制関連法案に反対する国民、道民の意見への認識と安全保障法制への考え方
  - ・日ロ関係の悪化と安倍首相の言動に対する所



### 見

- ・TPP閣僚会合が開かれたハワイへの知事自らの訪問による成果
- ・TPP交渉をめぐる政府の交渉姿勢に関する報道内容の事実確認と国会決議の遵守状況及び我が国側からの譲歩による北海道の1次産業への影響
- ・ハワイから帰国後のTPPに関する取材で答えた「必要なアクション」の具体的な内容
- ・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の事業採択に当たっての視点と知事判断の状況
- ・道発行の「ホッカイドウ・ハートフル臨時支援商品券」及び「こんにちは赤ちゃん・プレママ臨時サポート商品券」への批判に対する公平な対応
- ・文部科学省の地方創生に関する政策として私立大学の定員を厳格化する方針に対する所見
- ・多くの自治体で結婚支援事業を行わなければならない背景への認識と北海道に先立ち事業を実施している自治体での検証・自己評価の把握状況
- ・晩婚化・未婚化傾向の原因と社会的・経済的な要因及びこれまで取り組んできた政策的な対応の成果の有無に対する認識
- ・自治体における結婚支援事業展開への異議の声に対する所感と北海道結婚サポートセンター委託事業が目的としている具体的な社会像
- ・国土形成計画や道の新しい総合計画などの前倒し見直しが人口減少を主たる理由とすることに対する見解
- ・「人口ビジョン」の人口目標値を「道の新しい総合計画」に盛り込むことに対する所見

### 2 行財政運営について

- ・平成26年度一般会計決算に対する認識
- ・行財政改革における道税・貸付金の徴収や遊休資産売却及び地方交付税確保等の成果とそれを踏まえた今後の歳入確保、歳出抑制策の方向性
- ・先を見据えての道職員のあり方に対する見解
- ・特例的な道債区分や例外などを設けない明確な道債残高目標を設定しての財政運営に対する見解
- ・平成28年度の国の制度改革等を踏まえての新たな行財政計画策定に向けた基本的な方向と

## 策定日程に対する考え方

### 3 エネルギー政策について

- ・九州電力川内原発1号機の再稼働に対する所感とその課題に対する政府の対応への認識
- ・泊原発の再稼働に関する安全性の確保を求めてきた相手方及び安全の根拠に対する見解
- ・6月に実施した世論調査で原発再稼働に63%が反対している民意に対する受けとめ方
- ・再生可能エネルギーを中心とした分散型エネルギー社会を形成していくためのビジョン
- ・日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センター所長の研究期間延長の可能性を示唆した発言に対する所感とその発言に対する事実関係の把握状況
- ・「幌延町における深地層の研究に関する協定書」第7条における研究期間延長の取り扱いに対する見解と研究期間延長に係る協議の申し出があった場合の対応に対する所見
- ・経済産業省の電源立地地域対策交付金の算定基準となる稼働率を引き下げようとする検討の背景に対する認識と引き下げによる交付金を受けている自治体財政への影響に対する考え方
- ・国策により原発関連財政収入に頼らざるを得ない自治体財政に関する今後の産業転換の導き方に対する所見

### 4 1次産業対策について

- ・ロシア200カイリ内サケ・マス流し網漁の禁止に伴う漁船乗組員への仕事の確保に向けた取り組み方
- ・サケ・マス流し網漁業禁止に伴う道と根室市の影響額の試算に差が生じる理由及び今後の対策基盤の数値に対する所見
- ・北洋漁業対策に関する国への要望スケジュールと地域の現状に即した対策を道として講じる考えの有無
- ・農業協同組合法改正に対する認識
- ・農協の准組合員の規制に対する見解
- ・農業・農村の有する多面的機能の維持・發揮を図るための市町村や農協との協働に対する所見

### 5 医療、福祉課題について

- ・道総合保健医療協議会の専門委員会で報告された2025年時点の道内必要病床数推計の診療提供体制や受診状況実態への的確性に対する

## 所見

- ・病床数削減措置の取り組みに当たっての患者への配慮の必要性に対する所見
- ・地域医療構想調整会議における議論の進め方に対する所見
- ・新・北海道病院事業改革プランにおける指定管理者制度導入のあり方に対する所見
- ・子どもの貧困率を押し上げている要因に対する認識
- ・子どもの貧困問題を解決する国の政策・施策に対する認識と道の対策実績
- ・北海道創生総合戦略における子どもの貧困対策の位置づけ
- ・策定中の「北海道子どもの貧困対策推進計画（素案）」の内容に対する認識と今後の取り組みに対する所見

### 6 経済、雇用施策について

- ・北海道小規模企業振興条例の制定時期の狙いに対する所見
- ・道内企業において休廃業の選択がふえている原因分析とそれに対する施策
- ・人口減少と小規模企業数との関係に対する所見
- ・道の小規模企業振興への商店街からの課題提起や要望の状況とそれに対する政策対応
- ・シンガポールへのASEAN経済交流拠点の再設置に対する所見
- ・経済交流拠点をシンガポールに設置する意味合いに対する所見
- ・北海道地方最低賃金審議会の平成27年度の最低賃金に対する所見と労働者支援に向けた政策
- ・使用者側である企業経営者などからの意見を踏まえた抜本的な中小企業への支援の必要性に対する所見

### 7 火山防災について

- ・常時観測対象火山における避難施設や災害情報伝達手段の整備状況
- ・火山噴火時において災害時要援護者に適切な行動をとつもらうための検討・対策内容
- ・火山地域での外国人への防災・避難対策の整備状況に対する所見

### 8 交通政策について

- ・北海道新幹線開業に向けた道とJR北海道との連携、関係への現状認識と今後の対応に対する

る所見

- ・北海道新幹線の高速走行の見込みと最高速度化検討に際しての貨物列車運行への配慮に対する見解
- ・新千歳空港の24時間運用における当面の運航予想と運航開始に伴う各方面への2次交通に対する所見

9 2026年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌招致について

- ・招致推進連絡会議での今後の協議課題と日本オリンピック委員会に提出する開催概要計画書策定の進捗状況
- ・誘致活動を効果的に進めるための全道的なネットワークの展開に対する所見

10 マイナンバー制度と情報セキュリティについて

- ・現時点におけるマイナンバー制度とそのシステムに対する認識及び基礎年金番号との連結開始時期の延期に対する所感
- ・付番開始までの個人情報の流出防止に関する有効策と市町村に対する支援
- ・道及び市町村における情報セキュリティポリシーの策定状況、改訂状況とポリシー順守に対する自己点検、セキュリティ監査の現状

11 教育課題について

- ・全国学力・学習状況調査の目的、子ども達にとっての調査結果の意味、及びポイント差で分析することへの意味
- ・市町村別調査結果の公表のあり方に対する所見
- ・調査結果の公表が子ども達に与える影響への検討の有無と結果公表の必要性及び市町村の意向尊重に対する見解
- ・道教委の施策のみで学力向上を目指すことに対する見解
- ・学力向上を目指すための教育条件の整備、教職員の加配等に対する見解
- ・高等学校配置計画の見直しと保護者への支援の確保策に対する見解
- ・北海道教育大綱策定に向けた教職員や学校関係者の声を反映する手順の必要性に対する見解
- ・知事部局と教育委員会との連携において教育の機会均等への連携を優先することに対する見解

12 犯罪から子どもを守る取り組みについて

- ・子どもに対する重大犯罪の前兆事案が増加している要因に対する見解
- ・子どもを犯罪被害から守るためにの被害防止教育へのこれまでの取り組み方と今後の推進強化の方法
- ・地域の防犯、安全確保のためのネットワークづくりに対する考え方

等について質問があり、知事、荒川副知事、山谷副知事、辻副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後3時30分休憩。午後4時1分再開。あらかじめ会議時間を延長し、同議員から再質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後4時29分休憩。午後4時39分再開し、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後5時5分休憩。午後5時13分再開し、知事から答弁。議事進行の都合により午後5時17分散会。

○9月11日（金） 午前10時3分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号を議題とし、代表質問を継続。**

**山崎 泉議員（結志）**から、

1 知事の道政執行に当たっての基本姿勢について

- ・参議院で審議中の安全保障関連法案への道民の疑問や不安に対する知事の考え方

・7月に開催された環太平洋連携協定（TPP）交渉の閣僚会議にあわせたハワイ訪問で得られた感触と次の会合先への訪問の有無

・道民が北海道経済の景気回復を実感できるようにするための現状分析と対応に対する見解

・観光産業をリーディング産業として育成するために事業の仕組みを変えていく必要性に対する見解と外国人観光客300万人達成のための次年度以降の観光予算の規模に対する考え方

・地方交付税制度改革に関する国の動きに対する考え方と制度見直しによる道財政への影響に対する対応

・現在の「新・北海道総合計画」の「めざす姿」の達成状況とその総括を踏まえた知事の目指す「ほっかいどう未来図」の内容

・新しい総合計画の成案への北海道総合開発委員会計画部会における意見の反映方法



- ・新しい総合計画における優秀な人材育成の必要性に対する見解
- ・計画の推進管理を行うための政策評価制度の内容
- ・地方創生に向けた新型交付金の予算規模と地方負担に対する考え方
- ・観光庁など政府4機関の道内移転のメリット及び選定理由と実現可能性
- ・総合戦略策定に当たっての地域経済分析システム(RESAS)の活用分野と市町村での活用状況
- ・7月下旬に開催した道内の信用金庫との「人口減少問題に関する情報・意見交換会」への期待とその達成状況及び他の金融機関との意見交換の場の設置に対する考え方
- ・現時点における道内179市町村の総合戦略の策定状況と平成27年度中の策定見通し、及び各振興局への相談内容とそれに対するアドバイスの方法

## 2 道政の当面する諸課題について

- ・アイヌ民族の先住民族としての歴史に対する見解
- ・アイヌ文化の普及を通じ民族・文化の多様な価値観を尊重する重要性を世界に向けて積極的に発信することに対する見解
- ・ロシア政府が北方領土の実効支配をますます強化している現実に対する認識と北方四島における日ロ共同経済活動等の新たな取り組みに対する見解
- ・勤労者福祉資金融資制度の充実などによる子育てを経済的にサポートする取り組みの強化
- ・「地域子育て支援拠点」の形態別の特徴と今後の支援拠点の整備に対する考え方
- ・「子ども・子育て支援新制度」における相談、助言を行うための人材確保に向けた取り組み方
- ・貧困状態の子どもや、支援団体の数、活動内容などの把握状況
- ・国の病床削減計画に関連しての医療現場での医療行為への認識と過剰な医療に係る診療報酬請求への対策の必要性に対する見解
- ・病床削減計画と第6期介護保険事業支援計画との関連性
- ・病床削減目標が達成された場合の社会保障費用の抑制状況

- ・新幹線開業戦略推進会議における道東・道北地域への開業効果の拡大を図るためにこれまでの検討と取り組み
- ・北陸新幹線視察で一番参考になった事例と北海道新幹線開業に向けた参考事例の実践方法
- ・電力自由化後における競争原理の確保に対する対処方法
- ・電力の自由化に伴う道内における新規参入の見込みと価格動向の把握方法
- ・道における再生可能エネルギー発電事業者からの電力購入に対する見解
- ・北海道での冬季オリンピック・パラリンピックのコンセプトに対する所見とオール北海道での誘致活動や開催に対する所見、及び招致に向けた取り組み方
- ・災害に対する基本認識と災害に向き合う基本姿勢、「人の強靭化」に向けた取り組みの現状、及び学校現場における教育内容
- ・本道において6次産業化の動きが鈍い原因
- ・6次産業化ファンドの積極的な活用を図っての国内外への販路拡大や新規事業への進出に対する見解
- ・サケ・マス流し網漁業禁止に伴う道東地域における漁業生産の再生への具体的な取り組み
- ・水産資源対策に関するこれまでの取り組み状況と今後の取り組みの方向性
- ・地域の森林を守り育てていくための道民との協働による森林づくりへの今後の取り組み方
- ・高性能林業機械の導入を進めるための今後の路網整備の進め方

## 3 教育問題について

- ・総合教育会議の特性を生かした教育行政の推進や諸課題の対応などへの取り組み方に対する所見
- ・平成27年度全国学力・学習状況調査の結果に対する認識とこれまでの改善方策に対する総括
- ・人口減少問題を抱える中での今後の道立高校配置計画のあり方に対する考え方と公立高校施設のあり方検討に対する所見
- ・小・中・高等学校での献血に関する学びの現状と今後の学ぶ機会の確保に対する所見

## 4 公安問題について

- ・本道での飲酒運転多発の原因分析と飲酒運転による事故防止対策の方針

- ・子どもと女性の被害を防止するための取り組み及び悲惨な事件の被害に遭わないための注意点

等について質問があり、知事、荒川副知事、山谷副知事、辻副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午前11時55分休憩。午後1時2分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。



### **荒當 聖吾議員（公明）から、**

- 1 知事の政治姿勢について
  - ・関係者が一体となった「北海道国際交流プラットフォーム」づくりによる連携強化と国際化に向けた強力な推進体制の構築に対する所見
  - ・海外からの投資促進に向けた具体的な取り組みの展開に対する所見
  - ・新たな国際交流の取り組みの発信に対する所見と本道における東アジア版「ダボス会議」の開催によるプレゼンス向上に対する所見
  - ・留学生の受け入れ拡大に向けた取り組みに対する所見
  - ・個性豊かな農山漁村に恵まれた北海道の世界農業遺産登録に向けた検討に対する所見
  - ・人口減少という現下の厳しい状況を打破するための新しい総合計画に対する所見
  - ・「北海道創生総合戦略」の各プロジェクトを着実に推進するための具体的な取り組みと各プロジェクトごとの重要業績評価指標の進捗状況の検証に対する所見
  - ・JR日高線の早期再開に向けた三者協議における今後の取り組み方に対する所見
  - ・JR日高線復旧工事の早期着手に向けた道の取り組み方に対する所見
  - ・JR日高線の利用拡大に向けた検討に対する所見
- 2 北海道新幹線について
  - ・新函館北斗駅開業に向けたこれまで以上のオール北海道体制による取り組みに対する所見
  - ・開業効果を全道に波及させるための関係機関との連携による旅行商品づくりに対する所見
  - ・開業時における道南地域での道内各地の食や物産等の情報発信への取り組みに対する所見
  - ・国内外に誇れる縄文文化等の地域資源に関する情報発信やPRイベントに対する所見
- 3 道内空港の活性化について

- ・道内地方空港における新規路線の誘致を図るための積極的な財政支援に対する所見と新函館北斗駅の開業に向けた新規路線開設による二次交通の確保に対する所見

- ・地方空港の利用促進を図るための積極的なインバウンド拡大への取り組み及び実効性のあるアウトバウンド対策に向けた検討に対する所見

### 4 観光振興について

- ・道外・海外からの観光客が本道にもたらす経済効果の把握方法及び今後の観光施策の方針検討に対する所見
- ・外国人観光客の受け入れに向けた重点的な取り組みの展開に対する所見

### 5 医療・福祉対策について

- ・道と関係機関が一体となった新たな医師派遣システムの構築に向けた検討に対する所見
- ・札幌医科大学における再生医療の実用化に向けた具体的な見通し及び再生医療研究に対するこれまで以上の積極的な支援に対する所見
- ・老朽化した札幌医科大学附属病院の今後の整備の進め方に対する所見
- ・道立病院と札幌医科大学との経営統合を検討するための協議機関の設置に対する所見
- ・児童虐待防止に向けた取り組みの強化に対する所見
- ・児童を取り巻く状況が大きく変化する中での児童相談所の一層の体制強化に対する所見

### 6 水素エネルギーについて

- ・新たな条例制定などによる水素エネルギーの開発や導入促進に対する所見

### 7 知床世界自然遺産について

- ・知床の自然環境の保全と適正な利用の両立を目指した条例制定に向けての今後の取り組み方に対する所見
- ・大幅にふえている外国人観光客への対応に対する所見
- ・冬期間の観光客の増加を図るための今後の積極的な支援及び国道の整備促進と斜里町ウトロ地区の医療体制整備の必要性に対する所見

### 8 オリンピック・パラリンピックについて

- ・「ホストシティ・タウン構想」の推進による地域の活性化に対する所見
- ・東京オリンピック・パラリンピックを通じた本道の活性化に向けての実効性のある施策展

## 開に対する所見

### 9 農業問題について

- ・第5期北海道農業・農村振興推進計画策定に当たっての新たな視点からの抜本的な見直しの必要性に対する所見
- ・食料供給基盤強化特別対策事業の継続実施に対する所見と平成28年度以降の事業展開スケジュール
- ・国の米政策の見直しに伴う稻作農家の経営状況に対する認識と稻作農家の経営安定に向けた今後の取り組み方に対する所見

### 10 サケ・マス流し網漁業について

- ・ロシア水域におけるサケ・マス流し網漁業の禁止による関連産業への影響に対する国や関係機関などと連携した対応

### 11 社会資本整備の計画的な推進について

- ・社会資本整備に係る計画の着実な推進に向けた具体的な取り組みの展開方法及びその進捗状況の毎年度の検証に対する所見
- ・市町村が対応困難な大規模な事業や高度な技術力を必要とする事業への支援に対する所見

### 12 不登校児童生徒への対応について

- ・不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保及び不登校を未然に防ぐことへの認識と対応

### 13 少年の犯罪防止について

- ・少年の犯罪防止に向けた抜本的な非行防止対策の取り組みに対する所見

等について質問があり、知事、荒川副知事、山谷副知事、辻副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後3時9分休憩。午後3時33分再開し、あらかじめ会議時間を延長。



**宮川 潤議員（共産）**から、

- #### 1 知事の政治姿勢について
- ・安倍首相が発表した「戦後70年談話」への評価
  - ・8月15日に知事が発表した「戦没者を追悼し平和を祈念する日」の談話における強制連行の歴史等の包含の有無及びさきの戦争に対する歴史認識

- ・安倍政権の戦争法案に対する国民世論等の捉え方及び法案廃止に対する所見
- ・地域防災計画に記載のない外国軍の訓練参加への根拠及び自治体、道民への説明と地元での受けとめ

・道の指揮権が及ばない軍軍調整所等設置の事実関係、実動訓練における道の役割及び防災訓練と軍事訓練の違い

- ・米の輸入枠拡大提案に関する道内への影響の捉え方と反対表明に対する考え方
- ・TPP交渉をめぐる政府の姿勢に対する考え方
- ・新総合計画に対する基本的スタンス
- ・新総合計画の「経済成長の動向」への1次産業等に関する強化方策の盛り込み方
- ・札幌市への人口集中等の要因と課題の分析状況及び新総合計画においての示し方
- ・計画に盛り込まれた雇用・医療分野の見直しの考え方の有無

### 2 道民生活について

- ・これまでの総合振興計画や過疎対策などにおける人口減少や地域衰退への対処計画としての有効性に対する認識
- ・秋田県や長野県のような道民生活を直接応援する政策の実施と非雇用の抜本的な対策への取り組みに対する考え方
- ・地方創生と現在進めている政策との逆行性に対する所感
- ・自治体と住民が主役の地域活性化を進めるまでの道と振興局の役割
- ・JR北海道再生推進会議の提言書に掲げられた「選択と集中」による地方線切り捨てを初めとする住民の不利益に対する知事の対応状況
- ・JR北海道が受けた追加支援の使途を地方線の安全対策とすることに対する認識
- ・JR北海道の地方自治体及び利用者を軽視した利益追求一辺倒の動きへの受けとめと留萌本線の廃止及び留萌一増毛間の廃線への対応
- ・駅の無人化等のJR北海道における安易な地方切り捨ての姿勢に対する受けとめとその対応
- ・JR日高線の運行再開実現に向けた取り組み方
- ・医師・看護師不足による病床閉鎖の実態の把握状況と必要な医療が受けられない住民の叫びへの受けとめ
- ・地域医療構想調整会議の情報開示の方法と地域要望の反映方法及び介護・福祉分野の代表を加えた委員構成に対する考え方
- ・病床削減に伴う公立病院における交付金の減少と病床確保に与える影響への考え方
- ・自治体病院が公的責任を果たすための道の支援と公的性格を持つ自治体病院のあり方

- ・子どもの貧困に関する全体像の捉え方
- ・子どもの診療窓口負担に関する道と市町村との給付方法の相違に対する問題意識
- ・群馬県における中学校卒業までの医療費無料化への取り組みに対する評価及び道における助成制度の対象拡大と現物給付に対する考え方
- ・子ども医療費の無料化に向けた国への働きかけに対する考え方

### 3 経済・産業政策について

- ・東京電力福島第一原発事故に対する現状認識
- ・九州電力川内原発の再稼働への受けとめ方とそれから得られた教訓
- ・泊原発避難計画への現状と問題認識
- ・福島第一原発事故の前後における道内の再生可能エネルギー導入実績と導入拡大に向けた今後の取り組み方に対する見解
- ・2020年の電力システム改革の完結に向けた自然エネルギー供給に関するビジョンや計画を持っての積極果敢な取り組み
- ・貧困と格差が社会現象となっている中での最低賃金の果たす役割と地域格差拡大による影響への考え方
- ・安い労働力で企業誘致を図ったことと逆行した人材流出と人口減少への受けとめ
- ・2020年までに最低賃金の全国平均1000円を目指すとした政労使合意の実現に向けた国への要請
- ・本道の9割以上を占める経営力の弱い中小企業への支援に対する考え方と今後の取り組み
- ・技能労働者の確保と社会保障の加入促進を目的とした国の設計労務単価の大幅な引き上げ後の道の指導による改善状況及び道発注工事における社会保険未加入の事態への受けとめとその対処方法
- ・道発注3部で設計労務単価を下回る工事がふえている要因分析と今後の対策強化の考え方
- ・設計労務単価を下回った場合の下請け事業者への今後の対応に対する所見

### 4 第1次産業について

- ・ロシア200海里サケ・マス流し網漁禁止に係る今後の対策の取り組み方

### 5 教育問題について

- ・道立学校施設での雨漏りに関する認識、教育環境への考え方、及び早急な改修要望への対

応

- ・帶広養護学校における児童生徒数の増加に伴う現状把握と十勝管内全体としての特別支援学校の配置検討

等について質問があり、知事、荒川副知事、山谷副知事、辻副知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後5時38分散会。

**○9月15日（火）** 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 意見案第1号**を議題とし、稻村久男議員（民主）から意見案第1号に関する説明の後、委員会付託を省略し、起立採決の結果、起立少数により否決。

**日程第2 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号**を議題とし、一般質問に入り、

**太田 憲之議員（自民）**から、

1 新千歳空港24時間運用について

- ・新千歳空港の深夜・早朝時間帯の発着枠拡大に伴う具体的な経済効果と想定している周辺地域への経済効果や雇用創出効果

・航空会社による深夜・早朝時間帯の発着枠活用に向けた二次交通対応の具体的な進め方

2 アライグマ対策等について

- ・全道一丸となったアライグマ捕獲の実施状況とその成果及び効果が期待できる広域的な対策への今後の取り組み方

3 防災対策について

- ・耐震診断が未実施又は報告期限までに間に合わない大規模建築物への対応方法
- ・改正耐震改修促進法に基づく地方公共団体における緊急輸送道路の指定に対する考え方
- ・災害避難所における非常用電源等の整備状況及び大規模災害時に備えたライフラインの供給状況の把握の必要性に対する見解

4 子育て支援施策について

- ・どさんこ・子育て特典制度の目的
- ・どさんこ・子育て特典制度に取り組む市町村数や協賛店舗数、制度を普及するための課題
- ・どさんこ・子育て特典制度の推進に向けた今後の取り組み方

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部

交通企画監、環境生活部長、保健福祉部少子高齢化対策監及び建設部建築企画監から答弁。



**菅原 和忠議員（民主）から、**

1 人口減少問題について

- ・これまでの本道における人口減少問題に対する認識と早くから対策を立ててこなかったことに対する見解

- ・若年者の雇用確保と労働条件の改善に対する見解

- ・今後の周産期医療の充実、初産への対応に向けた見通しなどに対する所見

- ・人口減少対策への目標設定に対する所見

2 JR北海道の課題について

- ・日高線の災害復旧工事に関する今後の三者協議の見通しに対する所見

- ・留萌線の留萌一増毛間の廃止による移動手段の確保と不利益の軽減に向けた対応に対する所見

- ・JR北海道再生推進会議の意義と会議での議論の方向性に対する見解

3 北海道インフラ長寿命化計画について

- ・人口減少・超高齢社会を迎える効率的な社会資本整備を行う上で現状認識と今後の管理・更新に対する基本的な考え方

- ・各種インフラの更新や改修のスケジュールに対する考え方

- ・新しい総合計画との整合性に対する見解

4 小規模企業の振興について

- ・政府の経済対策を含めた北海道経済の状況に対する認識

- ・「小規模企業振興条例」に基づく施策イメージ及び平成26年度から実施されている「地域中小企業経営力向上支援事業」と「中小企業後継者対策支援事業」などとの関係性

- ・「小規模企業振興条例」の実効性を高めるための戦略計画の策定及び成果目標の設定に対する考え方の有無

5 北海道食の輸出拡大戦略について

- ・輸出品目の拡大と輸出額の少ない品目の輸出拡大への考え方及び中国における道内産ホタテの横流しや偽装への対策に対する所見

6 喫煙・飲酒の年齢制限引き下げについて

- ・改正公職選挙法の成立を踏まえた喫煙・飲酒年齢制限引き下げに対する所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部交通企画監、保健福祉部長、経済部長及び経済部食産業振興監から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時25分休憩。午後1時1分再開し、



**加藤 貴弘議員（自民）から、**

1 シンガポールでの販路拡大について

- ・シンガポールの民間アンテナショップによる道産食品の販路拡大への取り組みや実績

- ・現在のアンテナショップを活用した「北海道どさんこプラザ」としての展開に対する考え方

2 北海道新幹線について

- ・北海道新幹線の新青森—新函館間の開業に向けたより一層の気運の醸成に対する所見

- ・札幌への延伸に向けた課題とその解決への取り組みに対する考え方

- ・札幌の早期開業に向けた取り組みに対する考え方

3 障がい者スポーツの振興について

- ・初めて合同開催した「北海道マラソン」と「はまなす車いすマラソン」の結果に対する認識及び「はまなす車いすマラソン」の充実への取り組みに対する所見

- ・パラリンピック競技の推進に向けたトップアスリートへの支援の進め方

- ・東京パラリンピック大会の開催や札幌パラリンピック大会の招致成功に向けた取り組みに対する所見

4 女性の活躍支援について

- ・ロールモデルへの期待と紹介する女性などに対する見解

- ・男性のロールモデルの積極的な紹介などによる女性への活躍支援に対する見解

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部長、保健福祉部長及び経済部長から答弁。



**中川 浩利議員（民主）から、**

1 JR路線の廃止・駅の無人化について

- ・JR北海道再生推進会議の提言書の内容とJR北海道の留萌一増毛間の路線廃止に対する見解

解

- ・他の赤字路線の存続に向けたJR北海道への要

### 請に対する見解

- ・JR北海道による関係自治体への説明責任に対する見解

### 2 防災対策について

- ・避難場所の現在の指定状況
- ・各自治体における救援物資の備蓄に関する考え方
- ・各自治体における避難行動要支援者名簿の作成に対する考え方と道の取り組み方

### 3 政府機関の地方移転について

- ・閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」による政府機関の地方移転に向けての道の提案概要
- ・政府機関の誘致を決めた経過と道の提案により地域の「人」や「仕事」の好循環を生み出すための道筋に対する見解
- ・誘致決定までのプロセス
- ・誘致成功に向けた知事の決意
- ・札幌の持つ機能の地域移転に対する考え方

### 4 子どもの貧困対策について

- ・子どもの貧困解消に向けた責任ある体制づくりに対する見解
- ・大学などの高等教育における給付型奨学金の拡充強化に対する考え方

### 5 教職員の多忙化解消について

- ・学校現場における教職員の多忙化の現状及び児童生徒に及ぼす影響に対する捉え方
- ・教職員の勤務時間に関する管理体制の整備と超過勤務時間の解消に向けた業務管理の是正を行う体制の構築に対する考え方

### 6 通学路の安全対策について

- ・住民等から信号機等の交通安全施設の設置要望を受けた場合の手続と通学路の安全確保を図るための対策
- ・地域等と連携した交通安全の指導方法と通学路の安全確保に向けた今後の取り組み方

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部長、総合政策部交通企画監、保健福祉部少子高齢化対策監、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後2時34分休憩。午後3時1分再開し、



### 丸岩 浩二議員（自民）から、

#### 1 野生鳥獣対策について

- ・野生鳥獣による被害の防止に向けた札幌市と連携しての取り組みに対する見解
- ・ヒグマによる被害の防止のための安全に十分配慮した確実な捕獲に対する見解

#### ・全道におけるヒグマの生息数の推定

### 2 国民健康保険について

- ・本道の国保医療費が全国平均より高くなっている状況への考え方
- ・国民健康保険料に関する指標が全国の水準を上回っている本道の保険料に対する認識
- ・市町村国保が抱える医療費が高いことや保険料負担が大きいといった課題への今後の対応方法

### 3 終末期医療について

- ・がん患者の緩和ケアのニーズに対応するためのこれまでの取り組み方
- ・長期にわたり療養生活を余儀なくされる患者に対する現在の取り組み方
- ・在宅医療の推進に向けた今後の取り組み方

### 4 建設業における担い手の確保・育成について

- ・建設業への入職を促進するための担い手の確保育成に向けた積極的な取り組みに対する所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長及び建設部長から答弁。



### 白川 祥二議員（結志）から、

#### 1 経済、産業対策について

- ・道内中小企業における昨年を上回る水準の賃上げの動きの把握状況及び本道経済の現状と先行きに対する認識
- ・道内各地の厳しい産業経済の実情を受けとめたきめ細かな地域経済対策の必要性に対する見解
- ・国の地域消費喚起・生活支援型交付金による経済効果の検証と今後の施策への反映に対する見解
- ・企業誘致活動の強化に向けた地域ごとのきめ細かな情報提供による宣伝誘致活動への今後の取り組み
- ・良質な住宅づくりに向けたこれまでの取り組

み

- ・住宅需要の拡大に対する対応方法
- 2 1次産業の振興について
- ・カロリーベースと生産額ベースの食料自給率への受けとめ及び新しく策定する農業・農村振興計画への反映方法
  - ・TPPに関する主食米などの受け入れや酪農畜産物の大幅関税削減等の報道に対する受けとめと国会決議との関連に対する解釈
  - ・国際化へ対応するための道内各地域の特色を生かした多様な農業の推進に向けた関係施策の強化に対する見解
  - ・農業協同組合法の改正への受けとめ及び農業の将来を見据えた農協の目指す姿が示されることの必要性に対する所見
  - ・優良農地を確保する観点からの農業委員会制度の改正に対する受けとめ方
  - ・「第5次地方分権一括法」における国から地方への農地転用許可権限の移譲と指定市町村制度の創設に対する捉え方
  - ・食料生産基盤整備の確保に向けた予算措置に関する国への働きかけに対する見解
  - ・農業の担い手確保に向けた多様な人材育成体制の強化の進め方に対する見解
  - ・沿岸漁業の現状や課題を踏まえた関係施策の充実に対する見解
  - ・100年先を見据えての国有林と民有林との連携を強めた森林づくりの進め方に対する見解
- 3 農業高校教育の充実について
- ・農業高校における地域の農業・農村を守り将来の発展を担う人材育成の必要性に対する認識及び道教委と知事部局との連携による農業教育の一層の充実に対する所見

等について質問があり、知事、経済部長、農政部長、水産林務部長、建設部建築企画監及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時31分散会。

○9月16日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号**を議題とし、**一般質問**を継続。



**大越 農子議員（自民）**から、

- 1 「まんが・アニメ王国ほっかいどう」の発信について
- ・漫画文化の振興や観光客の誘致、コンテンツ関連産業の育成及び若者の雇用の場の創出などにつなげる「まんが・アニメ王国ほっかいどう」への今後の取り組み
- 2 子どものネット利用について
- ・インターネットトラブルに関する保護者への啓発や相談体制充実への取り組みに対する見解
  - ・「どさんこアウトメディアプロジェクト」への取り組みの推進状況とそれに対する認識
  - ・子どものネット利用に関する取り組みの必要性に対する見解
- 3 女性の活躍支援について
- ・相談員の配置やポータルサイト構築などの女性の活躍支援に係る具体的な進め方
  - ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律制定を受けての取り組み方
  - ・増加傾向にあるDV被害を受けた女性の状況と相談体制の整備に対する認識
- 4 高齢者の見守り支援等について
- ・平成24年の孤立死事案発生後の取り組み方と孤立死の根絶に向けた今後の取り組み方
  - ・介護サービスの担い手を確保するためこれまでの取り組み方と市町村への今後の支援に対する考え方
  - ・団塊の世代が75歳になる平成37年に向けた地域包括ケアシステム構築への取り組み方
- 5 道の知的財産戦略について
- ・冒認出願の事例が顕在化してきている北海道ブランドを守るために体制強化と知的財産流出に係る全体像の調査の必要性に対する見解
  - ・地理的表示保護制度の活用に対する所見
  - ・北海道ゆかりのロゴや音声も知的財産として保護するための対策に対する所見
  - ・オール北海道での知的財産戦略に関する体制強化に対する所見
- 6 モンゴル国への植林技術支援について
- ・寒冷地での植林技術による国際協力へのこれまでの取り組み状況と今後の支援に対する所見
- 7 中東諸国への輸出拡大に向けた取り組みにつ

いて

- ・ドバイを中心とした食の輸出拡大の狙い
- ・中東市場の開拓に向けた道内企業と現地企業との参加によるビジネス交流会の成果に対する道の捉え方及び今後の取り組みに対する見解
- ・ハラール対応が必要な牛肉のテスト輸出に向けた関係者による連携体制の構築とそのテスト結果の生かし方
- ・中東諸国における食を中心としたトップセールスの展開に対する見解

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長、経済部食産業振興監、水産林務部長及び教育長から答弁。



**志賀谷 隆議員（公明）** から、

- 1 海外との経済交流について
  - ・ロシア極東地域との経済交流に向けた今後の展望と具体性のあるビジネスモデルの展開に対する所見
  - ・中東の国々に北海道を積極的に売り込む戦略的な取り組みの展開に対する所見
- 2 地方創生について
  - ・政府関係機関の移転に向けた道提案の考え方
  - ・政府関係機関の道内への移転実現に向けた今後の取り組みに対する所見
  - ・東京都特別区と道内町村会との活力あるまちづくりに向けた連携、交流への支援に対する所見
- 3 医療・福祉対策について
  - ・地域医療構想策定に当たっての地域センター病院機能の強化に対する所見
  - ・難病医療法に基づく国の難病対策の見直しに対する評価
  - ・国の助成制度の対象となっていない難病への道独自の助成制度の継続に対する所見
  - ・我が国における子どもの貧困状況に対する認識
  - ・北海道子どもの貧困対策推進計画（素案）の着実な推進に向けた具体的な取り組みの展開に対する所見
- 4 スキー場の安全対策について
  - ・バックカントリースキーへの関係機関との連携による安全対策に対する所見
- 5 観光地におけるドローン対策について

- ・観光客がふえている中での観光地における道独自のドローン対策の検討に対する所見

6 更生保護について

- ・矯正施設から退所した高齢者の地域での受け入れへの認識と対応に対する所見
- ・矯正施設の退所者等を支援する地域生活定着支援センター数の拡大と社会福祉施設や事業所での受け入れ拡大への取り組み方に対する所見
- ・高齢者や少年の犯罪防止に向けた具体的な対応に対する所見

7 「チーム学校」について

- ・多様化する子どもの問題への対応策としての「チーム学校」に対する認識

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時36分休憩。午後1時1分再開し、



**千葉 英也議員（自民）** から、

- 1 新しい総合計画（素案）について
  - ・新しい総合計画策定に係る道民意向調査結果の反映状況及び将来への「投資政策」の反映に対する見解
  - ・未来を切り拓く人材育成のための新しい総合計画を学ぶ機会の構築に対する見解
- 2 北海道人口ビジョン（素案）について
  - ・北海道人口ビジョンにおける人口予測数に対する見解
  - ・札幌市への人口集中などを踏まえた若者世代の都市部流出に対する見解とその対策及び都市部の出生率向上に対する見解とその対策
- 3 北海道創生総合戦略（素案）について
  - ・戦略の推進管理手法としての重要業績評価指標（KPI）の設定とPDCAサイクルの確立の仕方及び戦略を効果的に推進するための「北海道創生協議会」の機能強化の図り方
  - ・各振興局における各市町村との創生総合戦略策定に関する連携状況と今後の支援体制、及び総合戦略推進に向けた振興局間の連携に対する見解
  - ・国が推進する「小さな拠点」づくりの考え方を生かしての人口減少問題に対応した新たな集落づくりに対する見解

#### 4 「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想について

- ・「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想に対する見解と今後の計画内容
- ・市町村の「生涯活躍のまち基本計画」策定への支援に対する見解と行政枠を超えた広域自治体での取り組みへの振興局との協働連携やかかわり方に対する見解

等について質問があり、知事及び総合政策部長から答弁。



**藤川 雅司議員（民主）** から、

##### 1 森林づくりを担う人材の育成について

- ・「北海道森林整備担い手対策基金」の運用益を活用したこれまでの取り組みと課題

- ・林業の担い手確保に向けた今後の取り組みに対する考え方

##### 2 北海道100年記念施設について

- ・北海道150年事業の展開に向けた「百年記念塔」や北海道開拓村の建物の老朽化対策に対する所見

##### 3 主権者教育について

- ・公職選挙法の改正に伴う高等学校での主権者教育に対する認識と今後の進め方

等について質問があり、知事、環境生活部長、水産林務部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時1分休憩。午後2時32分再開し、



**菊地 葉子議員（共産）** から、

##### 1 日本海漁業振興について

- ・日本海の漁業振興に必要な新しい取り組みが地域に根付いていくための支援策と今後の振興対策の進め方

- ・効果的な密漁対策の強化に向けた具体的な対応

##### 2 地方公共交通のあり方等について

- ・JR北海道室蘭線の鶴別駅無人化への受けとめとJR北海道への地域の立場に立った強い申し入れに対する所見

- ・駅舎のバリアフリー化実現に向けたJR北海道と国への働きかけの強化に対する所見

##### 3 再生可能エネルギーの振興等について

- ・北電京極発電所の工事に関する予定価格と落札価格及び主な工事の入札形態と落札企業名
- ・再生可能エネルギーの積極的な普及拡大への

取り組みに向けた北電や経産省に対する要請

- ・東京電力における揚水発電所を利用した再生可能エネルギー受け入れへの取り組みに対する評価と北電において揚水電力を活用した再生可能エネルギーの普及拡大に努めるに対する考え方

#### 4 総合教育大綱について

- ・総合教育大綱（素案）の目的に「人格の完成」を据えることに対する考え方
- ・大綱における「ふるさと教育」の考え方
- ・ワーカルール教育及び高校における就職支援教員の増員に対する考え方
- ・教育環境の整備に関する現状把握と施設整備の加速に対する見解
- ・少人数学級の推進に向けた取り組みに対する見解
- ・大綱への子どもの意見の反映に対する取り組み方

#### 5 道立高校配置計画について

- ・地域に必要な教育のあり方検討に対する考え方
- ・小樽市内における稚拙な職業高校の統合再編に対する問題意識と新設校の学科のあり方にに対する今後の決め方

#### 6 自衛隊による就職勧誘等について

- ・自衛隊の家庭訪問による就職勧誘事実の把握状況とその必要性
- ・就職ルールに関して自衛隊北部方面本部または協力本部に要請した内容とさきの事例における求人ルール違反に対する認識
- ・各自衛隊地方協力本部による住民基本台帳をもとにした中学生の適齢者名簿提出に関する改善状況
- ・住民基本台帳により適齢年齢者情報を提供した場合の市町村による住民への対応に対する所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部交通企画監、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時32分散会。

○9月17日（木） 午前10時2分開議、諸般の報告の後、議長から、元議員樺林巖氏の逝去（9月16日）について弔意を表した旨報告。

## 日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号を議題とし、一般質問を継続。



道見 泰憲議員（自民）から、

- 1 北海道創生総合戦略の実現について
  - ・北海道創生総合戦略の素案に掲げる「道産食品輸出1000億円戦略」と「外国人観光客300万人戦略」の最終到達点

- ・「外国人観光客300万人戦略」における目標値の算出根拠と今後の定期的な調査による道独自の根拠に対する考え方
- ・戦略実現に向けての外国人観光客の増加を見込んだ受け入れ体制に関する民間との連携と民間への要請状況

### 2 道内地方空港の活性化及び札幌丘珠空港の役割と将来像について

- ・「道内空港活性化ビジョン」等の見直しに向けた具体的な取り組みに対する見解
- ・新千歳空港を初めとする地方空港の需要予測とそれに対する施設拡充の予定、及び今後4年間とその先の対応方法
- ・火山発災時に新千歳空港が被災した場合の関係先との連携と代替機能の計画
- ・札幌丘珠空港の広域総合防災拠点化実現に向けた札幌市との協議及び国への働きかけに対する考え方
- ・道内地方空港の中心的役割を果たす札幌丘珠空港の可能性と「外国人観光客300万人戦略」等の実現に向けた札幌市との連携に対する考え方
- ・民間投資を喚起するための知事の覚悟

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部交通企画監及び経済部観光振興監から答弁。同議員から発言。

広田 まゆみ議員（民主）から、

- 1 知床世界自然遺産の保全と活用のあり方について
  - ・知床世界自然遺産条例制定に当たっての知床の10年間への評価とそこから学ぶべきもの

に対する認識及び知床地域に果たすべき役割に対する見解

- ・知床エコツーリズム戦略に基づく地域主体の意思決定に係る仕組みの重要性に対する認識とその活用方法に対する考え方

### 2 北方領土隣接地域振興のあり方について

- ・北方四島隣接地域への文化資本の整備や人材育成に関する戦略的な投資に対する見解
- ・脱化石燃料基地としての隣接地域の振興に関する道の役割に対する見解

### 3 再生可能エネルギー促進のための法制度整備等について

- ・北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例の意義と果たしてきた役割等に対する認識及び脱原発の視点に立った条例改正や施策等の見直しの必要性に対する所見
- ・太陽光発電導入の現状と課題の把握状況及び推進方法に対する考え方
- ・小水力発電の導入に向けた新たな取り組みの必要性に対する見解
- ・再生可能エネルギーを促進するために企業局が果たすべき役割に対する考え方
- ・風力発電導入における環境影響評価のあり方と道が果たすべき役割に対する見解

### 4 スポーツ振興政策の新たな展開について

- ・スポーツ行政推進のあり方見直しの目的とその成果及び課題認識とスポーツ政策の推進に向けた今後の取り組み方
- ・地域におけるスポーツ政策推進のためのスポーツコミュニケーションの必要性や取り組み方及び人材の育成確保に対する取り組み方

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長及び経済部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時34分休憩。午後1時1分再開し、

船橋 賢二議員（自民）から、

- 1 今後の行財政運営の手法について
  - ・「新しい総合計画」の策定に伴う政策評価制度の見直しの必要性に対する見解

- ・道民が求める質の高い道政の実現に向けた今後の政策評価に対する見解
- ・道の業務におけるこれまでの民間開放の取り組みに対する見解
- ・翌年度以降の行政改革への積極的な民間活用の検討に対する見解

### 2 北海道新幹線と青函トンネルについて

- ・本州との安定的な輸送手段の確保にとっての鉄道貨物輸送の重要性に対する認識

- 平成28年の北海道新幹線開業に向けた青函トンネル内における安全対策の早期徹底の要請に対する所見
- 3 北海道消防防災ヘリとドクターへリの役割分担について
- ドクターへリの導入拡大に伴う消防防災ヘリの運航状況
  - 救急活動における消防防災ヘリとドクターへリとの役割分担と連携
  - 道以外のヘリを有する防災関係機関との役割分担や連携に向けた取り組み方
- 4 微小粒子状物質（PM2.5）について
- 微小粒子状物質（PM2.5）に対する認識
  - 道東などの未測定地域におけるPM2.5の測定局の整備に対する考え方
- 5 本道の農産振興等について
- 気象変動にも対応できる畑作かんがいの整備に向けた取り組み方
  - 道産小麦の安定供給体制の確立に対する見解
- 6 北海道林業の活用について
- 木育による東北被災地への応援プロジェクトの成果に対する評価と今後の取り組み方に対する所見
  - 直交集成板（CLT）の実用化に向けた具体的な取り組みに対する所見
- 等について質問があり、知事、総務部長、総務部危機管理監、総合政策部交通企画監、環境生活部長及び農政部長から答弁。
- 佐々木 恵美子議員（民主）** から、
- 1 地域生活を支援する助成制度について
    - 地域生活支援事業の重要性への認識と市町村の超過負担が生じない取り組みへの考え方
  - 私立小中学校に対する国の教育改革推進事業を活用しない理由
  - 地域づくり総合交付金の見直しに対する見解と交付金制度を活用する際の募集に関する周知方法への考え方
  - 地域や住民にとって本当に必要な施策への積極的な対応の必要性に対する所見
- 2 帰国子女に関する教育について
- 全国と全道における帰国子女の人数と国際化、グローバル化に伴うここ数年の推移、及び在住していた児童生徒が多い国
  - 帰国子女を受け入れている学校の課題と課題

を解決するための取り組み方

- 帰国子女の海外経験を生かしての国際理解教育を充実させる取り組みに対する見解
- 私立学校における帰国子女の受け入れ制度に対する認識と今後の支援方法に対する見解
- 帰国子女の教育にかかるこれまでの取り組み方と今後の取り組みに対する考え方

等について質問があり、知事、総合政策部長、保健福祉部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時30分休憩。午後3時1分再開し、



**村木 中議員（自民）** から、

- 1 新たな広域連携について
  - 市町村連携地域モデル事業の推進に当たって地域が抱える課題とその課題解決に向けた取り組み方

- 実効性の高い広域連携を進めていくための道のかかわり方

2 農業基盤整備事業について

- 強い北海道農業を実現するための農業農村整備予算の確保に向けた今後の取り組み方

3 道産ワインについて

- 道産ワインを発展させていくためのワイン用ぶどうの安定供給に向けた生産拡大への取り組みに対する所見

- 道産ワインのブランド力向上を図るための人材育成への取り組みに対する所見

4 学力・体力向上に向けた地域教育力の活用について

- 保護者への家庭教育支援に対する取り組み方
- 地域連携を担当する教職員への社会教育主事有資格者の効果的な活用に対する見解
- 学校内における社会教育主事有資格者の養成に向けたこれまでの取り組み状況と今後の対応に対する見解

5 特別支援教育について

- 市町村の地域実情に応じた特別支援教育への支援に対する対応

等について質問があり、知事、総合政策部長、農政部長及び教育長から答弁。



### 新沼 透議員（結志）から、

- 1 行財政改革について  
・行財政改革の取り組みにおいてコンパクト道庁を目指した狙いと行政のスピーディ化の実績に対する見解

- ・採用試験制度の変更に伴う人材確保に対する見解と入庁後における人材のスキルアップの方法
- ・新しい行財政計画策定に当たっての現在の財政状況への認識と優秀な人材確保に向けた職員給与の扱い方

2 北海道型地域自律圏について

- ・北海道型地域自律圏の形成に向けた市町村連携地域モデル事業への応募状況及び「北海道創生総合戦略」素案における7圏域への予算措置の有無と想定している地域

3 地域医療の確保について

- ・遠紋地域における周産期医療体制の状況に対する認識と周産期医療体制の確保に向けた対策に対する所見
- ・道内の看護師不足の解消を図るための今後の取り組み方に対する見解

4 交通ネットワークの拡充について

- ・深夜・早朝枠拡大を契機とした新千歳空港の拠点空港としてのあり方
- ・地方空港へのLCC誘致に関する課題の克服に向けた取り組みに対する所見
- ・外国人観光客の受け入れに向けた地方空港施設の拡充や受入態勢の整備に対する対応
- ・道内空港の民間化の可能性に対する見方

等について質問があり、知事、総務部長、総務部職員監、総合政策部長、総合政策部交通企画監及び保健福祉部長から答弁があつて、議事進行の都合により午後4時7分散会。

○9月18日（金） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

### 日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号ないし第5号を議題とし、一般質問を継続。

### 中野 秀敏議員（自民）から、

- 1 振興局の役割などについて  
・振興局の役割と今後の方向等に関する素案で述べている振興局の一層の機能強化へ向けた課題に対する検討方針の考

### え方

2 改正地方公務員法への対応について

- ・法改正を受けての能力と実績に基づく人事管理の整備方法
- ・退職管理の適正の確保に向けた取り組み及び法改正を受けての人事管理や退職管理の進め方

3 健康長寿産業の振興について

- ・健康長寿産業の振興に当たっての具体的な対象・分野の想定
- ・健康長寿産業の振興に向けた主体像と取り組みに対する見解

4 農業経営の法人化の推進について

- ・農業経営の法人化の推進に向けた具体的な推進内容と今後の取り組み

5 木質バイオマスのエネルギー利用について

- ・木質バイオマス発電における大規模な需要と木材利用との両立への対応
- ・木質バイオマスのエネルギー利用を雇用創出や成長産業化につなげるための今後の安定供給への取り組みに対する所見

6 市町村教育委員会の活動について

- ・文部科学省が行った「教育委員会の現状に関する調査」結果への受けとめ方

等について質問があり、知事、総務部職員監、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。

### 田中 英樹議員（公明）から、

1 北海道150年事業について

- ・北海道150年事業への認識と今後の具体的な取り組みの展開に対する所見

2 中小企業対策について

- ・大変厳しい経営環境にある中小企業へのこれまでの具体的な支援方法
- ・小規模企業振興条例（仮称）制定に向けた今後の検討の進め方に対する所見

3 エネルギー問題について

- ・小水力発電の本格的な導入に向けた取り組みの展開に対する所見
- ・地域連携・低炭素水素技術実証事業を活用しての水素社会の推進に向けた積極的な取り組みに対する所見
- ・再生可能エネルギーの導入拡大に向けた発送電分離への積極的な取り組みに対する所見

4 観光振興について



- ・道東の地方空港への新規就航を促進するための積極的な支援に対する所見
- ・北海道新幹線開業による道内活性化のための今後の戦略に対する所見
- ・道東地域の観光資源を最大限に活用した戦略的な観光プロモーションの展開に対する所見
- ・道東地域などへの外国人観光客の誘客促進を図るための今後の取り組み方

## 5 農業問題について

- ・酪農生産基盤の強化に向けた今後の積極的な取り組みに対する所見
- ・オホーツク総合振興局管内で確認されたジャガイモシロリストセンチュウの発生状況の把握及びまん延防止対策への国との連携による今後の取り組み方

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部長、経済部長、経済部観光振興監及び農政部長から答弁。



### **梅尾 要一議員（自民）から、**

- 1 IT利活用の推進について
  - ・超高速ブロードバンド等の整備状況と整備促進に向けた取り組み
  - ・道の各種計画に掲げる目標達成や政策の推進に向けた今後のIT利活用に関する取り組みの進め方

## 2 道管理施設の維持管理について

- ・国立公園施設の老朽化対策の進め方
- ・更新期を迎えた道路施設の適切な維持管理への取り組み方

## 3 新千歳空港の24時間運用について

- ・深夜・早朝時間帯の発着枠拡大に関して千歳市民と合意した住宅防音対策と地域振興対策の実施に向けた知事の決意
- ・今後の住宅防音工事の進め方
- ・住宅防音工事の実施体制の強化に対する所見
- ・今後の遅延便解消に向けた対応に対する見解

## 4 新千歳空港及び道内空港の機能強化について

- ・外国人観光客の増加に伴う新千歳空港施設の拡張整備への対応に対する所見
- ・道内空港における外国人観光客の分散化による受け入れや連携によるチャーター便の誘致への取り組みに対する所見
- ・「国際航空便の受入円滑化に向けた検討会」の検討事項に対する今後の対応及び急増する国際線の就航において急を要する課題への取り

### 組みに対する所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部交通企画監、環境生活部長及び建設部長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午前11時50分休憩。午後1時1分再開し、



### **星野 高志議員（民主）から、**

#### 1 観光振興について

- ・日本人観光客が本道の観光産業を支えている実態への評価と対応に対する見解
- ・観光客の旅行スタイルの変化

に対する認識と対応

- ・「北海道観光のくにづくり行動計画」の数値目標の見直しと道外観光客の誘致目標を実現するための効果的な政策の打ち出し
  - ・観光振興に向けた縄文文化の多面的な活用と積極的な発信
  - ・新千歳空港におけるアイヌ文化発信への意欲と行動
  - ・北海道新幹線開業に伴う観光客を広く道内へ導くための観光税導入に対する見解
- 2 道産食品の輸出と移出について
    - ・道産食品の国内移出よりも輸出をこだわる根拠と国内移出の増額を目指すことに対する見解
    - ・道産食品が本州産に比べて安価でさばかれている実態の把握状況と事例を踏まえた移出支援の必要性
    - ・道産食品のアンテナショップ「どさんこプラザ」の全国展開の検討

#### 3 科学技術振興について

- ・道総研の評価委員会による第1期業務実績評価での指摘に対する受けとめと2期目に向けた取り組みに対する見解
- ・道総研の役割に対する認識と今後の取り組み
- ・直流送電と交流送電にかかる国内外の動きに対する認識と対応
- ・直流電流を省エネ政策に明確に位置づける必要性に対する見解
- ・省エネ政策を前進させるための直流の太陽光発電と系統交流電源を組み合わせた実証実験に対する考え方

#### 4 道庁周辺整備について

- ・議会庁舎の改築をきっかけとした道庁本庁舎周辺における次の時代へ向けた整備の必要性に対する考え方

- ・道庁周辺を北海道の歴史文化等を発信する公園として整備することに対する考え方
  - ・道庁エリアの再整備に合わせた新エネルギーの導入に対する見解
- 5 エネルギー問題について
- ・民有地にも目を向けた太陽光発電にかかる情報提供
  - ・太陽光発電事業による荒廃農地の有効活用
  - ・再生可能エネルギーの導入を飛躍的に促進するためのワンストップによる説明体制の必要性
  - ・洋上風力発電に対する認識と今後の対応
  - ・洋上風力発電に関する国の実証実験に対するこれまでの誘致状況とこれまでの経験を踏まえた今後の積極的な誘致に対する所見
  - ・離島における洋上風力発電の実用化に向けた認識と対応
  - ・再生可能エネルギーの導入促進に合わせた地場産業のビジネスチャンスに対する見解
  - ・水素社会の未来像に対する考え方
  - ・エネルギー政策に水素発電を位置づけることによる導入促進に対する考え方
  - ・再生可能エネルギー導入に向けた民間企業への具体的支援策及び道有施設への計画的かつ積極的な導入
  - ・国と豊富な再生可能エネルギー資源を有する北海道との関係の将来像に対する所見

等について質問があり、知事、総務部長、総合政策部長、環境生活部長、経済部長、経済部観光振興監、経済部食産業振興監及び農政部長から答弁。



### 中司 哲雄議員（自民）から、

- 1 北海道独立論と新総合計画及び北海道創生総合戦略について
  - ・総合計画策定に当たっての道民へのメッセージ
  - ・総合計画策定に当たっての知事12年間の総括とその反映方法及び「一つの国を作る」という気概の実現を図るための戦略
- ・北海道の経済力に対する現状認識と戦略
- ・優位性のある畑作管理用機械や水素加工機械などへ重点的に物心両面と研究の支援をして育てていくことに対する考え方
- ・科学的イノベーションセンターとしての北大北キャンパスの現状への捉え方と今後の進む

### べき方向性に対する考え方

- ・北海道にIT産業を集積してソフト産業の拠点とすることに対する受けとめとその対応への考え方
- ・外国人観光客300万人の目標の実現方法と道内経済の活性化へのつなげ方
- ・食を中心としての輸出拡大に向けたHACCPの取得支援の必要性に対する考え方及び実効性のある輸出拡大に向けた推進体制のあり方とその確保方法
- ・極東ロシアとの経済交流拡大に向けた今後の進め方
- ・北方領土問題の早期解決に向けた日ロの友好交流に対する見解
- ・水素資源を維持し輸出拡大を図っていくための資源管理に対する考え方

### 2 未来の北海道を担う人材の育成について

- ・北海道の自立を図っていくためのキャリア教育の活性化に対する見解
- ・学力向上と新しい発想のできる人材育成のための教育方針策定の必要性に対する見解

等について質問があり、知事、総務部長、経済部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本会議に27人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、関係案件を両委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

### ○予算特別委員（27人）

阿知良寛美（公明）	浅野 貴博（結志）
安住 太伸（結志）	池端 英昭（民主）
川澄宗之介（民主）	小岩 均（民主）
内田 尊之（自民）	久保秋雄太（自民）
道見 泰憲（自民）	佐野 弘美（共産）
沖田 清志（民主）	松山 丈史（民主）
市橋 修治（民主）	梶谷 大志（民主）
中野 秀敏（自民）	花崎 勝（自民）
三好 雅（自民）	吉川 隆雅（自民）
八田 盛茂（自民）	松浦 宗信（自民）
東 国幹（自民）	内海 英徳（自民）
藤沢 澄雄（自民）	中山 智康（結志）
森 成之（公明）	柿木 克弘（自民）
喜多 龍一（自民）	

## ○決算特別委員（27人）

大越 農子（自民）	清水 拓也（自民）
千葉 英也（自民）	赤根 広介（結志）
中野渡志穂（公明）	宮川 潤（共産）
安藤 邦夫（公明）	佐藤 伸弥（結志）
笹田 浩（民主）	松山 丈史（民主）
梶谷 大志（民主）	北口 雄幸（民主）
花崎 勝（自民）	吉川 隆雅（自民）
吉田 祐樹（自民）	佐々木俊雄（自民）
松浦 宗信（自民）	小畠 保則（自民）
小松 茂（自民）	長尾 信秀（自民）
道下 大樹（民主）	池本 柳次（結志）
須田 靖子（民主）	三津 丈夫（民主）
岩本 剛人（自民）	喜多 龍一（自民）
高橋 文明（自民）	

議案第8号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に付託することについて異議なく決定し、残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため9月24日から9月25日まで及び9月28日から10月1日までの本会議を休会することに決定し、午後2時47分散会。

○10月2日（金） 午後1時6分開議、諸般の報告の後、

### 日程第1 議案第1号ないし第24号及び報告第1号

を議題とし、予算特別委員長、総務副委員長、建設委員長、文教委員長、新幹線・総合交通体系対策特別委員長、農政副委員長、水産林務委員長、経済委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第1号及び第7号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第1号及び第7号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数によりいざれも原案可決。

議案第2号ないし第6号、第8号ないし第24号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて、いざれも異議なく原案可決。

日程第2 議案第25号ないし第28号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第26号を問題とし、起立多数により同意議決。

議案第25号、第27号及び第28号を問題とし、いざれも異議なく同意議決。

日程第3 決議案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略して、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

日程第4 意見案第2号を議題とし、宮川潤議員（共産）から意見案第2号に関する説明の後、委員会付託を省略して、起立採決の結果、起立少數により否決。

日程第5 意見案第3号ないし第6号を議題とし、説明及び意見案第3号の委員会付託を省略して、いざれも異議なく原案可決。

日程第6 請願第1号（採択1件）を議題とし、委員長報告を省略して、請願審査報告書（採択）のとおり、異議なく決定。

日程第7 議員派遣の件を議題とし、議員を派遣することについて、異議なく決定。

閉会中継続審査の件について、決算特別委員長から申し出のとおり、報告第2号ないし第5号について、閉会中の継続審査に付することを決定。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第2号ないし第5号を除き全て議了。

午後1時51分閉会。

# 提 出 案 件

## 第3回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提 出 年 月 日	番号	件 名	付 委 員 会	議 決 年 月 日	議 結 事 果
27.9.8	1	平成27年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予 算	27.10.2	原案可決
27.9.8	2	平成27年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	27.10.2	原案可決
27.9.8	3	平成27年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	27.10.2	原案可決
27.9.8	4	北海道職員等の退職手当に関する条例及び北海道職員等の再任用に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	27.10.2	原案可決
27.9.8	5	北海道税条例の一部を改正する条例案	総 務	27.10.2	原案可決
27.9.8	6	北海道流域下水道条例の一部を改正する条例案	建 設	27.10.2	原案可決
27.9.8	7	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文 教	27.10.2	原案可決
27.9.8	8	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合 交通体系対策	27.10.2	原案可決
27.9.8	9	農地整備事業（畑地帯担い手育成型）に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	10	農地整備事業（畑地帯担い手支援型）に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	11	農地整備事業（畑地帯担い手支援型（単独営農用水））に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	12	草地畜産基盤整備事業（草地整備型（公共牧場整備））に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	13	農村防災施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	14	農業用河川工作物等応急対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	15	農地整備事業（通作条件整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	16	農道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	17	中山間地域総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	18	土地改良調査計画事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	19	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.9.8	20	水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	27.10.2	原案可決
27.9.8	21	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	27.10.2	原案可決
27.9.8	22	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	27.10.2	原案可決
27.9.8	23	船舶建造請負契約の締結に関する件	文 教	27.10.2	原案可決
27.9.8	24	財産の取得に関する件	農 政	27.10.2	原案可決
27.10.2	25	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	27.10.2	同意議決
27.10.2	26	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	27.10.2	同意議決
27.10.2	27	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	27.10.2	同意議決
27.10.2	28	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	27.10.2	同意議決

## 報 告

提 年 月 出 日	番号	件 名	付 委 員 会	議 年 月 決 日	議 結 事 果
27. 9. 8	1	専決処分報告につき承認を求める件	経 済	27. 10. 2	承認議決
27. 9. 8	2	平成26年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	決 算	27. 10. 2	継続審査
27. 9. 8	3	平成26年度北海道病院事業会計決算に関する件	決 算	27. 10. 2	継続審査
27. 9. 8	4	平成26年度北海道電気事業会計決算に関する件	決 算	27. 10. 2	継続審査
27. 9. 8	5	平成26年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	決 算	27. 10. 2	継続審査
27. 9. 8	6	平成26年度北海道市町村振興基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	7	平成26年度北海道美術品取得基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	8	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	9	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	10	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	11	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	12	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	13	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	14	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
27. 9. 8	15	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

## 第3回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

### 決 議 案

提 年 月 出 日	番号	件 名	提 出 者	議 年 月 決 日	議 結 事 果
27. 10. 1	1	9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議	道下 大樹議員ほか2人 (賛成者3人)	27. 10. 2	否 決

### 意 見 案

提 年 月 出 日	番号	件 名	提 出 者	議 年 月 決 日	議 結 事 果
27. 9. 10	1	「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書	稻村 久男議員ほか2人 (賛成者3人)	27. 9. 15	否 決
27. 10. 1	2	生活保護費削減及び住宅扶助・冬季加算削減の撤回・中止を求める意見書	真下 紀子議員ほか3人	27. 10. 2	否 決
27. 10. 1	3	子ども医療費助成の制度化を求める意見書	松浦 宗信議員ほか4人	27. 10. 2	原案可決
27. 10. 1	4	「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書	保健福祉委員長 北口 雄幸	27. 10. 2	原案可決
27. 10. 1	5	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書	文教委員長 大崎 誠子	27. 10. 2	原案可決
27. 10. 1	6	北方領土問題の解決促進等に関する意見書	北方領土対策特別委員長 角谷 隆司	27. 10. 2	原案可決

# 決議案

## 決議案第1号 9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議

27年3定  
道下 大樹議員ほか2人提出  
(賛成者3人)  
平成27年10月2日 否決

9月19日未明、安全保障関連法が成立した。これらの法律に対しては、採決前に反対や慎重審議を求める国民が6割に達し、また、全国の地方議会から反対や慎重審議・徹底審議を求める意見書が多数提出されていたにもかかわらず、採決に至ったことは遺憾である。

よって、9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に対し、強く抗議する。

以上、決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

# 意 見 案

## 意見案第1号 「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書

27年3定  
稲村 久男議員ほか2人提出  
(賛成者3人)  
平成27年9月15日 否決

「安全保障関連法案」の審議が、参議院で続いている。この法案は、昨年7月の憲法解釈変更による閣議決定に基づき、関連法案が一括で、今次国会に提案されたものであり、その内容、手続等に関して、国会内外での激しい議論が引き起こされている。今や、老若男女問わず、反対の動きは大きく拡大している。衆議院では、議論が進まない中で強行採決され、政府は参議院では、しっかり国民の理解が得られるよう説明していくと言っているにもかかわらず、いまだ半数以上の国民が理解をしていない。

また、多くの憲法学者や弁護士、元最高裁判所長官などの法曹関係者、さらには内閣法制局長官経験者までもが、「違憲」と明言している中での採決は許されない。報道機関による今月上旬の世論調査でも、安全保障関連法案について今の国会で成立させることを「よいと思わない」が65.6%と前月より7.8%もふえた。のことからも政府の言う国民の理解が進んだとは到底言いたい状況である。

よって、国においては、この関連法案の今次国会での採決をせず、さらに慎重なる審議を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
防衛大臣

各通

北海道議会議長 遠藤 連

## 意見案第2号 生活保護費削減及び住宅扶助・冬季加算削減の撤回・中止を求める意見書

27年3定  
真下 紀子議員ほか3人提出  
平成27年10月2日 否決

今年7月からの住宅扶助費の削減強行により、多くの利用者が低家賃住宅へ転居を要請されるなど新たな苦難を強いられている。長年住み慣れた地域に住み続けることができなくなり、利用者の苦悩と不安は深刻である。

すでに食費・水光熱費に当たる生活扶助費の3年連続引き下げ（総額740億円）が強行され、今年11月からは寒冷地の冬季加算の縮減も行われようとしている。

仮に、1リットル80円の灯油を1カ月に300リットル消費するとすれば、1カ月2万4千円の暖房費を必要とすることになる。

また、冬物衣料や冬靴、除雪用具なども積雪寒冷地特有の負担となっている。

よって、国においては、住宅扶助費削減を撤回し、冬季加算の削減計画と現在進めている生活扶助費削減を直ちに中止するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣

各通

北海道議会議長 遠藤 連

## 意見案第3号 子ども医療費助成の制度化を求める意見書

〔 27年3定  
松浦 宗信議員ほか4人提出  
平成27年10月2日 原案可決 〕

我が国は、少子化により国家的な危機に陥るか否かの重大な岐路に立たされているところであり、若い世代の希望がない安心して結婚・子育てのできる環境の整備に向けて、子育て負担の大膽な軽減など、少子化対策の抜本的強化を図らなければならない状況にある。

一方、子どもの医療費助成は、疾病の早期診断と早期治療を促進し、子育て世帯の負担軽減を図ることを目的として、全ての都道府県において、乳幼児医療費の無料化を含むさまざまな助成制度を実施しているが、厳しい財政状況の中での地方単独事業であるため、結果として、助成対象年齢や自己負担額などに地域間格差が生じている実態にある。

また、さらに、地方自治体が行っている乳幼児等に対する医療費助成については、少子化対策に関する重要な施策にもかかわらず、国保の国庫負担金が減額調整されており、施策推進の大きな支障ともなっている。

よって、国においては、子育て支援の観点から、全ての子どもを対象とした医療費助成制度を早急に制度化するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
厚生労働大臣

各通

北海道議会議長 遠藤連

## 意見案第4号 「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書

27年3定  
保健福祉委員長 北口 雄幸提出  
平成27年10月2日 原案可決

本年5月27日、「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が可決成立し、国保を初めとする医療保険制度の財政基盤の安定化、負担の公平化、医療費適正化の推進とあわせて、「患者申出療養」が創設され、来年4月の施行を目指に、現在、中央社会保険医療協議会において、具体的な運用基準づくりが進められている。

この「患者申出療養」は、現行の保険外併用療養制度のうち、保険導入のための評価を行う「評価療養」においては、保険外診療の申請から実施まで、平均6から7カ月の期間を要することや、医療技術ごとに平均で10医療機関程度でしか診療を受けられないこと、一定の基準に当てはまらない患者は治療を受けられること等の事例を踏まえ、国内未承認の医薬品等を迅速に保険外併用療養として使用したいという患者の想いに応えるため、患者からの申し出を起点とする新たな保険外併用療養の仕組みとして、創設されたところである。

保険診療では、有効な治療法がないなどの疾患に苦しむ患者にとって、自由診療に保険診療を組み合わせることが促進される同制度の創設は、より経済的に最先端の医療サービスの提供を受けることが期待される一方で、安全性や有効性の観点に加え、経済的負担の増大を懸念する声があるほか、患者に対するインフォームド・コンセントの内容・手続や、重篤な有害事象発生時の対処方法など、検討すべきさまざまな課題が挙げられている。

よって、国においては、運用基準の策定に当たり、次の事項について、適切な措置を講ずるよう強く要望する。

### 記

- 先進医療も含め、安全性や有効性の確認された薬や医療技術は、速やかに薬事承認、保険収載を行うこと。
- 「患者申出療養」は、専門医療機関との連携のもと、身近な医療機関において高度の医療技術を用いた治療の実現を可能とするものであり、インフォームド・コンセントの徹底とあわせ、臨床研究中核病院の体制整備を図ること。
- 重篤な有害事象発生時の対処については、当該制度が現行の先進医療制度の拡大であることなどを踏まえ、公的な救済制度の適用などについて十分検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣

各通

北海道議会議長 遠藤連

## 意見案第5号 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書

〔 27年3定  
文教委員長 大崎 誠子提出  
平成27年10月2日 原案可決 〕

私学は、建学の精神と独自の教育理念に基づき、時代の変化や社会のニーズを的確に捉えて、きめ細かな教育を柔軟かつ迅速に提供していくことにより、多彩な人材を数多く育ててきた。

しかし、今日の我が国は、「少子高齢化社会」や「人口減少社会」の到来という難題に直面しており、私学を取り巻く環境は、極めて厳しいものとなっている。

こうした中、我が国の急激な人口減少を食いとめるため、昨年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が定められ、その制定の目的として、「地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保」が掲げられたところである。

こうした時代が求める多様な人材を育成するためには、私学が、これまで以上に自主性や多様性を發揮し、社会的役割を果たしていくことが重要であり、そのためには、私立学校振興助成法に基づく国の助成措置を拡充することにより、私学の経営安定化を図ることが何よりも大切である。

一方、昨年度から、国の「高等学校等就学支援金制度」が改正されるとともに「奨学のための給付金制度」が創設され、授業料及びそれ以外の教育費の負担が軽減されたところであるが、依然として公私間格差は大きく、引き続き、公私間の納付金負担格差の縮小は正と保護者の負担軽減施策の拡充に努める必要がある。

加えて、東日本大震災の教訓から、子どもたちの命を守り安全を確保するため、学校施設の耐震化が急務であるが、巨額の資金を必要とする学校施設の耐震化工事は、厳しい経営を余儀なくされている私学にとって、極めて大きな負担となっており、国は、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法」の趣旨にのっとり、設置者、学校種、工法を問わず、国公立学校と同水準の助成とする必要がある。

よって、国においては、我が国が21世紀においても、確かな展望を持ち着実に発展していくため、私学が置かれている厳しい経営環境にしっかりと目を向け、国の助成制度の改善や耐震化促進の一層の支援・充実、都道府県が実施する私学助成制度に対する財源措置の一層の充実強化を図るよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 遠藤連

## 意見案第6号 北方領土問題の解決促進等に関する意見書

〔27年3定  
北方領土対策特別委員長 角谷 隆司提出  
平成27年10月2日 原案可決〕

我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島の返還の実現は、戦後残された最大の国家課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかし、戦後70年を経た今もなお、北方四島は返還されず、日ロ両国間に平和条約が締結されていないことは誠に遺憾である。

日ロ両国間における政治対話を促進し、さまざまな分野での交流を拡大して相互理解を深め、北方領土問題を解決して平和条約を締結することは、両国間関係の正常化のみならず、国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

しかし、父祖伝来の地として受け継いできた北方四島を追われた元島民は、既に6割を超える方々が亡くなられ、一刻も早い領土問題の解決が望まれている。

さらに、メドベージェフ首相を始めとするロシア政府要人の相次ぐ北方領土への訪問やロシア側からの一方的な要求により入域手続を行うことができなかつたことによる北方墓参事業の中止など、最近における北方領土に対するロシア側のさまざまな動きが、今後の平和条約交渉に与える影響が懸念される。

よって、国においては、北方四島の早期返還の実現を求める国民の総意と心情に応え、日ロ両国において今日までに達成された諸合意に基づいて、早急に北方領土問題を解決し平和条約を締結するための強力な外交交渉を進めるとともに、特に次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

### 記

- 1 国民世論の結集と高揚並びに国際世論の喚起や北方領土教育の充実を初めとした青少年対策の強化を図るとともに、内閣総理大臣による北方領土隣接地域からの北方領土視察を実現するなど、北方領土返還要求運動の一層の促進を図ること。
- 2 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく北方領土隣接地域の振興対策等を促進すること。
- 3 北方四島交流事業（ビザなし交流）、北方墓参事業及び自由訪問事業の実施団体に対する支援措置を強化するとともに、各事業の円滑な実施を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
文部科学大臣  
農林水産大臣  
国土交通大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

各通

北海道議会議長 遠藤連

## 請　願

### ① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

文書表番号	件　　名	付　　託 委　員　会	審　査　の 結　果
3	介護保険優先を定めた障害者総合支援法第7条の廃止等を求める件	保健福祉	継続審査
4	子宮頸がん予防ワクチンの接種中止・被害者救済を求める件	保健福祉	継続審査
5	日本脳炎ワクチンの区域指定継続と「受ける側の選択権」の保障を求める件	保健福祉	継続審査

### ② 第3回定例会において採否の決定等があったもの

文書表番号	件　　名	付　　託 委　員　会	審　査　の 結　果
1	障がい児の輝く未来に向けての件	保健福祉	採　択
2	「介護報酬引き上げの再改定等を求める意見書」の提出を求める件	少子・高齢社会対策	取り下げ

※閉会中に処理したものも含む。

## 委員会の動き

委員長 富原 亮（自民）

### 議会運営委員会

○ 9月1日（火） 開議 午前11時35分  
散会 午前11時38分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）

- ① 平成27年第3回定例会について  
・総務部長から招集日を9月8日（火）とする旨発言があり、これを了承。  
・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。  
・会期について25日間とすることを決定。  
・日程について、次のとおり取り進めることを決定。

#### 〔第3回定例会〕

9月8日	本会議（提案説明）
9月9日	休会
9月10日～9月11日	本会議（代表質問）
9月14日	休会
9月15日～9月17日	本会議（一般質問）
9月18日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
9月24日～9月25日	休会
9月28日～10月1日	休会
10月2日	本会議

- ② 議場コンサートについて  
・改選年である本年は、年1回、3定において開催することを決定。  
・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の9月8日（火）に実施することを決定。
- ③ 本委員会の道外調査について  
・配付の報告書のとおり実施したことを報告。  
・議員の政策立案能力向上に関する取り組みについては、別途、議長に報告書を提出することを決定。なお、報告書については、理事会に諮り決定する。

○ 9月7日（月） 開議 午前9時16分  
散会 午前9時19分  
議会運営委員会室

- ① 提出議案の事前説明について  
・総務部長から説明。
- ② 代表質問及び一般質問の通告について  
・代表質問は9月8日（火）、一般質問は9月11日（金）のそれぞれ正午までとする。
- ③ 予算特別委員会及び決算特別委員会について  
・委員会構成及び正・副委員長の配分は、配付の協議事項に記載のとおりとする。  
・委員名簿の提出は、9月16日（水）正午までとする。
- ④ 休会について  
・議案等調査のため、9月9日（水）は本会議を休会し、9月10日（木）に再開することを決定。
- ⑤ 9月8日の本会議議事順序について  
・明日の委員会において協議する。
- ⑥ 緊急地震速報対応訓練について  
・配付の実施要領案のとおり、代表質問初日の9月10日（木）午前の議事終了後に実施することを決定。

○ 9月8日（火） 開議 午前9時19分  
散会 午前9時20分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）

- ① 本日の本会議議事順序について  
・事務局長説明のとおりとする。
- ② 副知事の欠席について  
・総務部長から、帯広市で開催される「赤十字北海道大会」に知事代理として出席するため、山谷副知事が本日の本会議を欠席する旨発言があり、これを了承。
- ③ 本会議開議時刻について  
・午前10時開会とする。

○ 9月10日（木） 開議 午前9時15分  
散会 午前9時16分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）

- ① 代表質問の通告について  
・配付の通告一覧のとおり5名の通告があった

- ことを報告。
- ② 代表質問の進め方について
- ・本日は1番笠井龍司議員、2番道下大樹議員の2名、9月11日（金）は3番山崎泉議員、4番荒當聖吾議員、5番宮川潤議員の3名を行うことを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 9月11日（金）** 開議 午前9時20分  
散会 午前9時21分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）
- ① 代表質問について
- ・本日は3番から5番までの3名を行うことを了承。
- ② 休会について
- ・議案等調査のため、9月14日（月）は本会議を休会し、一般質問を9月15日（火）から行うことを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 意見案について
- ・民主党・道民連合から意見案第1号の提出があった旨報告。
- ⑤ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 9月15日（火）** 開議 午前9時15分  
散会 午前9時17分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）
- ① 意見案の取り扱いについて
- ・9月10日に民主党・道民連合から提出のあった意見案第1号は、本日の本会議冒頭において議決することを決定。
- ② 一般質問について
- ・22名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
  - ・通告内容等の変更について了承。
- ③ 一般質問の進め方について
- 本日は1番から6番までの6名、  
9月16日（水）は7番から11番までの5名、  
9月17日（木）は12番から17番までの6名、  
9月18日（金）は18番から22番までの5名の予定で取り進めることを決定。
- ④ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑤ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 9月16日（水）** 開議 午前9時15分  
散会 午前9時17分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）
- ① 本日の本会議について
- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問は、7番から11番までの5名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 9月17日（木）** 開議 午前9時15分  
散会 午前9時16分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）
- ① 元議員の逝去について
- ・樺林巖氏（室蘭市選出、第21期～第24期、9月16日逝去）について報告。
- ② 本日の本会議について
- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・一般質問は、12番から17番までの6名を行う。
- ③ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
- 9月18日（金）** 開議 午前9時18分  
散会 午前9時21分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）
- ① 一般質問について

- ・本日は18番から22番までの5名を行う。
- ② 予算特別委員会及び決算特別委員会について
- ・本日、一般質問終了後設置する。
  - ・両特別委員会の分科会委員数は、配付の協議事項に記載のとおり決定した旨報告。
  - ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。
- ③ 議案の各委員会付託について
- ・配付資料のとおり付託することを決定。
- ④ 休会について
- ・各委員会付託議案等審査のため、9月24日から25日まで及び9月28日から10月1日までは本会議を休会することとし、10月2日（金）に再開することを決定。
- ⑤ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑥ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。
  - ・10月2日の本会議は、午後1時開会とする。
- ⑦ 議員派遣について
- ・配付資料のとおり、本日の本会議において議決することを決定。
- ⑧ 繼続調査の申し出について
- ・配付資料の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることを決定。
- ⑨ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑩ 平成27年第4回定例会の招集予定日について
- ・総務部長から、11月26日（木）を予定している旨発言があり、これを了承。
- ⑪ 本会議開議時刻について
- ・午後1時開会とする。
- おいて議決することを決定。

○10月2日（金） 開議 午後零時18分  
散会 午後零時24分  
議会運営委員会室  
委員長 富原 亮（自民）

- ① 発言の訂正について
- ・9月16日の本会議における菊地葉子議員の発言に関し、発言訂正の申し出があり、本日の本会議において、議長から報告の上、会議録を訂正することを了承。
- ② 各委員会付託議案の審議状況について
- ・各委員会付託議案は、すべて（予算3件、総務2件、建設2件、文教2件、新幹線1件、農政12件、水産林務2件、経済1件、以上25件）議了したことを報告。
  - ・決算特別委員会において審査中の報告第2号ないし第5号については、昨日の委員会において継続審査とすることに決定した旨報告。
- ③ 追加提出議案の事前説明について
- ・総務部長から説明。
  - ・議案第25号ないし第28号の人事案件については、本日の本会議において議決することを了承。
- ④ 決議案の取り扱いについて
- ・決議案第1号の提出があり、本日の本会議に

## 常任委員会

### 総務委員会

○8月4日(火) 開議 午後1時15分

散会 午後2時5分

第10委員会室

委員長 田中 芳憲(自民)

#### 一般議事

- 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
- 雌阿寒岳における火口周辺警報の発表に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 樽前山火山噴火総合防災訓練の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]
- 犯罪抑止対策に関する報告聴取の件  
[道警察本部生活安全部長報告]

#### 質疑

- 村田 憲俊委員(自民)  
～陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施について
- 菊地 葉子委員(共産)  
～陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施について

○9月1日(火) 開議 午後1時14分

散会 午後1時24分

第10委員会室

委員長 田中 芳憲(自民)

#### 開議前

- 人事異動に伴う幹部職員の紹介

#### 一般議事

- 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
- 公用車に係る自動車保険の加入に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政改革局長報告]
- 北海道社会貢献賞(防災功労者)の創設に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]

○9月7日(月) 開議 午前10時12分  
散会 午前10時57分  
第10委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

#### 一般議事

- 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総務部長説明]
- 平成26年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に係る評価結果に関する報告聴取の件  
[法務・法人局大学法人室長報告]
- 樽前山火山噴火総合防災訓練の実施結果に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
- 陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施結果に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]

#### 質疑

- 村田 憲俊委員(自民)  
～平成26年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に係る評価結果について
- 菊地 葉子委員(共産)  
～陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施結果について
- 村田 憲俊委員(自民)  
～陸上自衛隊北部方面隊との防災訓練等の実施結果について

#### 質問

- 大越 農子委員(自民)  
～暴力団対策について

○10月1日(木) 開議 午前10時15分  
散会 午前10時41分  
第10委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

#### 付託案件の審査

議案第4号

北海道職員等の退職手当に関する条例及び北海道職員等の再任用に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第5号

北海道税条例の一部を改正する条例案

**一 般 議 事**

1. 付託議案審査の件
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 平成27年北海道警察視閲式出席の件  
[決定]
1. 朝型勤務の実施結果に関する報告聴取の件  
[人事局長報告]
1. 平成27年度北海道防災総合訓練の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 平成27年度北海道原子力防災訓練の実施に関する報告聴取の件  
[原子力安全対策担当局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

**質 問**

1. 藤川 雅司委員（民主）  
～防災情報システムの不具合について

**総合政策委員会**

**○8月4日（火）** 開議 午後1時13分  
散会 午後2時1分  
第2委員会室  
委員長 大河 昭彦（結志）

**一 般 議 事**

1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. TPPをめぐる状況等に関する報告聴取の件 [政策局長報告]
1. 「新・北海道ビジョン推進方針（案）」に関する報告聴取の件 [政策局長報告]

**質 疑**

1. 藤沢 澄雄委員（自民）  
～TPPをめぐる状況等について
1. 道下 大樹委員（民主）  
～TPPをめぐる状況等について
1. 高橋 文明委員（自民）  
～TPPをめぐる状況等について（指摘）
1. 池端 英昭委員（民主）  
～「新・北海道ビジョン推進方針（案）」について

**○9月1日（火）**

開議 午後1時10分  
散会 午後1時24分  
第2委員会室  
委員長 大河 昭彦（結志）

**一 般 議 事**

1. 平成27年度姉妹・友好提携地域への訪問に関する報告聴取の件 [知事室次長報告]
1. 平成28年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [計画推進担当局長報告]

**○9月7日（月）**

開議 午前10時8分  
散会 午前11時10分  
第2委員会室  
委員長 大河 昭彦（結志）

**一 般 議 事**

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部長説明]
1. 新しい総合計画（素案）に関する報告聴取の件 [計画推進担当局長報告]
1. 道総研の平成26年度業務実績に係る評価結果並びに第1期中期目標期間における事業報告及び業務実績に係る評価結果に関する報告聴取の件 [研究法人室長報告]
1. 北海道過疎地域自立促進方針等の策定に関する報告聴取の件  
[地域づくり担当局長報告]
1. 夕張市、国及び北海道の三者協議に関する報告聴取の件  
[地域主権・行政局長報告]

**質 疑**

1. 千葉 英也委員（自民）  
～新しい総合計画（素案）について
1. 吉井 透委員（公明）  
～新しい総合計画（素案）について
1. 加藤 礼一委員（自民）  
～新しい総合計画（素案）について（指摘）
1. 池端 英昭委員（民主）  
～北海道過疎地域自立促進方針等の策定について

○10月1日(木) 開議 午前10時18分  
散会 午前10時51分  
第2委員会室  
委員長 大河 昭彦(結志)

### 一般議事

- 「北海道過疎地域自立促進方針(素案)」等に関する報告聴取の件  
[地域づくり担当局長報告]
- 平成26年度道内市町村における決算の概要(速報値)及び夕張市の財政再生計画実施状況報告の概要に関する報告聴取の件  
[地域主権・行政局長報告]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質問

- 藤沢 澄雄委員(自民)  
～国際交流について

## 環境生活委員会

○8月4日(火) 開議 午後1時10分  
散会 午後2時8分  
第3委員会室  
委員長 安藤 邦夫(公明)

### 一般議事

- 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
- 「北海道生物多様性保全計画」(見直し案)に関する報告聴取の件  
[生物多様性・エゾシカ対策担当局長報告]
- 北海道水素イノベーション推進協議会に関する報告聴取の件  
[地球温暖化対策室長報告]

### 質疑

- 道見 泰憲委員(自民)  
～「北海道生物多様性保全計画」(見直し案)について
- 太田 憲之委員(自民)  
～北海道水素イノベーション推進協議会について

### 質問

- 太田 憲之委員(自民)  
～アスナビについて
- 道見 泰憲委員(自民)  
～2R(リデュース・リユース)の取組について

○9月1日(火) 開議 午後1時9分

散会 午後1時31分  
第3委員会室  
委員長 安藤 邦夫(公明)

### 一般議事

- 生物の多様性の保全等に関する条例に基づく指定外来種の指定(案)に関する報告聴取の件  
[生物多様性・エゾシカ対策担当局長報告]

### 質疑

- 道見 泰憲委員(自民)  
～生物の多様性の保全等に関する条例に基づく指定外来種の指定(案)について

○9月7日(月) 開議 午前10時12分

散会 午前10時33分  
第3委員会室  
委員長 安藤 邦夫(公明)

### 一般議事

- 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
- 平成27年環境の状況等に関する年次報告に関する事前説明聴取の件 [環境局長説明]
- 北海道環境基本計画(第2次計画)の見直しに関する報告聴取の件 [環境局長報告]
- 知床世界自然遺産の保全及び適正な利用に関する条例(仮称)の基本的な考え方に関する報告聴取の件  
[生物多様性・エゾシカ対策担当局長報告]

- エゾシカ肉処理施設の認証制度(素案)に関する報告聴取の件  
[生物多様性・エゾシカ対策担当局長報告]

○10月1日(木) 開議 午前10時12分

散会 午前10時49分  
第3委員会室

委員長 安藤 邦夫（公明）

## 一 般 議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 「北海道水素社会実現戦略ビジョン」（素案）に関する報告聴取の件  
[地球温暖化対策室長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 質 疑

1. 太田 憲之委員（自民）  
～「北海道水素社会実現戦略ビジョン」（素案）について

## 質 問

1. 道見 泰憲委員（自民）  
～北海道認定リサイクル製品について

## 保健福祉委員会

○8月4日（火） 開議 午後1時12分  
散会 午後3時7分  
第7委員会室  
委員長 北口 雄幸（民主）

## 一 般 議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成26年度歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況に関する報告聴取の件  
[健康安全局長報告]
1. 地域医療構想の策定に関する報告聴取の件  
[地域医療推進局長報告]

## 質 疑

1. 中野 秀敏委員（自民）  
～平成26年度歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況について
1. 船橋 賢二委員（自民）  
～地域医療構想の策定について
1. 中川 浩利委員（民主）  
～地域医療構想の策定について
1. 宮川 潤委員（共産）

～地域医療構想の策定について

1. 岩本 剛人委員（自民）

～地域医療構想の策定について

## 質 問

1. 船橋 賢二委員（自民）  
～高齢者の見守り支援について
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～TPPについて  
～北海道社会福祉協議会について

○9月1日（火） 開議 午後1時12分  
散会 午後2時31分  
第7委員会室  
委員長 北口 雄幸（民主）

## 請願の審査

請願第1号  
障がい児の輝く未来に向けての件 （採択）

## 一 般 議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 請願審査の件
1. 医師確保対策の実施状況に関する報告聴取の件 [地域医療推進局長報告]

## 質 疑

1. 浅野 貴博委員（結志）  
～医師確保対策の実施状況について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～医師確保対策の実施状況について

## 質 問

1. 中野 秀敏委員（自民）  
～日本脳炎ワクチンの定期予防接種化について
1. 中川 浩利委員（民主）  
～日本脳炎ワクチンの定期予防接種について
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～看護職員養成修学資金制度について

○9月7日（月） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時50分  
第7委員会室  
委員長 北口 雄幸（民主）

## 一 般 議 事

1. 新・北海道病院事業改革プラン評価委員会による評価（平成26年度）に関する報告聴取の件 [道立病院室長報告]

## 質 疑

1. 浅野 貴博委員（結志）  
～新・北海道病院事業改革プラン評価委員会による評価（平成26年度）について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～新・北海道病院事業改革プラン評価委員会による評価（平成26年度）について

## 質 問

1. 中野渡 志穂委員（公明）  
～周産期医療・小児救急医療について

○10月1日（木） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時49分  
第7委員会室  
委員長 北口 雄幸（民主）

## 一 般 議 事

1. 意見案発議の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 船橋 賢二委員（自民）  
～感染性胃腸炎対策について
1. 中野 秀敏委員（自民）  
～施設従事者等による高齢・障がい者に対する虐待への対応について
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～小児慢性特定疾患について

## 経 済 委 員 会

○8月4日（火） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時12分  
第8委員会室  
委員長 高橋 亨（民主）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 地域経済の強化に向けた基本方針に関する報告聴取の件 [経済企画室長報告]

○9月1日（火） 開議 午後1時10分  
散会 午後2時10分  
第8委員会室  
委員長 高橋 亨（民主）

## 一 般 議 事

1. プレミアムつき商品券追加発行への支援に関する報告聴取の件 [経済企画室長報告]
1. ロシア200海里における「さけ・ます流し網」漁業禁止等に係る対応に関する報告聴取の件 [経済企画室長報告]
1. 地方拠点強化税制に係る地域再生計画の認定申請に関する報告聴取の件 [産業振興局長報告]
1. 平成26年度における新北海道科学技術振興戦略の推進状況に関する報告聴取の件 [科学技術振興室長報告]
1. 第3期北海道雇用創出基本計画に基づく「平成26年度推進計画の取組結果」及び「本道の雇用情勢に関する点検評価（平成26年分）」に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

## 質 疑

1. 富原 亮委員（自民）  
～地方拠点強化税制に係る地域再生計画の認定申請について

## 質 問

1. 富原 亮委員（自民）  
～北海道どさんこプラザについて
1. 松山 丈史委員（民主）  
～円安の道内経済への具体的影響について

○9月7日（月） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時23分  
第8委員会室  
副委員長 村木 中（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長説明]
1. 北海道食の輸出拡大戦略骨子（案）に関する報告聴取の件 [食産業振興室長報告]
1. ASEAN経済交流支援拠点に係る検証結果に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]

○10月1日（木） 開議 午前10時7分

散会 午前10時18分

第8委員会室

委員長 高橋 亨（民主）

## 付託案件の審査

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件

（承認議決）

## 一 般 議 事

1. 北海道における健康長寿産業振興の進め方（素案）に関する報告聴取の件 [産業振興局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 農 政 委 員 会

○8月4日（火） 開議 午後1時10分

散会 午後1時46分

第6委員会室

委員長 八田 盛茂（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国の農業施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. TPPをめぐる状況等に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

## 質 疑

1. 中司 哲雄委員（自民）  
～TPPをめぐる状況等について（意見）

## 質 問

1. 塚本 敏一委員（自民）  
～電気柵による事故の防止について
1. 白川 祥二委員（結志）  
～日本型直接支払制度について

○9月1日（火） 開議 午後1時9分

散会 午後1時52分

第6委員会室

委員長 八田 盛茂（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度農業関係国費予算概算要求に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. ジャガイモシロシストセンチュウの確認に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

## 質 疑

1. 塚本 敏一委員（自民）  
～ジャガイモシロシストセンチュウの確認について
1. 佐藤 伸弥委員（結志）  
～ジャガイモシロシストセンチュウの確認について
1. 森 成之委員（公明）  
～ジャガイモシロシストセンチュウの確認について

○9月7日（月） 開議 午前10時4分

散会 午前10時12分

第6委員会室

委員長 八田 盛茂（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

○10月1日（木） 開議 午前10時8分

散会 午前10時44分

第6委員会室

委員長 八田 盛茂（自民）

## 付託案件の審査

議案第9号

農地整備事業（畠地帶担い手育成型）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第10号

農地整備事業（畠地帶担い手支援型）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第11号

農地整備事業（畠地帶担い手支援型（単独営農用水））に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第12号

草地畜産基盤整備事業（草地整備型（公共牧場整備））に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第13号

農村防災施設整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第14号

農業用河川工作物等応急対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第15号

農地整備事業（通作条件整備）に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第16号

農道整備特別対策事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第17号

中山間地域総合整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第18号

土地改良調査計画事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第19号

道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第24号

財産の取得に関する件（原案可決）

## 一 般 議 事

1. 付託議案審査の件

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
〔決定〕

## 質 問

1. 白川 祥二委員（結志）

～農地中間管理事業について

1. 本間 熱委員（自民）

～TPP交渉状況について

## 水産林務委員会

○8月4日（火）開議 午後1時10分

散会 午後2時35分

第5委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]

1. TPPをめぐる状況等に関する報告聴取の件  
[水産林務部技監報告]

1. ロシア200海里水域「さけ・ます流し網」漁船の拿捕に関する経過報告聴取の件  
[水産局長報告]

1. 「道民の森」の活用方針（素案）に関する報告聴取の件 [森林環境局長報告]

## 質 疑

1. 内田 尊之委員（自民）

～「道民の森」の活用方針（素案）について

## 質 問

1. 内田 尊之委員（自民）

～スケトウダラのTAC削減について

1. 広田 まゆみ委員（民主）

～北海道の水産業の強みと課題について

～道産食品の輸出拡大などについて

1. 荒当 聖吾委員（公明）

～木育の推進などについて

1. 真下 紀子委員（共産）

～北洋サケ・マス流し網禁止の影響と対策について

○9月1日（火）開議 午後1時15分

散会 午後1時55分

第5委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国費予算の概算要求等に関する報告聴取の件 [水産林務部長報告]
1. ロシア200海里水域における「さけ・ます流し網」漁業禁止に係る対策に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. ロシア200海里水域「さけ・ます流し網漁船第十邦晃丸」の解放に関する報告聴取の件 [水産局長報告]

## 質 疑

1. 三好 雅委員（自民）  
～ロシア200海里水域における「さけ・ます流し網」漁業禁止に係る対策について

## 質 問

1. 広田 まゆみ委員（民主）  
～木育について  
～カーボン・オフセットなどを活用した森林の再生について  
～地材地消について

○9月7日（月） 開議 午前10時10分

散会 午前10時18分

第5委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 一 般 議 事

1. 「北海道森づくりフェスタ2015」参加の件 [決定]
1. 「第39回全国育樹祭」出席の件 [決定]
1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]
1. 「道民の森」の活用方針（素案）に対する道民意見の概要及び「道民の森」の活用方針（案）に関する報告聴取の件  
[森林環境局長報告]

○10月1日（木） 開議 午前10時15分

散会 午前10時36分

第5委員会室

委員長 松浦 宗信（自民）

## 付託案件の審査

議案第20号

水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

議案第21号

林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

## 一 般 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 隨時調査実施の件 [決定]
1. 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. 北海道森林づくり条例の改正に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 荒当 聖吾委員（公明）  
～地方創生に資するバイオマスの活用について

## 建設委員会

○8月4日（火） 開議 午後1時10分

散会 午後1時30分

第4委員会室

委員長 佐々木 俊雄（自民）

## 一 般 議 事

1. 道路の整備に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 「公共工事の品質確保に関する北海道の取組方針」見直し素案に関する報告聴取の件  
[建設業担当局長報告]

## 質 疑

1. 阿知良 寛美委員（公明）  
～「公共工事の品質確保に関する北海道の取組方針」見直し素案について

○9月1日（火） 開議 午後1時8分

散会 午後1時13分

第4委員会室

委員長 佐々木 俊雄（自民）

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [建設部長報告]

○9月7日(月) 開議 午前10時7分

散会 午前10時45分

第4委員会室

委員長 佐々木 俊雄(自民)

## 一 般 議 事

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 空き家等対策に関する取組方針(素案)に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

## 質 疑

1. 阿知良 寛美委員(公明)  
～空き家等対策に関する取組方針(素案)について

## 質 問

1. 久保秋 雄太委員(自民)  
～道営住宅について  
～道営住宅の優先入居について

○10月1日(木) 開議 午前10時8分

散会 午前10時23分

第4委員会室

委員長 佐々木 俊雄(自民)

## 付託案件の審査

議案第6号

北海道流域下水道条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第22号

流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

## 一 般 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 冬期間の道路管理に関する報告聴取の件  
[施設保全防災担当局長報告]
1. 建築基準法に基づく「定期報告」対象建築物の誤認に関する報告聴取の件  
[住宅局長報告]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 文 教 委 員 会

○8月4日(火) 開議 午後1時6分

散会 午後2時23分

第9委員会室

委員長 大崎 誠子(自民)

## 一 般 議 事

1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]

## 質 問

1. 加藤 貴弘委員(自民)  
～児童生徒の交通安全対策について  
～戸籍のない子どもについて
1. 川澄 宗之介委員(民主)  
～土曜授業推進事業について
1. 丸岩 浩二委員(自民)  
～学習支援について
1. 山崎 泉委員(結志)  
～放課後子供教室について
1. 佐野 弘美委員(共産)  
～就学猶予または免除者の教育について

○9月1日(火) 開議 午後1時14分

散会 午後3時15分

第9委員会室

委員長 大崎 誠子(自民)

## 一 般 議 事

1. 公立高等学校配置計画(平成28年度～30年度)に関する報告聴取の件  
[新しい高校づくり推進室長報告]
1. 平成28年度公立特別支援学校配置計画に関する報告聴取の件  
[特別支援教育担当局長報告]
1. 平成27年度全国学力・学習状況調査に関する報告聴取の件 [学校教育局長報告]
1. 「北海道総合教育大綱」の素案に関する報告聴取の件について  
[総合教育担当局長報告]

## 質 疑

1. 吉田 祐樹委員（自民）  
～平成27年度全国学力・学習状況調査について
1. 川澄 宗之介委員（民主）  
～平成27年度全国学力・学習状況調査について
1. 山崎 泉委員（結志）  
～平成27年度全国学力・学習状況調査について
1. 田中 英樹委員（公明）  
～平成27年度全国学力・学習状況調査について

散会 午前11時49分

第9委員会室

委員長 大崎 誠子（自民）

## 質 問

1. 加藤 貴弘委員（自民）  
～児童生徒の生命及び安全にかかる適切な対応について
1. 川澄 宗之介委員（民主）  
～食に関する指導の実施状況について

## 付託案件の審査

議案第7号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第23号

船舶建造請負契約の締結に関する件  
(原案可決)

## 一 般 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 加藤 貴弘委員（自民）  
～児童生徒の問題行動について
1. 佐々木 恵美子委員（民主）  
～特別支援学校児童生徒の通学について
1. 川澄 宗之介委員（民主）  
～高等学校配置計画指針の成果と課題の検証及び高等学校のあり方について
1. 山崎 泉委員（結志）  
～公職選挙法改正について  
～不登校への対応について

## 一 般 議 事

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長説明]
1. 平成26年度北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書に関する報告聴取の件 [総務政策局長報告]

## 質 疑

1. 加藤 貴弘委員（自民）  
～平成26年度北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について

## 質 問

1. 佐々木 恵美子委員（民主）  
～私立学校管理運営費補助金について
1. 川澄 宗之介委員（民主）  
～校務支援システムについて
1. 山崎 泉委員（結志）  
～内申点について
1. 佐野 弘美委員（共産）  
～特別支援学校の教育環境整備等について

○10月1日（木） 開議 午前10時10分

## 特 別 委 員 会

### 産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○8月5日(水) 開議 午前10時12分  
散会 午前10時37分  
第8委員会室  
委員長 小畠 保則(自民)

#### その他の議事

1. 中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 幌延深地層研究計画の平成26年度調査研究成果に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]
1. 平成26年度の省エネ・新エネ関連施策の取り組み状況に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]
1. 平成26年度の環境産業振興関連施策の取り組み状況に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]

#### 質 疑

1. 星野 高志委員(民主)  
～平成26年度の省エネ・新エネ関連施策の取り組み状況について
1. 喜多 龍一委員(自民)  
～平成26年度の省エネ・新エネ関連施策の取り組み状況について(指摘)

○9月2日(水) 開議 午前10時7分  
散会 午前10時12分  
第8委員会室  
委員長 小畠 保則(自民)

#### その他の議事

1. 北海道環境産業振興戦略の見直しに関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]

○9月7日(月) 開議 午後1時8分  
散会 午後1時14分  
第8委員会室  
委員長 小畠 保則(自民)

#### その他の議事

1. 幌延深地層研究計画に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]

○10月1日(木) 開議 午後1時8分  
散会 午後1時20分  
第8委員会室  
委員長 小畠 保則(自民)

#### その他の議事

1. 中央折衝実施の件 [決定]
1. 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞に関する報告聴取の件  
[環境・エネルギー室長報告]

#### 質 問

1. 星野 高志委員(民主)  
～本庁舎の新エネ導入などについて

## 北方領土対策特別委員会

○8月5日(水) 開議 午前10時10分  
散会 午前11時  
第5委員会室  
委員長 角谷 隆司(自民)

#### その他の議事

1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. 委員会協議会開催の件 [決定]
1. 平成27年度北方領土返還要求運動強調月間に  
関する説明聴取の件  
[北方領土対策本部長説明]
1. 2015北方領土返還要求北海道・東北国民大会  
及び啓発街頭行進並びに北方領土早期返還祈念植樹参加の件 [決定]
1. 北方領土に係る諸問題の早期解決についての  
要請実施に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取  
の件 [北方領土対策局長報告]

#### 質 問

1. 松浦 宗信委員（自民）  
～政府関係機関の地方移転について
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～北海道の漁船の拿捕について  
～ロシア政府による北方領土開発について  
～北方領土問題対策協会の根室市誘致について

○9月2日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時58分  
第5委員会室  
委員長 角谷 隆司（自民）

### その他の議事

1. 2015北方領土返還要求北海道・東北国民大会及び啓発街頭行進並びに北方領土早期返還祈念植樹参加報告の件 [委員長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部参事報告]
1. 北方四島訪問実施報告の件  
[委員長報告]

### 質 疑

1. 中司 哲雄委員（自民）  
～北方四島交流事業等の実施について

### 質 問

1. 橋本 豊行委員（民主）  
～サケ・マス流し網漁業禁止に伴う対応について
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～第十邦晃丸の解放について  
～北方領土対策本部長の根室管内訪問について  
～ロシア政府首脳による北方領土訪問について  
～2015北方領土返還要求北海道・東北国民大会について

○9月7日（月） 開議 午後1時9分  
散会 午後1時59分  
第5委員会室  
委員長 角谷 隆司（自民）

### その他の議事

1. 平成28年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 「北方墓参の円滑な実施についての要請」に

関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]

### 質 疑

1. 浅野 貴博委員（結志）  
～「北方墓参の円滑な実施についての要請」について
1. 北口 雄幸委員（民主）  
～「北方墓参の円滑な実施についての要請」について

### 質 問

1. 清水 拓也委員（自民）  
～若い世代を対象とした啓発活動などについて
1. 浅野 貴博委員（結志）  
～ロシア外務次官の発言について
1. 田中 英樹委員（公明）  
～映画「ジョバンニの島」を活用した北方領土問題の啓発について

○10月1日（木） 開議 午後1時11分  
散会 午後1時29分  
第5委員会室  
委員長 角谷 隆司（自民）

### その他の議事

1. 意見案発議の件 [決定]
1. 北方領土返還要求運動滋賀県民会議との意見交換会への出席の件 [決定]
1. 平成27年度北方領土返還要求運動強調月間の実施結果に関する報告聴取の件  
[北方領土対策本部長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策本部参事報告]

### 質 問

1. 浅野 貴博委員（結志）  
～今後の北方領土交渉の行方について

### 新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○8月5日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時40分  
第1委員会室

委員長 長尾 信秀（自民）

### ○他の議事

1. JR日高線現地視察及びJR日高線に関する意見交換会出席報告の件 [委員長報告]
1. 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
1. JR留萌線及びJR石北線に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 苦小牧沖でのフェリーフェリー火災に関する報告聴取の件 [物流港湾室長報告]

### 質 疑

1. 富原 亮委員（自民）  
～JR留萌線及びJR石北線について
1. 花崎 勝委員（自民）  
～フェリーフェリー火災について

○9月2日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時40分  
第1委員会室  
委員長 長尾 信秀（自民）

### ○他の議事

1. JR留萌線に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 新千歳空港における24時間運用に関する報告聴取の件 [新千歳空港周辺対策担当局長報告]

### 質 疑

1. 花崎 勝委員（自民）  
～新千歳空港における24時間運用について
1. 菅原 和忠委員（民主）  
～新千歳空港における24時間運用について

### 質 問

1. 菅原 和忠委員（民主）  
～道内における小型航空機の安全対策について

○9月7日（月） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時23分  
第1委員会室  
委員長 長尾 信秀（自民）

### ○他の議事

1. 平成27年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通企画監説明]
1. 北海道新幹線開業日発表日以降の取組に関する報告聴取の件 [新幹線推進室長報告]
1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件 [航空局長報告]

○10月1日（木） 開議 午後1時12分  
散会 午後1時40分  
第1委員会室  
委員長 長尾 信秀（自民）

### 付託案件の審査

議案第8号  
空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

### ○他の議事

1. 付託議案審査の件
1. 「北海道新幹線開業日の決定を祝う札幌駅カウントダウンイベント」出席報告の件 [委員長報告]
1. 新千歳空港における24時間運用に関する報告聴取の件 [新千歳空港周辺対策担当局長報告]
1. JR北海道による利用の少ない列車や駅の見直しに関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

### 質 疑

1. 富原 亮委員（自民）  
～JR北海道による利用の少ない列車や駅の見直しについて
1. 赤根 広介委員（結志）  
～JR北海道による利用の少ない列車や駅の見直しについて
1. 菅原 和忠委員（民主）  
～JR北海道による利用の少ない列車や駅の見直しについて（指摘）

## 人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

○8月5日(水) 開議 午前10時34分  
散会 午前10時54分  
第2委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

### その他の議事

- 平成28年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]
- 「北海道町村会と東京23区長会の連携事業」に関する報告聴取の件  
[人口減少問題対策局長報告]

### 質疑

- 吉川 隆雅委員(自民)  
～北海道町村会と東京23区長会の連携事業について

### 質問

- 太田 憲之委員(自民)  
～政府関係機関の誘致について

○9月2日(水) 開議 午前10時9分  
散会 午前10時47分  
第2委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

### その他の議事

- 北海道人口ビジョン(素案)及び北海道創生総合戦略(素案)に関する報告聴取の件  
[人口減少問題対策局長報告]
- 地方創生に資すると考えられる政府関係機関の地方移転に係る提案に関する報告聴取の件  
[人口減少問題対策局長報告]
- 「地方分権改革に関する地方提案に対する共同提案」に関する報告聴取の件  
[地域主権担当局長報告]

### 質疑

- 太田 憲之委員(自民)  
～北海道人口ビジョン(素案)及び北海道創生総合戦略(素案)について

1. 宮川 潤委員(共産)  
～北海道人口ビジョン(素案)及び北海道創生総合戦略(素案)について

○9月7日(月) 開議 午後1時11分  
散会 午後1時50分  
第2委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

### その他の議事

- 道内市町村の人口ビジョン・総合戦略の策定状況に関する報告聴取の件  
[人口減少問題対策局長報告]
- 「振興局の役割と今後の方向等について(素案)」に関する報告聴取の件  
[地域主権担当局長報告]

### 質疑

- 吉川 隆雅委員(自民)  
～道内市町村の人口ビジョン・総合戦略の策定状況について
- 小岩 均委員(民主)  
～道内市町村の人口ビジョン・総合戦略の策定状況について

○10月1日(木) 開議 午後1時9分  
散会 午後2時11分  
第2委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

### その他の議事

- 道内調査実施の件 [決定]
- 北海道創生総合戦略等(原案)に関する報告聴取の件  
[人口減少問題対策局長報告]

### 質疑

- 吉川 隆雅委員(自民)  
～北海道創生総合戦略等(原案)について
- 小岩 均委員(民主)  
～北海道創生総合戦略等(原案)について
- 船橋 賢二委員(自民)  
～北海道創生総合戦略等(原案)について
- 太田 憲之委員(自民)  
～北海道創生総合戦略等(原案)について

1. 新沼 透委員（結志）  
～北海道創生総合戦略等（原案）について

## 少子・高齢社会対策特別委員会

○8月5日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前11時29分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

### 他の議事

1. 平成27年度国の施策及び予算に関する中央折衝実施報告の件 [委員長報告]  
1. 第2期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」推進状況に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]  
1. 「北海道子どもの貧困対策推進計画（仮称）」策定に係る基本的な考え方に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]

### 質疑

1. 塚本 敏一委員（自民）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画（仮称）」策定に係る基本的な考え方について  
1. 畠山 みのり委員（民主）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画（仮称）」策定に係る基本的な考え方について

### 質問

1. 塚本 敏一委員（自民）  
～結婚の希望をかなえる環境づくりについて  
1. 大越 農子委員（自民）  
～高齢世帯の状況について  
1. 山崎 泉委員（結志）  
～市民後見人について  
1. 荒當 聖吾委員（公明）  
～ダブルケアの現状について

○9月2日（水） 開議 午前10時11分  
散会 午前11時33分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

### 他の議事

1. 平成26年度道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況に関する報告聴取の件  
[子ども未来推進局長報告]

### 質疑

1. 塚本 敏一委員（自民）  
～平成26年度道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況について  
1. 畠山 みのり委員（民主）  
～平成26年度道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況について  
1. 山崎 泉委員（結志）  
～平成26年度道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況について  
1. 菊地 葉子委員（共産）  
～平成26年度道の児童相談所における児童虐待相談対応状況及び被措置児童等虐待の状況について

### 質問

1. 菊地 葉子委員（共産）  
～子ども・子育て新制度について

○9月7日（月） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時46分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

### 他の議事

1. 「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）に関する報告聴取の件  
[子ども未来推進局長報告]

### 質疑

1. 山崎 泉委員（結志）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）について  
1. 菊地 葉子委員（共産）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）について  
1. 滝口 信喜委員（結志）

～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）  
について

委員長 広田 まゆみ（民主）

○10月1日（木） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時41分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

### その他の議事

- 「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定に関する報告  
聴取の件 [子ども未来推進局長報告]

### 質 疑

- 大越 農子委員（自民）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定について
- 畠山 みのり委員（民主）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定について
- 菊地 葉子委員（共産）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定について
- 滝口 信喜委員（結志）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定について
- 佐々木 恵美子委員（民主）  
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」（素案）における指標及び目標値の設定について

### 質 問

- 塚本 敏一委員（自民）  
～有料老人ホーム設置運営指導指針の改正等について
- 山崎 泉委員（結志）  
～放課後児童対策について
- 荒當 聖吾委員（公明）  
～生活支援サービスについて

## 食と観光対策特別委員会

○8月5日（水） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時42分  
第10委員会室

### その他の議事

- 北海道プレミアム旅行券に関する報告聴取の件 [経済部観光局長報告]

### 質 疑

- 吉井 透委員（公明）  
～北海道プレミアム旅行券について

### 質 問

- 白川 祥二委員（結志）  
～観光客誘致に伴う防疫体制について

○9月2日（水） 開議 午前10時9分  
散会 午前10時15分  
第10委員会室  
委員長 広田 まゆみ（民主）

### その他の議事

- 「平成26年度北海道観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件  
[観光局長報告]

○9月7日（月） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時36分  
第10委員会室  
委員長 広田 まゆみ（民主）

### その他の議事

- ミラノ国際博覧会等における北海道の取り組みに関する報告聴取の件  
[農政部食の安全推進局長報告]

### 質 疑

- 丸岩 浩二委員（自民）  
～ミラノ国際博覧会等における北海道の取り組みについて

### 質 問

- 吉田 正人委員（自民）  
～北海道プレミアム旅行券について

○10月1日（木） 開議 午後1時9分  
散会 午後1時15分

第10委員会室  
委員長 広田 まゆみ（民主）

**その他の議事**

1. 高病原性鳥インフルエンザへの対応に関する  
報告聴取の件  
〔農政部食の安全推進局長報告〕

## 予算特別委員会

○9月18日（金） 開会 午後2時50分  
散会 午後2時59分  
第1委員会室  
委員長 東 国幹（自民）

### 正・副委員長の互選

- ① 委員長に東国幹委員（自民）、副委員長に梶谷大志委員（民主）を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の委員名簿のとおり選出。

### ○第1分科会（委員13人）

安住 太伸（結志）	川澄宗之介（民主）
内田 尊之（自民）	道見 泰憲（自民）
佐野 弘美（共産）	沖田 清志（民主）
梶谷 大志（民主）	中野 秀敏（自民）
三好 雅（自民）	松浦 宗信（自民）
内海 英徳（自民）	森 成之（公明）
喜多 龍一（自民）	

### ○第2分科会（委員13人）

阿知良寛美（公明）	浅野 貴博（結志）
池端 英昭（民主）	小岩 均（民主）
久保秋雄太（自民）	松山 丈史（民主）
市橋 修治（民主）	花崎 勝（自民）
吉川 隆雅（自民）	八田 盛茂（自民）
藤沢 澄雄（自民）	中山 智康（結志）
柿木 克弘（自民）	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長1人を置くことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表

のとおりとすることを決定。

- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び各分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。
- ⑨ 委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受け行うこと。分科委員の所属変更は本委員長の承認を受け行うことを決定。

## 第1分科会

○9月18日（金） 開会 午後3時  
散会 午後3時6分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
中野 秀敏（自民）

### 正・副委員長の互選

- ① 分科委員長に中野秀敏委員（自民）、分科副委員長に沖田清志委員（民主）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、三好雅委員（自民）、川澄宗之介委員（民主）、安住太伸委員（結志）、森成之委員（公明）、佐野弘美委員（共産）を選出。

○9月25日（金） 開議 午前10時1分  
散会 午後5時46分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
中野 秀敏（自民）

- ① **保健福祉部所管に対する質疑**に入り、  
**内田 尊之委員（自民）**から、  
1 子どもの貧困対策について

- ・生活困窮者自立支援法における学習支援事業の具体的な支援内容と対象者の範囲
  - ・対象者の把握方法及び周りの大人たちへのアプローチの方針
  - ・これまでの事業による具体的な成果並びに成果を踏まえた4月からの事業の実施方法
  - ・教育委員会等と連携した今後の学習支援事業の取り組み
- 2 周産期医療について
- ・周産期医療の現状に対する認識
  - ・周産期医療体制の確保に向けたこれまでの取り組み
  - ・産婦人科医師が不足する要因と確保に向けた取り組みの状況
  - ・周産期医療体制の確保に向けた今後の取り組み
- 3 在宅医療の推進について
- ・在宅医療の推進に向けた現在の取り組み
  - ・全道一律の在宅医療の展開に係る認識
  - ・在宅医療を担う医師の育成に向けた取り組み
  - ・地域医療構想実現のための医療と介護の連携及び在宅医療の推進に対する見解
- 4 航空医療体制について
- ・昨年度のドクターヘリの運航実績及び道南ドクターヘリ導入後半年間の運航実績
  - ・防災ヘリ等による搬送の手続方法及び昨年度の実績
  - ・固定翼機による搬送の現状
  - ・メディカルウイングの事業化に向けた今後の取り組み
- 等について
- 川澄 宗之介委員（民主）** から、
- 1 生活困窮者自立支援制度および子どもの貧困解消にかかる施策について
    - ・各自治体における制度に基づく事業の実施状況等
    - ・各自治体の庁内体制等の確認状況と情報共有の仕組み
    - ・自立相談支援事業が就労につながらない要因に関する道の見解と就労に向けた取り組み
    - ・道内自治体の就労訓練事業の委託状況及び就労訓練先の開拓に対する道の見解と果たすべき役割
    - ・自立相談支援事業の委託先が人材派遣会社の場合の危惧に対する道の見解及び対応
- 等について
- ・生活困窮者自立支援制度と生活保護制度の関係に関する道の見解**
- ・生活困窮者自立支援制度に関する道内自治体のネットワークづくりの推進に対する道の見解**
- ・支える側を支える仕組み**
- ・学習支援の実施状況等と呼びかけ方法**
- ・昨年度の子ども健全育成事業が利用されていない理由及び課題**
- ・自立相談支援事業に関する今後の取り組み方針**
- ・不登校の子どもに対する支援**
- ・生活困窮者自立支援制度と教育施策との連携状況**
- ・学校との関係構築に向けた道の見解**
- ・スクールソーシャルワーカーと自立支援員との連携の現状及び今後の取り組み**
- ・包括的に子どもを支援する制度の検討**
- 等について
- 三好 雅委員（自民）** から、
- 1 介護施設の運営について
    - ・本年4月に行われた介護報酬改定に対する認識
    - ・介護職員の賃金の実態
    - ・道内の介護施設における虐待の状況と発生の要因
    - ・虐待防止に向けた指導
    - ・地域における介護施設への運営支援に対する見解
- 等について
- 沖田 清志委員（民主）** から、
- 1 個人情報の管理について
    - ・本年3月に発生した個人情報が保存された外づけハードディスクの紛失に係るハードディスクの行方及び個人情報の流出の有無
    - ・個人情報流出の対象者への対応に係る所見
    - ・保健福祉部内における外づけハードディスクの保有状況
    - ・現在の管理状況及び再発防止に向けた今後の取り組み方針
- 等について
- 安住 太伸委員（結志）** から、
- 1 地域医療について
    - ・地域医療構想の策定に当たり最も大切にしなければならないこと

- ・周産期医療提供体制の現状と課題及び課題克服への見通し
  - ・助産師による分娩の立ち会いの現状、正常分娩の状況及び把握方法
  - ・産科医師不足を補うための助産師の活用に係る所見
  - ・女性医師の勤務環境整備の課題と認識及びその対策
  - ・女性医師の出産等に対する認識と意識調査の有無等
  - ・医師不足の状況に対する認識及び今後の見通し
  - ・医師確保に対する取り組み方針
  - ・医療体制の確立に向けたe-ラーニングなどの活用に係る所見
  - ・道立病院の経営改善に向けた職員満足度の向上に対する認識
  - ・経営形態のあり方に係るこれまでの議論経過
  - ・公営企業法全部適用への移行に向けた認識
- 2 手話言語条例（仮称）について
- ・条例制定に向けたこれまでの取り組み状況
  - ・道内の聴覚障がいのある方々における手話を使用している方々とその他のコミュニケーション手段を使用している方々の割合
  - ・条例制定に向けた今後の対応方針
- 等について
- 森 成之委員（公明）** から、
- 1 児童相談所について
    - ・相談対応件数及びここ数年の児童虐待対応件数と傾向
    - ・相談対応件数や虐待の対応件数が多い児童相談所の状況
    - ・検討会における児童相談所の担うべき役割や体制に関する検討内容
    - ・市町村との連携状況
    - ・児童相談所機能の充実に向けた提言に対する対応状況
    - ・児童相談所設置に対する少子高齢化対策監の所見
  - 2 高齢者の在宅生活を支える体制づくりについて
    - ・在宅サービスの整備状況
    - ・認知症高齢者数の状況及び平成37年度の見込み数
    - ・市町村における認知症初期集中支援チームの
- ・早期設置に向けた支援に対する所見
  - ・生活支援サービスの担い手確保に向けた対応
  - ・道内市町村における地域包括支援センターの設置状況及び運営主体の内訳と委託先の状況
  - ・地域包括支援センターの機能強化に向けた対応
  - ・地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みに対する所見
- 等について
- 梶谷 大志委員（民主）** から、
- 1 地域医療構想について
    - ・医療需要・病床の必要量の推計に対する認識
    - ・推計結果に対する受けとめ
    - ・地域医療構想の策定に向けた道の調整方針及び実現に向けた積極的な関与に対する所見と道の役割、総論の確立に向けた取り組みに対する所見
  - 2 道立病院について
    - ・新・北海道病院事業改革プラン改定検討会議の評価に対する対策方針
    - ・新・北海道病院事業改革プランにおける数値目標の設定に対する所見
    - ・地方公営企業法の全部適用に向けた現在までの検討状況と具体的な検討の進め方
    - ・人材確保のための独自の給与体系及び勤務条件の設定に対する認識
    - ・全部適用の移行に要する期間
    - ・必要な条例等の制定及び経営形態の見直しスケジュール
    - ・全部適用に向けた柔軟な対応に向けた所見
    - ・病院事業管理者のあるべき姿とスケジュール
    - ・指定管理者制度の導入が検討課題とされた経過及び現状
    - ・自律的な経営とされている北見病院が指定管理の導入検討を言及していることに対する所見
    - ・道立病院の役割の明確化に対する所見
- 等について
- 真下 紀子委員（共産）** から、
- 1 難病に係る医療対策等について
    - ・難病事業の変更の内容及び変更後の患者負担
    - ・制度改革に伴う患者からの要望の状況
    - ・受診動向の変化に対する取り組み方
    - ・患者申し出療養に対する受けとめと今後の対応

- ・財源負担の変更に伴う国と道の負担額の内訳と道の超過負担の解消状況
  - ・財源負担の変更に伴う道の負担軽減額の今後の使途
- 2 PTSDの取り組みについて
- ・PTSDの概要と病態及び治療法
  - ・患者に対する相談体制の状況
  - ・道内の医療機関の状況
  - ・学校及び家庭における理解促進策
  - ・今後の取り組み
- 3 子どもの貧困対策等について
- ・貧困問題に対する少子高齢化対策監の考え方
  - ・貧困問題にある子どもの把握における基準、対象及び調査手法
  - ・北海道子どもの貧困対策推進計画策定に当たっての具体的な事例の検討の有無及び荒川区の取り組みに対する評価
  - ・北海道子どもの貧困対策推進計画策定に当たっての事態の捉え方及び危機打開に向けた認識
  - ・これまでの道の施策による効果と改善の状況及び新たな施策の内容等
  - ・各部横断的な貧困対策の計画への反映
  - ・学校健診における再検査を受診できない子どもの実態把握の状況及び改善策
  - ・こんにちは赤ちゃん・プレママ臨時サポート事業商品券とホッカイドウ・ハートフル臨時支援事業商品券との違い及び全対象者への周知の確認方法
  - ・就労支援員の配置目標と達成状況及び効果
  - ・就労支援員1人増員に必要な財源
  - ・就労支援員の待遇改善に対する所見
  - ・北海道子どもの貧困対策推進計画へのワーキンググループ対策の搭載
- について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、少子高齢化対策監、地域医療推進局長、健康安全局長、福祉局長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、医務薬務担当局長、道立病院室長、保険衛生担当局長、総務課長、地域医療課長、医師確保担当課長、地域医療課医療参事兼医務薬務課医療参事、看護政策担当課長、道立病院室参事、地域保健課長、福祉援護課長、生活保護担当課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課長、精神保健担当課長、高齢者保健福祉課長、地域包括ケア担当課長、子ども子育て支援課長及び自立支援担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。
- ② **環境生活部所管に対する質疑**に入り、  
**内田 尊之委員（自民）**から、
- 1 交通安全について
- ・市町村が講じる交通安全指導員の育成措置に対する具体的な支援
  - ・北海道交通安全指導員連絡協議会に対する補助金の推移及び同協議会の活動の実態把握
  - ・補助金の一括削減見直しに対する見解
  - ・交通安全事業の推進に係る予算の確保に対する見解
- 2 有害鳥獣対策について
- ・エゾシカ肉処理施設の認証に必要な衛生管理の内容
  - ・認証制度の検討における有識者の意見
  - ・認証期間における衛生水準の担保に対する道の見解
  - ・認証制度においてエゾシカ肉加工食品を対象とすることに対する道の見解
  - ・エゾシカ肉の道内外への販路拡大に係る具体的な取り組みと今後の進め方
  - ・ゼニガタアザラシの生息状況及び漁業被害の推移
  - ・ゼニガタアザラシが絶滅危惧種選定の再評価に至った経緯
  - ・絶滅危惧種から外れることによる効果と状況変化の内容及び今後の道の対応
- 3 バイオガスの利活用について
- ・バイオガスの特徴と性質及び製造工程と製造に当たっての課題
  - ・バイオガスの原材料と安定的な原料確保に向けた取り組み
  - ・畜産農家が家畜ふん尿を原料として提供するメリット
  - ・バイオガス発電の普及が進まない理由
  - ・地域資源としてバイオガスのさらなる活用推進に向けた部長の決意
- 等について
- 千葉 英守委員（自民）**から、
- 1 スポーツ振興について
- ・本道の国体派遣費に係るこれまでの予算措置の考え方
  - ・他府県と比較した派遣費の選手1人当たりの補助額並びに選手の自己負担額及び輸送費の状況
  - ・他県の状況を踏まえた輸送費の負担額に対する見解

る今後の対応

- ・はまなす国体及び平成15年以降の本道選手の各競技の成績の推移及び成績に対する道の認識
- ・選手強化に向けた考え方
- ・スポーツ王国・北海道を目指す今後の取り組みに対する部長の決意

等について

**安住 太伸委員（結志）** から、

- 1 水道事業における小水力発電の導入について
  - ・国のポテンシャル調査の内容と結果
  - ・道内の水道事業における導入状況と導入の動き
  - ・小水力発電の導入を促進するための国モデル事業の補助率
  - ・道の積極的な小水力発電設備の導入推進に対する考え方

等について

**森 成之委員（公明）** から、

- 1 文化発信について
  - ・北海道開拓記念館開館からの来館者の状況と北海道博物館が身近な施設として道民に親しまれていることに対する道の認識
  - ・北海道博物館赤れんがサテライト設置の狙い
  - ・道内の他の博物館等との連携した今後の取り組み
  - ・北海道新幹線開業による文化発信に向けた今後の取り組み
- 2 生物多様性の保全について
  - ・道内における地域連携保全活動支援センターの設置状況及び具体的活動内容並びに今後の道のかかわり方
  - ・地域活動の把握及び積極的な情報発信に対する仕組みの検討
  - ・戦略的な普及啓発に向けた取り組みに対する道の所見

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境局長、くらし安全局長、生物多様性・エゾシカ対策担当局長、文化・スポーツ担当局長、水道担当課長、循環型社会推進課長、生物多様性保全課長、動物管理担当課長、有効活用担当課長、交通安全対策担当課長及び文化・スポーツ課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

○9月28日（月） 開議 午後1時

散会 午後5時35分

第1委員会室

第1分科委員長

中野 秀敏（自民）

① **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

**松浦 宗信委員（自民）** から、

- 1 北海道創生総合戦略などについて
  - ・連携地域別政策展開方針の見直しの必要性に対する考え方
  - ・戦略素案と政策展開方針の関係及び戦略策定の進め方
  - ・戦略策定に当たっての振興局の役割
  - ・戦略策定に向けた地域意見の把握の方法
  - ・出生率の引き上げに向けた施策及び予算に対する所見
  - ・道独自の出生率の想定
  - ・KPIによる評価に対する認識
  - ・KPIとのかかわりを含めた総合戦略における基本戦略の数値目標に対する認識
  - ・施策への時間的な取り組みに対する考え方
  - ・重点戦略プロジェクトと基本戦略における施策とのかかわり及び取り組み成果の評価手法
  - ・総合戦略の推進管理と政策評価の仕組みに対する考え方
  - ・創生会議での意見を含む総合戦略の素案に対する評価に係る認識
  - ・これまでの延長線上にない新しい発想が指すもの
  - ・知事公約における人口減少危機突破の戦略への反映に係る見解
  - ・人口ビジョンにおける社会増に対する見込み及び将来の対策展望
  - ・目指す姿の明確化
  - ・戦略の目指すべき姿

等について

**川澄 宗之介委員（民主）** から、

- 1 北海道総合計画等、北海道の将来像に対する児童生徒の学習、意見表明の機会の必要性について
  - ・総合計画の策定の進め方及び内容の資料提供の必要性
  - ・将来ビジョンに対する児童生徒からの意見表明・提言の場の設定
  - ・高校配置指針の見直しに対する見解
- 2 グローバル人材育成プログラムについて

- ・本プログラムの具体的な内容及び果たす役割
  - ・本プログラムを通じ成長した若者が果たす役割に対する見解
  - ・北海道のために活躍する人材育成に対する見解
  - ・検討会議等の設置など意見を伺う場の設定
- 等について

**内田 尊之委員（自民）から、**

- 1 地域づくりサポート隊について
    - ・本事業の目的及び概要並びに応募状況等
    - ・地域おこし協力隊の活用に対する見解
    - ・今後の取り組み
  - 2 ふるさと移住・定住について
    - ・ふるさと移住定住推進センターの設置に向けた今後のスケジュール及び機能・組織体制
    - ・首都圏におけるセンターの設置場所及び運営方法の検討状況
- 等について

**沖田 清志委員（民主）から、**

- 1 個人情報の管理について
    - ・部長名での管理通知以前の外部記録媒体の保管に係る状況
    - ・道庁全体における外づけハードディスクの保有台数
    - ・CD、DVD等の記録媒体の保有状況及び管理状況
    - ・第三者を含めた管理状況の点検方法に対する所見
    - ・マイナンバー制度の導入を控えた情報管理・流出防止対策の今後の取り組み
- 等について

**道見 泰憲委員（自民）から、**

- 1 海外航空会社の就航希望実態と展望について
    - ・新千歳空港における就航できていない航空会社や便数
    - ・マレーシアやベトナム、中国からのチャーター便が乗り入れできない現状の解消に向けた計画の状況
- 等について

**安住 太伸委員（結志）から、**

- 1 北海道創生に向けた計画等管理手法について
  - ・指標の設定における外部有識者や各分野・専門領域ごとの関係者等からの意見聴取の有無
  - ・指標同士の相互連関性に係る検証の有無
  - ・指標の客觀性
  - ・評価・検証における産業連関分析データや手

法の活用

- ・RESAS活用の現況及び市町村への支援
  - ・事業仕分け等による効果的な施策の推進
  - 2 新幹線開業と交通系ICカードについて
    - ・交通系ICカードの現状と課題及び今後の対策
  - 3 社会基盤としての道立高校について
    - ・大綱の目的及び認識の共有
    - ・若い女性の就業率と出生率の相関関係に対する所見
    - ・女性が働きやすい場の創設と地方部の衰退との関係に対する認識
    - ・大分県の分析結果を生かした人口ビジョン策定の検討
    - ・1次産業を担う地域に根差した産業人育成の必要性に対する認識
    - ・職業学科を備えた道立高校の必要性に対する認識及び職業学科の定員に対する合格者数で見た充足率の現状に対する受けとめ
    - ・全国や諸外国から生徒を受け入れるための魅力や水準を備えた学校づくりに対する所見
    - ・ホームステイなどの協力者に対する支援金的制度の創設に対する所見
    - ・北海道版探究科の設置に対する見解
    - ・親の所得と子どもの学力の相関関係に対する所見
- 等について

**三好 雅委員（自民）から、**

- 1 いなか暮らし「しごと」創造支援事業について
  - ・事業の概要と目的
  - ・ローカルワークコーディネーターの選定と配置の方法
  - ・ローカルワークの想定内容
  - ・ローカルワークコーディネーターの情報収集方法
  - ・移住希望者の住まいの問題に係るコーディネーターの役割
  - ・移住者が年間を通して暮らし続けるための対応
  - ・地域おこし協力隊の任期後も定住してもらうための取り組みの実施に対する見解
  - ・振興局と市町村の連携によるコーディネーターが活躍しやすい環境づくりに対する見解
  - ・地域の価値の掘り起こしにつながるコーディネーターの役割に対する認識

- ・今年度の目標及び来年度以降の事業継続に対する見解
  - ・今後の移住施策の進め方
- 2 地域交通について
- ・JR北海道の地域に対する姿勢に係る認識及び今後の対応
- 等について
- 梶谷 大志委員（民主）** から、
- 1 TPPについて
    - ・交渉経過と閣僚会合において合意に至らなかつた原因の受けとめ
    - ・政府の交渉姿勢に対する道の認識
    - ・道としての対応に係る所見
    - ・今後の交渉に係る知事を含めた道の対応及び今後の対策
  - 2 創生総合戦略について
    - ・年次別の具体的な工程表及び事業計画の策定に係る認識
    - ・政策評価の毎年実施と評価結果の反映
    - ・官以外の業界が果たすべき役割と総合戦略への記載の必要性
    - ・戦略推進のための事業の継続性に係る認識及び今後の対応
    - ・新型交付金に対する認識
  - 3 地域交通ネットワークについて
    - ・新千歳空港の発着枠拡大に伴う利用見込み
    - ・受け入れ体制の整備及び交通手段の確保に係る取り組み状況
    - ・住宅防音対策費の増に対する認識及び財源捻出の方策
    - ・周辺地域振興基金と地域振興対策とのすみ分け及び基金の造成不足部分の調整と成果の見通しに係る所見
    - ・道・地元市だけによる負担及び国や航空会社、経済界の財政負担に係る所見
    - ・枠拡大によるメリットに対する経済界及び航空会社の理解並びに理解を得られていない場合の理由
    - ・枠拡大の効果、枠拡大と就航実現に向けた公約との関係及び経済界への協力
- 等について
- 佐野 弘美委員（共産）** から、
- 1 マイナンバー制度について
    - ・本格実施に当たっての個人情報漏えい防止対策
    - ・中間サーバーの安全性に関する認識
    - ・道内市町村における既存住基システムとのインターネット接続の分離の状況
    - ・住基カードの紛失・盗難による番号流出の危険性に対する対策
    - ・住基カードの取得率及び偽造・なりすまし被害の発生状況と対策
    - ・安全対策に係る道内自治体の不安に対する対応
    - ・制度延期や対策の抜本的強化を国に求めることに関する道の見解
  - 2 人口減少と貧困等について
    - ・他の都府県よりも人口減少の規模と速度が速い要因
    - ・人口減少の要因に対するこれまでの具体的対策と今後の対策
    - ・人口減少と貧困との関係
  - 3 地方交通等について
    - ・JR日高線の存続等に係る3者協議の内容と今後の見通し
    - ・台風17号による被災状況と新たな土砂流出に関するJR北海道からの報告内容
    - ・新たな被害に係る国やJR北海道に対する対応
    - ・応急復旧工事を優先することに対する所見
    - ・今後の協議における道の対応
    - ・JR日高線の利用拡大の取り組みに対する交通企画監の認識と決意
    - ・無人駅の数及び無人化または廃止を検討している駅の数
    - ・駅の無人化の基準に係るJR北海道からの説明内容
    - ・鷲別駅が無人化されることに対する所見
    - ・JR北海道への働きかけ
- 等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、交通企画監、政策局長、情報統計局長、人口減少問題対策局長、交通政策局長、航空局長、総合教育担当局長、計画推進担当局長、地域づくり担当局長、地域主権担当局長、空港運営戦略担当局長兼調整担当局長、新千歳空港周辺対策担当局長、政策局参事、計画推進課長、情報政策課長、地域戦略課長、地域創生担当課長、集落・地域活力担当課長兼移住・定住担当課長、市町村課長、地域交通・並行在来線担当課長、交通ネットワーク担当課長、航空課長及び新千歳空港周辺対策担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

○9月29日（火） 開議 午前10時7分  
閉会 午後3時51分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
中野 秀敏（自民）

① 総務部所管に対する質疑に入り、  
**三好 雅委員（自民）** から、

1 原子力防災対策について

- ・防災計画における住民避難用車両の確保及び運用方法
- ・緊急時のバス確保に向けた北海道バス協会との協議目的と内容及び状況
- ・住民避難のためのバス確保対策に係る今後の対応
- ・避難行動要支援者名簿未策定町村への対応
- ・緊急時対応の取りまとめと国の原子力防災会議による了承に向けた今後の取り組み

2 防災対策について

- ・道内市町村における災害ごとの避難勧告等の発令基準の策定状況と道の取り組み
- ・ハザードマップの作成が進んでいない市町村への対応
- ・市町村において指定緊急避難場所及び指定避難場所の指定が進んでいない理由と今後の対応
- ・災害情報に係る道と市町村の共有方法と市町村から住民への伝達方法
- ・避難対策に係る市町村の取り組み状況の把握と充実に向けた取り組みに対する見解

3 消防防災ヘリコプターの運航体制について

- ・救急活動による運航がふえている理由
- ・24時間運航の場合における対応可能件数及び実際に要請のあった地域における対応件数及び対応状況
- ・地元市町村の消防や病院関係者との連携状況
- ・ヘリコプター操縦士の確保に向けた道及び国の検討状況
- ・今後の取り組みに対する決意

等について

**川澄 宗之介委員（民主）** から、

1 泊原発避難計画等について

- ・30キロメートル圏内における学校等の避難計画の内容
- ・市町村・学校等への避難計画の策定に係る指

導助言等の対応

- ・道による基本的な避難計画の策定と実態に合った避難計画策定に向けた指導助言に対する見解
- ・5キロメートル圏内にある小中学校の避難計画の内容に対する認識
- ・児童等を保護者に引き渡す場合の対応
- ・30キロメートル圏内の学校における訓練の実施状況と未実施の学校への指導助言に対する見解
- ・北海道バス協会との協定内容と今後のスケジュール
- ・PAZ内の住民避難に必要なバスの台数とバス及び運転手の確保の見込み
- ・被曝リスクに対するバス運転手等の理解を得るための方策、バス事業者等との今後の対応等について

**松浦 宗信委員（自民）** から、

1 附属機関について

- ・現在の附属機関等の設置状況、開催実績、委員数、経費の状況
- ・平成23年度の一斉点検時と比較した現状と見直しの状況
- ・要綱等により設置する委員会の委員等への報酬に係る全国の住民訴訟の内容及び全国的事案や他都府県の対応
- ・附属機関等の設置に対する検討状況と今後の対応

2 政策評価について

- ・現在の政策評価制度の仕組みと平成22年度の条例改正時の考え方
- ・現行制度及び運用上の課題等
- ・特定課題評価の実施状況と効果
- ・昨年度に特定課題評価を実施しなかった理由と今年度の方針
- ・創生総合戦略と政策評価制度の見直し検討に対する見解
- ・見直しのスケジュールと今後の対応

3 行財政運営について

- ・これまでの行財政改革の取り組みと現状に対する認識
- ・地方行政サービス改革の推進に係る国の助言の主旨及びこれに対する受けとめと今後の対応
- ・行政サービスのオープン化・アウトソーシング

- グ等の推進に係るこれまでの取り組みと課題
- ・自治体情報システムのクラウド化の拡大及び地方自治体の財政マネジメント強化への対応
  - ・来年度以降の行政改革の取り組み素案の取りまとめ方
  - ・道の一般財源が改善した主な要因と今後の見込み
  - ・今後の義務的経費の見込み
  - ・職員数の現状及び削減による影響に対する認識と対応
  - ・給与の独自縮減による影響と廃止を含めた今後の対応
  - ・高どまりする道債償還費への対応
  - ・投資的経費の縮減に伴う道内経済への影響に対する対応
  - ・今後の収支対策と財政運営の取り組み

等について

**梶谷 大志委員（民主）** から、

1 行財政改革について

- ・行政改革における改革工程表の推進項目の達成状況及び未達成項目の状況
- ・国の方針に係る民間委託等の推進に向けた対応並びに指定管理者制度や地方独立行政法人制度における現行の対象施設の見直しに対する所見
- ・国の方針と道のこれまでの取り組みに対する認識並びに取りまとめの方向性
- ・財政改革における道税収入の当初予算額と決算額の過去3年間の各年度ごとの差額
- ・予算額と決算額が乖離した理由及び来年度予算から見込み方法を改める必要性に対する所見
- ・当初予算と決算額の乖離に対する認識
- ・平成26年度決算における歳入額と歳出額の具体的な金額と内訳
- ・道の実態を踏まえた交付税に対する所見及び本来受け取るべき交付税の確保に向けた今後の取り組み方針
- ・職員数適正化計画に係る職員数の今後の方に対する認識

2 消防防災、救急・救命について

- ・消防防災ヘリの運航要請にエリアを含め対応できない実態に対する所見
- ・勤務時間外に対応できない場合及び市町村数
- ・他機関との協議の内容及びこれまでの経過

- ・消防防災ヘリのあり方を含めた運航体制の確立

等について

**道見 泰憲委員（自民）** から、

- 1 品質確保法に関する道有施設の維持管理について
- ・道における維持管理業務の件数と契約金額の状況
  - ・維持管理方法の見直しと各部との連携に対する見解
  - ・委託契約に係る仕様書等の計画的な見直し
  - ・見直しに向けた業界団体等からの意見集約

等について

**安住 太伸委員（結志）** から、

1 新電力の導入について

- ・これまでの道における新電力の導入の経過と効果
- ・平成26年度に支払った電気料金全体に占める割合
- ・今後の導入見通しと時期
- ・道有施設での再生可能エネルギーによる発電事業者の活用に関する考え方
- ・知事部局以外の施設への導入促進

2 ノーザン・レスキューと防災対策について

- ・今回のノーザン・レスキューの訓練想定
- ・今回の想定に係る道の認識
- ・今回の訓練を通じて把握できた課題
- ・把握された課題に対する今後の具体的な対策
- ・当事者として道みずからが具体的な対策を講じていくことへの考え方と決意

等について

**内田 尊之委員（自民）** から、

1 札幌医科大学の研究の取り組みについて

- ・脳梗塞及び脊髄損傷に係る細胞再生療法の概要と現在の取り組み状況
- ・先端的な医学研究の取り組み状況
- ・研究成果の活用状況と研究に対する道の受け止め
- ・最先端の研究に対するより一層の支援

等について

**森 成之委員（公明）** から、

1 札幌医科大学について

- ・地域への医師派遣の状況
- ・医師派遣の取り組みに対する道の認識
- ・初期臨床研修制度の導入前後における臨床研

### 修医数の状況

- ・臨床研修医の確保に対する札医大の取り組み状況
- ・道立病院との経営統合に向けた具体的な検討に対する所見
- ・新たな医師派遣システムの検討に対する所見
- ・ロシア極東地域との交流内容と健康・医療分野における交流推進に係る所見
- ・附属病院に入院する患者数と外国人の患者の受け入れ状況
- ・附属病院の整備スケジュールと整備に当たっての考え方
- ・高度救命救急センターの拡充方針
- ・附属病院の既存棟改修に当たっての考え方
- ・再生医療に対する道の認識
- ・糖尿病に対する再生医療の研究概要と取り組み状況
- ・再生医療の概要と治験の状況及び今後の新薬販売に向けた具体的な見通し
- ・研究を加速するための取り組み
- ・再生医療に対する支援に係る道の所見
- ・札幌医科大学への支援に対する道の考え方

等について

### 佐野 弘美委員（共産）から、

#### 1 マイナンバー制度について

- ・特定個人情報保護評価における個人情報漏えいリスクの認識
- ・全項目評価の対象事務と対象基準及び重点項目評価書と基礎項目評価書に係る安全性の担保方法
- ・基礎項目評価の対象人数及び第三者点検の実施の有無
- ・特定個人情報保護評価がされていない個人情報の安全性
- ・国に対する特定個人情報評価制度の改善要望

#### 2 災害対策等について

- ・避難勧告等の判断基準及びハザードマップを作成していない市町村の状況
- ・避難勧告の判断基準とハザードマップの作成が進まない理由及び作成に向けた今後の道の支援
- ・危険区域に立地している福祉施設等の箇所数とこれら施設等における避難計画の策定状況
- ・住民の安全確保に対する今後の取り組み

#### 3 天下り等について

- ・平成27年の課長級以上職員の再就職数と昨年度との比較及びそれに対する受けとめ
- ・指名登録業者への再就職が増加している理由
- ・各部別の再就職の人数
- ・課長級以上職員が連續して再就職した就職先及び3代以上の連續して就職している就職先の状況
- ・指名登録業者に再々就職した次長級以上職員の状況
- ・道から指定金融機関等への再就職と指定金融機関等から道への受け入れ状況
- ・再就職の交換に係る道の考え方
- ・北電及び子会社等への再就職の状況と自粛の適否
- ・再就職要綱に違反して再就職した元副知事の状況
- ・再就職要綱の見直し

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、職員監、危機管理監、総務部次長兼行政改革局長、人事局長、財政局長、法務・法人局長、大学法人室長、危機対策局長、原子力安全対策担当局長、財産活用担当課長、財産管理担当課長、行政改革課長、人事課長、財政課長、資金担当課長、税務課長、行政情報センター所長、大学法人室参事、危機対策課長、防災航空室長及び原子力安全対策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

## 第 2 分 科 会

### ○ 9月18日（金）

開会 午後3時  
散会 午後3時7分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
市橋 修治（民主）

### 正・副委員長の互選

- ① 分科委員長に市橋修治委員（民主）、分科副委員長に吉川隆雅委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、花崎勝委員（自民）、池端英昭委員（民主）、中山智康委員（結志）、阿知良寛美委員（公

明) を選出。

○ 9月25日（金） 開議 午前10時1分  
散会 午後4時33分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
市橋 修治（民主）

① 建設部所管に対する質疑に入り、

花崎 勝委員（自民）から、

1 住宅政策について

- ・建築基準法に基づく定期報告における対象建築物の誤認の経緯と発生原因及び今後の対応と再発防止策
- ・北海道住生活基本計画による公営住宅供給目標量に対する供給状況
- ・公営住宅の整備に向けた取り組み
- ・高齢者に対する住宅施策の取り組み
- ・障がい者に対する住宅確保の取り組み成果と今後の課題
- ・子育て世代に対する住環境づくりへの取り組み内容と今後の方針
- ・道営住宅整備活用方針に基づく広域再編型整備と地域再編型整備の取り組み状況
- ・道営住宅の広域再編型整備に対する今後の検討方針
- ・今後の推進方針

2 防災対策について

- ・近年における道管理河川の洪水被害発生状況と堤防決壊被害発生状況
- ・河川整備の進捗状況
- ・今後の洪水対策の推進方針
- ・河川管理施設の点検方法及び堤防の延長距離
- ・台風時期における河川管理施設の点検・補修の実施に対する考え方
- ・大規模建築物の耐震診断未実施の事情
- ・耐震診断結果により改修を要する建築物の件数
- ・耐震改修に係る国の補助制度の活用状況
- ・補助対象とならない耐震改修工事に対する対応
- ・道路管理に関する検討委員会での今冬に向けた検討状況と今後の対応方針
- ・今後の取り組み方針

等について

池端 英昭委員（民主）から、

1 豪雨災害対策について

- ・道管理河川の浸水想定区域の指定状況
- ・浸水想定区域図の見直しへの考え方と取り組み方針
- ・市町村の防災対応への支援状況
- ・道管理河川の治水対策
- ・市町村管理の準用河川に対する道の対応
- ・今後の防災対応への推進方針

等について

松山 丈史委員（民主）から、

1 建築基準法に基づく定期報告対象建築物の誤認について

- ・法第12条の立法趣旨と誤認の判明経緯
- ・誤認の期間と原因
- ・定期報告の通知方法
- ・被誤認者への今後の対応
- ・再発防止に向けた研修内容

2 道路の空間活用について

- ・公共建築物以外で道路占用が許可される工作物と占用料金の設定内容
- ・占用許可におけるオープン化や多機能化の推進に対する所見
- ・地域の課題や要望を踏まえた活用方法への所見

3 自転車の通行環境の整備について

- ・自転車事故の実情への認識に基づく安全確保に対する見解
- ・自転車道の早期整備及び道民の福利に資する空間活用への考え方
- ・ブルーレーン設置に向けた実証実験への考え方
- ・自転車利用促進の視点に基づく対応に対する部長の決意

等について

浅野 貴博委員（結志）から、

1 本道における防災体制について

- ・今後の治水対策及び河川整備への推進方針

2 本道における耐震改修について

- ・耐震診断の進捗状況
- ・診断結果により基準未満となった件数と所有者の状況把握と対応
- ・耐震診断結果の公表方法及び風評被害への対応
- ・道の耐震改修補助制度の活用見通し
- ・国の耐震改修補助制度継続の見込みと道の認

識

- ・耐震改修促進計画による耐震化達成率と評価
- ・耐震化へのこれまでの取り組みへの評価と今後の取り組み方針

3 北海道インフラ長寿命化計画について

- ・計画の概要
- ・これまでの取り組みと計画内容との違い
- ・点検技術者確保に対する考え方と点検実施者
- ・点検結果の共有と公表への想定
- ・市町村に対する支援への考え方
- ・予防保全型維持管理の導入に向けた検討終了と導入の判断時期
- ・施設修繕の着実な実施に向けた課題に対する考え方

4 本道における公共事業の意義について

- ・道内経済に対する公共事業が果たす役割への認識
- ・安定した予算確保への取り組みに対する見解等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建築企画監、建設政策局長、土木局長、住宅局長、施設保全防災担当局長、建設政策課長、維持管理防災課長、維持担当課長、管理担当課長、道路課長、高速道・市町村道担当課長、河川砂防課長、建築指導課長、建築安全担当課長及び住宅課長から答弁があつて、建設部所管に関する質疑を終結。

② 水産林務部所管に対する質疑に入り、

**久保秋 雄太委員（自民）** から、

- 1 台風による秋サケ定置網の被害について
  - ・定置網の被害状況と今後の対応
- 2 海獣による漁業被害について
  - ・トド駆除に係る近年の採捕枠と採捕実績
  - ・捕獲枠取り残しの要因
  - ・トド駆除に従事する漁業者ハンターを含むハンター数
  - ・漁業ハンターの育成状況と増加に向けた取り組み方針
  - ・国実施の強化刺し網実証事業の実績と漁業者の評価
  - ・環境省によるゼニガタアザラシの絶滅危惧種選定の再評価に伴う漁業被害対策への今後の取り組み
  - ・漁業被害対策の充実強化への取り組みに対する所見
- 3 森林認証について
  - ・道内の取得状況と取得に向けた課題への認識

- ・東京オリンピック・パラリンピック関連施設への道産木材や認証材の利用促進に向けた取り組み
- ・取得促進に向けた今後の取り組みへの見解等について

**池端 英昭委員（民主）** から、

- 1 道民の森活用方針について
  - ・道民の森来場者減少への認識
  - ・道民の森の活用方針案の基本的な考え方
  - ・道民の森の全道周知拡大に向けた今後の取り組み
  - ・自然体験イベント開催への考え方
  - ・施設の長寿命化に向けた推進方策
  - ・新たなニーズに対する今後の取り組み
  - ・計画目標達成に向けた部長の決意

等について

**小岩 均委員（民主）** から、

- 1 水産物の輸出について
  - ・主要品目の種類と輸出実績及び輸出先
  - ・輸出拡大に向けた関係団体との連携状況と取り組み内容及び具体策
  - ・基本戦略への取り組み方針

等について

**浅野 貴博委員（結志）** から、

- 1 サケ・マス流し網漁業の存続について
  - ・国への要請活動経緯の詳細
  - ・今月実施した国への要請活動の詳細
  - ・要請活動に向けたアポイントメント実施の有無と理由
  - ・要請先の選定
  - ・要請関係者への協力依頼の妥当性
  - ・漁法転換に伴うサケ・マス漁業継続の見通し
  - ・ロシア側との協議に向けた関係者への協力依頼の必要性への考え方
- 2 日本海側漁業の振興について
  - ・海獣被害に係る直接補償制度創設に向けた国への具体的な要請内容
  - ・漁業者への制度実現に向けた現段階の手応え

等について

**松山 丈史委員（民主）** から、

- 1 木質バイオマスの利用について
  - ・道内におけるまきの生産量と利用促進に向けたこれまでの取り組み
  - ・まきモニター調査の実施結果と対応策
  - ・まきボイラーの利用促進に向けた考え方

- ・道内市町村におけるまきストーブ等への支援状況
- ・木質バイオマスの利用状況
- ・地域利用に向けたこれまでの取り組み
- ・大規模木質バイオマス発電施設の本格稼働に向けた取り組み方針
- ・木質バイオマスのエネルギー利用に向けた推進方針

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長、林務局長、森林環境局長、水産基盤整備担当局長、森林計画担当局長、水産経営課長、水産食品担当課長、水産振興課長、国際漁業担当課長、林業木材課長、木材産業担当課長、森林計画課長及び緑環境担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に対する質疑を終結。

### ③ 農政部所管に対する質疑に入り、 久保秋 雄太委員（自民）から、

#### 1 飼料基盤整備について

- ・草地整備改良に係る国の補助事業制度に対する道の考え方
- ・草地の生産性向上に向けた環境整備に対する見解
- ・飼料基盤整備に対する取り組み方針

#### 2 農地中間管理事業について

- ・本年度の協力金の要望状況と道の予算措置額
- ・需要額調査結果に伴う状況への今後の対応

#### 3 6次産業化について

- ・道内における農林漁業者の取り組み状況と認識
- ・事業者が抱える課題への認識
- ・計画認定事業者による課題への対応策と具体的な事例及び新たな実態把握の必要性に対する見解
- ・6次産業化サポートセンターの活動状況
- ・6次産業化スタートアップ事業の活用状況
- ・農商工連携の推進方策

#### 4 スマート農業について

- ・道の認識と道内の取り組み状況
- ・地域におけるGPSガイダンスシステム関連分野の展開に対するこれまでの取り組み状況
- ・今後の推進方策

等について

### 池端 英昭委員（民主）から、

#### 1 農業生産基盤整備について

- ・本道農業の現状認識

- ・農地の大区画化の整備状況と具体的効果
- ・小規模農家に対する農地整備への考え方
- ・ICT技術の導入に伴う農地の大区画化などの生産基盤整備の必要性と中小規模農作業の省力化への考え方
- ・農地パワーアップ事業の継続要望に対する道の見解
- ・予算確保に向けた今後の取り組みに

等について

### 藤沢 澄雄委員（自民）から、

#### 1 ホッカイドウ競馬について

- ・今年度における売り上げの状況と好調要因及び今後の見通し
- ・本年度の番組状況と課題に対する見解
- ・他の競馬場の影響と他場との連携発売に対するこれまでの取り組み及び今後の発売拡大に向けた見解
- ・企業や地域との連携に係る取り組み経過と効果
- ・門別競馬場の魅力に対する認識
- ・競馬場への誘客に向けた取り組み内容
- ・海外観光客の誘客促進への取り組み状況、観光施策との連携に対する取り組み
- ・競馬場の魅力アップに向けた専門家の活用に対する考え方
- ・閉鎖した札幌駅前場外発売所の全道場外発売所に占める発売ウエートと位置づけ
- ・札幌駅前場外発売所のホッカイドウ競馬における位置づけと移転先確保に向けた取り組み状況
- ・札幌駅前場外発売所の新規設置に向けた決意
- ・門別競馬場とインターネットを含めた場外における過去3年間の発売比率
- ・映像施設の整備状況と新施設の設置に向けた検討状況
- ・新施設整備に向けた事業計画策定に対する部長の決意

等について

### 小岩 均委員（民主）から、

#### 1 農畜産物の輸出について

- ・主要品目の輸出実績
- ・輸出拡大に向けた農業団体との連携状況
- ・輸出戦略の検討状況と具体方策
- ・基本戦略への農政部のかかわり、道産農畜産物の輸出拡大に向けた今後の取り組み方針

## 2 農地転用と荒廃農地について

- ・法改正に伴う農地転用に係る知事権限の移譲に向けた市町村との協議の進め方に対する考え方
- ・指定市町村制度による市町村への権限移譲への対応
- ・荒廃農地の現状と再生利用に向けた取り組み
- ・法整備に伴う農地中間管理事業の予算措置内容と進捗状況及びその結果となった理由と今後の見通し

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、農業経営局長、農村振興局長、競馬事業室長、技術支援担当局長、農政課長、競馬事業室参事、6次産業化担当課長、技術普及課長、農業経営課長、農地調整課長、農村設計課長、農地整備課長及び農村計画課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○9月28日（月） 開議 午後1時

散会 午後4時41分

第2委員会室

第2分科委員長

市橋 修治（民主）

## ① 農政部所管に対する質疑を続行し、

**柿木 克弘委員（自民）** から、

### 1 地産地消の推進について

- ・直売所における集客力の強化推進に向けた支援に対する見解
- ・道産食材をアピールするための地産地消弁当提供などの取り組みに対する考え方

### 2 若手農業者の育成について

- ・若手農業者及び新規参入者を対象とした研修の開催状況
- ・新たな研修機会の確保に対する考え方
- ・若手農業者の育成に向けた取り組み方針

等について

**浅野 貴博委員（結志）** から、

### 1 TPP参加を見据えた道の対応について

- ・TPPの影響試算の内容
- ・試算結果に対する道の見解と農業振興策のシミュレーションの実施状況
- ・国会決議遵守の上での新たな影響試算の内容
- ・国会決議の内容に対する認識
- ・国会決議遵守の場合における本道農業の持続的な発展維持に対する認識

- ・TPP交渉妥結を想定した本道農業の持続的な発展を図るために必要な予算措置のシミュレーションの実施状況の有無と実施していない場合の理由

- ・TPP交渉妥結を想定した本道農業施策の振興に向けた取り組み

## 2 農業農村整備事業について

- ・予算措置状況に対する現状認識
- ・予算確保に向けた他府県との連携状況と国への具体的な働きかけ方法
- ・来年度の予算確保に向けた現時点の状況

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、農業経営局長、農村振興局長、政策調整担当課長、農業経営課長及び農村設計課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

## ② 経済部所管に対する質疑に入り、

**吉川 隆雅委員（自民）** から、

### 1 大規模建築物の耐震改修について

- ・義務化されたホテル・旅館の耐震診断の進捗状況
- ・耐震診断が終了したホテル・旅館の耐震改修の進捗状況
- ・耐震診断及び耐震改修に関する対応状況と促進に向けた対応

### 2 農商工連携について

- ・これまでの取り組み及び事業化件数や売り上げなどの成果
- ・地域経済活性化への寄与に対する認識
- ・他県における農商工連携の取り組み及び国の認定状況、他県の状況を踏まえた取り組みへの考え方
- ・農商工連携の推進方向

### 3 地域経済の活性化について

- ・基本方針策定に当たっての考え方
- ・地域経済カルテに基づく施策の組み立て方及び予算編成との関係性への考え方
- ・人口減少下の地域経済の課題に対する施策の時間軸及び全序的な調整内容
- ・基本方針と北海道創生総合戦略との整合性に対する認識
- ・施策効果の評価と来年度に向けた取り組み
- ・地域プラットフォーム会議での取り組みの評価と来年度に向けた意見
- ・地域経済の活性化に向けた考え方

- 4 ASEAN経済交流支援拠点について
- ・ASEAN市場のターゲットの推移の見込み
  - ・海外展開を志向していない市町村に対する認識と対応
  - ・市町村と企業及び団体に対する情報提供と商談支援への対応
  - ・経済交流支援拠点の開設時期及び今後の活用方法

5 食品輸出の取り組みについて

- ・食品輸出額の目標設定の考え方
- ・食の輸出拡大戦略の骨子案の目標額に対する他県における輸出実績の把握方法
- ・クール・HOKKAIDOの評価と今後の取り組み
- ・クールジャパン機構の投資案件が進まない要因と今後の支援策
- ・食品輸出の推進体制構築に向けた考え方
- ・加工食品の輸出拡大に向けた取り組み
- ・知事のトップセールスの実施内容

等について

**池端 英昭委員（民主）** から、

1 小規模企業振興条例について

- ・小規模企業を取り巻く環境課題への認識
- ・大企業との競争の激化への対応
- ・事業承継の促進に向けた取り組み
- ・北海道ブランドの流通と販路拡大の仕組み及び対象商品への考え
- ・ユニークな経営判断及びオリジナリティーの開発に向けた取り組み
- ・条例の実効性に対する部長の決意

2 産業人材育成事業について

- ・プロフェッショナル人材センターの設置目的
- ・センターの運営体制及び戦略マネジャーの採用基準
- ・プロフェッショナル人材の具体的基準内容
- ・経営改善及び企業成長に向けたセンターの取り組み内容
- ・道内企業への周知方法及び情報発信の手法
- ・受け入れ企業への財政的支援

等について

**久保秋 雄太委員（自民）** から、

1 低気圧によるホタテ被害に係る水産加工業者への支援について

- ・道の金融支援と職員の現地派遣への対応
- ・道の融資制度における返済期間の弾力的な対応の必要性

- ・道の支援に対する見解

等について

**小岩 均委員（民主）** から、

1 女性の就労対策について

- ・子どもの貧困対策につながる保護者への有効な対策
- ・一人親家庭の母親の就労状況及び収入などの現状
- ・子どもの貧困対策推進計画への取り組み

等について

**柿木 克弘委員（自民）** から、

1 若年者の雇用対策について

- ・新規学卒者の離職が多い産業・企業
- ・本道学卒者の離職率が高い要因に対する道の見解
- ・本道の若者無業者数の傾向と全国との比較内容
- ・若者の早期離職理由への若者及び企業の考え方
- ・早期離職の現状に対する道の受けとめ
- ・いわゆるオワハラに対する認識及び対応
- ・離職する若者の意識の調査・把握に対する考え方
- ・職場定着に向けた好事例の若者及び企業への情報発信
- ・若年無業者の人手不足分野への就業促進に対する見解
- ・若者の職場定着に向けた取り組みに対する部長の見解

等について

**中山 智廉委員（結志）** から、

1 地域経済の強化に向けた基本方針について

- ・道の各種方針及び計画の中の位置づけ
- ・目標設定の必要性への考え方
- ・市町村及び民間企業並びに地域住民との役割分担の考え方

2 食の輸出拡大戦略について

- ・数値目標の設定に当たっての国の国別・品目別輸出戦略との整合方法
- ・成案における関係者の役割に対する所見と道が果たすべき役割
- ・輸出拡大に向けた年次別取り組み工程表の作成に対する認識
- ・生産者等の所得向上に向けた取り組みに対する認識

3 魅力ある観光地づくりについて

- ・日本版DMOに対する道のスタンス
- ・国の「アクション・プログラム2015」に対する認識
- ・観光庁の地域資源を活用した観光地魅力創造事業の事業目的と日本版DMOの確立を目指したことへの解釈
- ・十勝ファームツーリズム等推進協議会の組織及び活動内容
- ・観光地魅力創造事業に対する考え方
- ・国のマニュアル完成に伴う今後の取り組みへの見解

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、経済企画室長、食関連産業室長、観光局長、地域経済局長、労働政策局長、国際経済室長、経済企画室参事、食関連産業室参事、観光局参事、中小企業課長、金融担当課長、地域商業担当課長、国際経済室参事、就業支援担当課長及び人材育成課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○ 9月29日（火） 開議 午前10時  
閉会 午後4時27分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
市橋 修治（民主）

① 経済部所管に対する質疑を続行し、  
**阿知良 寛美委員（公明）** から、

1 観光振興について

- ・今後の観光施策の取り組み
- ・道の新しい総合計画における観光振興の具体的な位置づけ及び今後の観光戦略の展開方針
- ・本道経済の活性化に向けた観光施策の重点内容及び進捗状況
- ・旅行商品の造成支援に向けた事業の目的と実施状況
- ・新幹線開業効果の全道波及に向けた取り組み
- ・新函館北斗駅における2次交通の整備状況と課題
- ・2次交通の課題克服に向けた取り組みと具体的なスケジュール
- ・道内空港における総合的な受け入れ体制の強化に向けた取り組み
- ・道民の観光需要の喚起や観光促進に向けた取り組み状況と今後の取り組み
- ・国内外観光客による経済波及効果の推移
- ・平成23年調査時の経済波及効果が平成12年か

ら減少した理由

- ・効果的な観光施策に向けた最新データの把握
- ・毎年度の経済効果に関する調査の実施に対する道の所見

2 海外との交流について

- ・サハリン州との交流拡大に向けた重点分野への取り組みの展開状況
- ・健康関連分野の交流における医療技術の向上に向けた主な取り組み
- ・医療機関等による医療交流内容と具体的な取り組み状況
- ・今後の交流展望に対する道の所見

3 企業誘致の推進について

- ・本道への企業立地件数の推移
- ・業種別と新設・増設別及び道内外別の企業立地状況
- ・食関連産業の立地背景の受けとめと立地状況
- ・市町村との連携による立地促進に向けた取り組み状況
- ・自動車関連産業の立地状況と道内部品調達の押し上げに向けた取り組み
- ・自動車関連産業のリスク分散を理由とした立地件数と主な要因
- ・立地件数のうちリスク分散を理由に挙げた企業数とその背景・要因に対する認識
- ・本社機能の誘致状況
- ・IT関連企業の地方拠点としたサテライトオフィスなどの誘致への所見
- ・データーセンター及びコールセンターの立地状況と道の取り組み状況
- ・企業誘致推進に向けた所見

4 高等技術専門学院について

- ・最近の入校と就職状況
- ・社会的ニーズに対応した訓練科目やカリキュラムの変更などによる人材育成への取り組みに対する所見
- ・学院での小中学生を対象としたものづくり体験への取り組み
- ・学院を活用した技術・技能系の人材不足への対応
- ・人材不足解消に向けた今後の人材育成

等について

**松山 丈史委員（民主）** から、

1 ASEAN経済交流支援拠点について

- ・旧シンガポール事務所の開設目的と閉鎖理由

- ・新たな拠点の設置理由と整備の考え方
- ・新たな経済交流拠点での具体的な業務内容と旧事務所との違い
- ・目的に合わせた設置年限の設定の有無と目的達成の判断の考え方
- ・シンガポールとの船舶往来の状況と定期直行便の就航予定の有無
- ・ASEANのショーケースの意味
- ・シンガポールに事務所を設置する理由

2 食の輸出拡大戦略について

- ・人口減少と食の輸出拡大との関係
- ・輸出支援拠点の活用への考え方
- ・輸出実績が少ない品目の内容
- ・展開方向の重点国・地域の具体的な構想の見込み
- ・輸出額以外の経済波及効果の推定状況
- ・海外展開に取り組む事業者の拡大に向けた取り組み状況と食の輸出に係る環境分析に対する見解
- ・為替変動を見据えた目標設定の必要性
- ・食の輸出拡大戦略の取りまとめに向けた所見

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、食関連産業室長、観光局長、産業振興局長、国際観光担当局長、国際経済室長、職業能力担当局長、食関連産業室参事、観光局参事、国際経済室参事、産業振興課長、立地担当課長及び職業訓練担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

**吉川 隆雅委員（自民）** から、

1 自衛官等の募集について

- ・道教委によるこれまでの要請内容及び改めての要請の有無
- ・家庭訪問の取り扱い
- ・報道への対応とその結果

2 高校施設を転用した高等支援学校について

- ・グラウンド敷地の必要面積の基準と余裕敷地の利活用の検討手順
- ・利用希望がある場合の手続及び利用実態
- ・道央圏高等支援学校の利用要望に対する対応状況及び地域との連携に向けた今後の利用促進に対する見解

3 小規模校のあり方について

- ・具体的な検討方法と対象となる学校数
- ・地域キャンパス校の再編整備基準と在籍者が20

人未満となった学校数及び地域からの意見や要望状況

- ・地域キャンパス校におけるこれまでの取り組みと課題
- ・遠隔授業の概要と研究開発への取り組み及びその成果
- ・環境整備充実に向けた今後の取り組み
- ・今後のキャンパス校のあり方に対する庁内検討方法及び今後の指針の検証方針

等について

**池端 英昭委員（民主）** から、

1 高校配置計画について

- ・地域の意見に対する認識と今後の対応及び教育の質の向上に対する所見
- ・中学校などの空き教室を活用した地域キャンパス校設置の可能性と課題
- ・国の制度改革の検討状況及び今後の指針に対する考え方

2 公立中学校夜間学級について

- ・意義と必要性に対する道教委の認識及び関連した国の動き
- ・フリースクールに通う子どもとの対象の違いと国会議員が検討している内容
- ・札幌市との連携における道の役割と振興局ごとに設置することに対する道教委の見解

等について

**藤沢 澄雄委員（自民）** から、

1 高校における主権者教育について

- ・道教委の考え方及びシティズンシップ教育との違い
- ・公選法の改正によるこれまでの指導内容との違いと緩和される高校生の政治活動の内容
- ・政治に関する教育に対する見解

2 教育の中立性について

- ・道教委の見解と授業に対する検証の必要性
- ・中立性を担保するための考え方
- ・過去の中立性を疑われる事例に係る道内の事例及びクリアファイル配付状況の確認とその結果
- ・調査結果により事実が判明した学校への指導状況
- ・全道調査実施と厳正な対処への考え方
- ・教育長の見解

等について

**小岩 均委員（民主）** から、

## 1 子どもの学力について

- ・北海道型学力観に対する道教委の見解
- ・学力向上を図るための新たな指針づくりの策定への考え方
- ・全国平均以上を目標とする取り組みへの見解
- ・学力観に基づく指導方法への取り組み
- ・小規模校教育の現状に対する見解と人口減少社会における具体的な対策
- ・小規模校教育に対する教育長の見解

等について

### 柿木 克弘委員（自民）から、

#### 1 小中学校の英語教育について

- ・小学校における英語教育の状況及び国における検討状況
- ・小学校教員の指導力向上に係る道教委の取り組み
- ・国が求める中学校の英語教育の改善内容と国の方針性を踏まえた本道の課題
- ・英語力に関する目標設定に対する道教委の見解及び道独自の英語検定に対する考え方

#### 2 家庭教育支援について

- ・道教委のこれまでの取り組み
- ・「学びカフェ」の目的と今年度の進め方
- ・学びのセーフティーネットを構築するための今後の対応
- ・幼児期の子どもを持つ保護者への取り組み
- ・小学校入学時期の子どもを持つ保護者への支援に係る見解
- ・思春期の子どもを持つ保護者への支援に係る見解

#### 3 知事部局との連携について

- ・第2回総合教育会議における意見交換内容と連携チームの設置体制
- ・新たな連携チームの設置に対する見解
- ・将来の人材育成に向けた教育長の考え方

等について

### 中山 智康委員（結志）から、

#### 1 全国学力・学習状況調査について

- ・実施目的とこれまでの活用方法及び目標
- ・目標が達成できなかった理由
- ・目標設定方法に対する見解
- ・子どもたちの学習習慣による質問紙調査結果と学校に対する平成26年調査結果への見解
- ・学力テストと質問紙調査との相関関係に係る簡易なデータ分析への見解

- ・偏差値活用による目標値設定への見解と今年度の全国トップ県と本道との偏差値
- ・科目間の相関関係の比較方法に対する見解
- ・非正規雇用と離婚率との相関関係調査の必要性
- ・報告書における比較対象への考え方
- ・知事部局との連携に対する見解

等について

### 阿知良 寛美委員（公明）から、

#### 1 いじめ・不登校問題について

- ・いじめに関する調査結果が公表されていない理由と今後の見通し
- ・本道における平成26年度の不登校児童生徒の状況及び不登校の増加要因
- ・いじめと不登校に対する道教委の認識
- ・登校するようになった児童生徒数及び学校による措置の効果のあった事例
- ・不登校者に対する学校外の関係機関による支援状況及び今後の取り組み方針について。

#### 2 道立美術館等について

- ・各美術館における収蔵作品の有効活用状況及び学校教育への活用の必要性に対する所見
- ・施設の有効活用の取り組みに対する見解
- ・今後の美術館の役割に対する認識
- ・施設の修繕要望に対する今後の対応と近年の修繕工事の事例
- ・修繕工事の実施基準と中長期的視点に立った計画的修繕への所見

#### 3 特別支援学校について

- ・札幌市及び近郊に設置されている高等支援学校における過去5年間の在籍者数の推移
- ・在籍者数増加への対応と受け入れ体制整備に要した予算総額
- ・今後の道央圏における高等支援学校の間口確保の見通し
- ・札幌市と連携した学校整備に向けた取り組み方針

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長、学校教育局長、指導担当局長、特別支援教育担当局長、生涯学習推進局長、新しい高校づくり推進室長、法制・行政管理担当課長、施設課長、服務担当課長、高校教育課長、義務教育課長、教育環境支援担当課長、特別支援教育課長、学校教育局参事、生涯学習課長、文化財・博物館課長及び新しい高校づくり推進室参事から答弁があって、教育委員会所管に関する質疑を終結。

## 予算特別委員会

○9月30日（水） 開議 午前10時1分  
閉会 午後4時6分  
第1委員会室  
委員長 東 国幹（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 各分科会において保留された事項について、  
**知事に対する総括質疑**に入り、  
**松浦 宗信委員（自民）**から、
- 1 ASEAN経済交流支援拠点について
    - ・シンガポールへの設置時期及び活用方針
  - 2 ホッカイドウ競馬について
    - ・次期競馬推進プラン策定に当たってのAiba札幌駅前の代替地選定と資金の内部留保の必要性
  - 3 地域交通について
    - ・JR北海道再生推進会議の提言を待っていたかのようなJR北海道の一連の動きに対する認識と今後の対応方針
  - 4 消防防災ヘリコプターの運航体制について
    - ・パイロット確保に向けた今後の取り組み方
  - 5 防災対策について
    - ・自治体職員の危機管理意識の醸成に向けた今後の取り組み方
    - ・防災対策の充実に向けての市町村とも連携した避難対策の総点検の必要性に対する見解
  - 6 行財政運営について
    - ・これまでの行財政改革の取り組みに対する認識
    - ・今後の行政改革に向けた取り組み方針
    - ・今後の財政運営に当たっての人口減少問題への傾注と道職員の処遇見直しの必要性に対する見解
  - 7 北海道創生総合戦略などについて
    - ・人口減少問題に係る基本戦略の柱立ての改め方と進め方
    - ・本道の目指す姿の描き方等について
- 等について  
**松山 丈史委員（民主）**から、

- 1 行財政改革について
  - ・これまでの行政改革への取り組みに対する認識及び次期行財政改革の方向性
- 2 創生総合戦略について
  - ・総合戦略への取り組みに当たっての産官学金労言の各役割及び取り組みの実効性を担保するための連携のあり方に対する所見
  - ・総合戦略を推進していく上での事業継続に向けた制度設計及び国に対する財政措置の要望に対する所見
- 3 地域交通ネットワークについて
  - ・新千歳空港の発着枠拡大に関する公約の達成に対する認識とこれまでの膠着した状況を開けるための航空会社や地元経済界への協力要請に対する所見
- 4 消防防災、救急・救命について
  - ・消防防災ヘリコプターの24時間運航体制の維持が困難となっている事態に対する認識と今後の抜本的な取り組みに対する所見
- 5 TPPについて
  - ・北海道農業を守るために取り組みに対する所見
- 6 農業生産基盤整備について
  - ・パワーアップ事業の継続に対する見解
- 7 個人情報の管理について
  - ・保健福祉部における外付けハードディスク紛失事案に対する所見及び情報管理に対する認識
  - ・記憶媒体の管理・チェック体制の強化に対する所見
- 8 ASEAN経済交流支援拠点について
  - ・支援拠点設置に至る経緯及び閉鎖に当たっての判断基準
- 9 食の輸出拡大戦略について
  - ・食の輸出拡大戦略への取り組みに伴う本道経済と人口の今後の見通し
- 10 北海道総合計画等、北海道の将来像に対する児童生徒への学習、意見表明の機会の必要性について
  - ・高校配置計画や総合計画等の各種計画に広く児童生徒等の意見を取り入れることに対する見解
- 11 グローバル人材育成プログラムについて
  - ・プログラムに係る検討会議の立ち上げの必要性に対する見解

- 12 生活困窮者自立支援制度及び子どもの貧困解消にかかる施策について
- ・求職者支援制度や自立支援給付金等の活用を積極的に進める状況づくりに対する見解
  - ・生活困窮者自立支援制度を運用する事業者等への支援の取り組みに対する見解
  - ・子どもたちが負い目を感じない生活困窮者自立支援制度による学習支援制度への改善に対する見解
  - ・部局を横断した子どもへの包括的な支援に対する見解
- 13 地域医療構想について
- ・地域医療構想調整会議における道の役割の明確化と議論の進め方に対する所見

等について

**中山 智康委員（結志）から、**

- 1 地域医療について
- ・道立病院の経営形態の見直し及びその実施時期に対する所見
- 2 サケ・マス流し網漁業の存続について
- ・サケ・マス漁業の存続への体制づくりに向けた今後の取り組み方に対する知事の意気込み
- 3 「社会基盤」としての道立高校について
- ・道立高校を必要不可欠な「社会基盤」として北海道総合教育大綱に明確に位置づけることに対する所見
- 4 食の輸出拡大戦略について
- ・食の輸出拡大に向けた推進体制の強化及び一本化に対する見解
  - ・食の輸出拡大に伴う地域経済への影響を検証する指標や仕組みの必要性に対する見解
- 5 魅力ある観光地づくりについて
- ・魅力ある観光地づくりに有効な「日本版DMO」の設立支援・育成への着手に対する所見
- 6 新電力の導入について
- ・再生可能エネルギーの普及拡大に向けた府舎への積極的な新電力の導入に対する所見
- 7 ノーザンレスキューと防災対策について
- ・ノーザンレスキューを通じて明らかになった被災後における孤立者救援等の課題への道が主体となった防災対策に対する知事の決意

等について

**阿知良 寛美委員（公明）から、**

- 1 児童相談所について
- ・児童虐待が増加している状況に対する認識

- ・市町村の児童相談業務に係る道の支援体制に対する所見
  - ・各振興局ごとの児童相談所の設置に対する所見
- 2 観光振興について
- ・北海道新幹線開業の経済効果を全道へ波及させる取り組みの展開に対する所見
  - ・平成27年度の観光動向の調査結果を踏まえた平成28年度における観光施策の展開
- 3 文化発信について
- ・北海道新幹線開業を捉えた文化資源の積極的な発信に対する所見
  - ・道南地域の交通拠点での資料展示などによる文化発信への取り組みに対する所見
- 4 海外との交流について
- ・健康や医療分野における交流促進に向けた医療機関との連携による新たな取り組みの検討に対する所見
- 5 札幌医科大学について
- ・札幌医科大学が果たしてきた社会貢献に対する所見
  - ・関係機関が連携した新たな医師派遣システムの検討に対する所見
  - ・再生医療の実用化に向けた支援に対する所見

等について

**佐野 弘美委員（共産）から、**

- 1 地方交通等について
- ・JR日高線の復旧に向けた早急な対応に対する知事の決意
  - ・JR北海道における不明確な基準に基づく駅の無人化に対する認識と今後の対応
- 2 子どもの貧困対策等について
- ・子どもの貧困問題に対する見解
  - ・子どもの貧困に関する実態把握の必要性
  - ・北海道子どもの貧困対策推進計画における表現の見直し
  - ・ワーキングプア状態の方々への生活保護制度の周知と活用に対する今後の取り組み
  - ・子どもたちが人間としての尊厳を持ち子どもの幸福度を高めるための新たな経済的支援への踏み出し
- 3 人口減少と貧困等について
- ・市町村の人口減少や過疎対策に対するこれまで以上の道の支援の必要性に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、

総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号については、意見の一致を見るに至らなかつた旨の報告の後、議案第1号を問題とし、討論に入り、佐野弘美委員（共産）から反対討論があつて討論終結。採決に入り、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決することに決定。  
次に、議案第2号及び第3号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 中野秀敏委員（自民）から、配付の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮つて動議成立。本動議を直ちに議題とし、動議のとおり決することを諮り、異議なく決定。
- ⑥ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑦ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

## 附 帯 意 見

- 1. 人口減少問題への対応は、現に本道に住む道民と、将来、本道に住むことになる人たちにとって待ったなしの取り組みであり、本道の将来を確実なものとする取り組みである。

北海道創生総合戦略は、これまでの経済重視の考え方から、生活を重視する考え方へ転換を図り、本道の人口減少問題に対して、道が市町村とともに取り組むことによって、誰もが、住みたい、住み続けたいと思える北海道を築くための指針とすべきである。

- 1. 本道経済の活性化のためには、北海道人気が高く、急速に成長するASEAN地域の成長力を取り込む必要がある。

道が設置するASEAN経済交流支援拠点については、これまでの取り組みを精査した上で、道内の市町村及び企業等が積極的な海外展開に取り組むことができるよう、国及び現地法人との密接な連携のもと、迅速かつ正確な情報提供と相談支援機能の充実に取り組むべきである。

- 1. 関東・東北豪雨では、避難勧告のおくれや自治体間の連携不足があつたとされており、本道において、道民の安全確保に当たつて遺漏のないよう、避難対策の万全化が求められている。

近年、集中豪雨など自然災害が頻発している中、避難対策について総点検を行い、市町村、国などの関係機関との密接な連携のもと、災害時における道民の安全確保に取り組むべきである。

- 1. 道は、JR北海道に対し、赤字路線の廃止、駅の廃止、有人駅の無人駅化など、事業の見直しについて、道民はもとより、沿線自治体や住民の意見を十分に受けとめ、安易な路線廃止などを行わないよう強く求めるべきである。

また、JR日高線の早急な運行再開と、道内の全路線における安全運行体制を早期に構築するよう、JR北海道及び国に対して強く求めるべきである。

## 資料

### 第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道職員等の退職手当に関する条例及び北海道職員等の再任用に関する条例の一部を改正する条例	H27. 10. 2	H27. 10. 13	北海道条例第49号
北海道税条例の一部を改正する条例	H27. 10. 2	H27. 10. 13	北海道条例第50号
北海道流域下水道条例の一部を改正する条例	H27. 10. 2	H27. 10. 13	北海道条例第51号
北海道立学校条例の一部を改正する条例	H27. 10. 2	H27. 10. 13	北海道条例第52号

## 7月の出来事

- 1日 ○ロシア200カイリ内のサケ・マス流し網漁を2016年1月から禁止する法案が成立。これによりロシア水域における北洋サケ・マス流し網漁は今季限りとなった。
- 1日 ○総務省は、2015年1月1日時点の住民基本台帳人口を発表。北海道の日本人は前年同期比3万2323人減の540万8756人と17年連続で減少。減少数は3年連続で都道府県別では最多となった。
- 6日 ○高橋はるみ知事は、農林水産相にロシア海域で2016年からサケ・マス流し網漁が禁止になることで影響を受ける道東の漁業者などへの支援を要請した。
- 7日 ○九州電力は、川内原発1号機の原子炉に核燃料を装填する作業を開始し、10日未明に計157体を入れ終えた。計画通り進めば、新規制基準下で初の原発再稼働となる見込み。
- 9日 ○札幌地裁は、小樽市錢函で2014年7月、海水浴帰りの女性4人が死傷した飲酒ひき逃げ事件で、自動車運転処罰法違反(危険運転致死傷)などの罪に問われた海津雅英被告の裁判員裁判判決公判において、懲役22年を言い渡した。
- 14日 ○高橋はるみ知事は、日高管内新冠町を訪れ、1月から不通が続くJR北海道日高線の災害現場を視察後、地元首長らとの意見交換会で、早期復旧に向けてJR北海道や国への要望を重ねる考えを強調。
- 16日 ○集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案は、衆議院本会議で自民、公明両党などの賛成多数で可決され、衆議院を通過。
- 18日 ○道は、千島列島東側のロシア200カイリ水域で操業していた十勝管内広尾町の広尾漁協所属の小型サケ・マス流し網漁船が17日夜、帰港途中の道東沖でロシア国境警備局に、漁獲超過を理由に拿捕されたと発表。
- 22日 ○内閣府は、新たな経済財政の中長期試算を経済財政諮問会議に提出。2020年度の国と地方の基礎的財政収支(プライマリーバランス、PB)は約6兆2000億円の赤字で、景気回復による税収増などを見込み、平成27年2月の試算より3兆2000億円圧縮できるとの試算を示した。
- 22日 ○政府観光局は、平成27年上半年(1~6月)の訪日外国人旅行者数が推計で913万9900人に上ったと発表。過去最高だった平成26年上半年の約1.5倍にふえた。
- 24日 ○道は、2025年時点に必要とする道内の病床数を、人口減少や在宅医療への転換などで2013年より1万500~1万5000床削減し、6万8500~7万3000床とする推計を発表。2次医療圏別では、北渡島檜山が45.9%、南檜山が45.6%の大幅減となった。
- 28日 ○参議院の「1票の格差」是正に向けた選挙制度改革で、隣接選挙区を統合する二つの合区を含む定数「10増10減」の改正公職選挙法が衆議院本会議で可決、成立。北海道選挙区の定数は4から6にふえる。都道府県単位の参議院選挙区の統合は現憲法下で初めて。
- 29日 ○厚生労働相の諮問機関である中央最低賃金審議会は、2015年度の地域別最低賃金(時給)の改定について、全国平均で18円引き上げて798円とすることを決めた。北海道は、16円の引き上げで764円となり、最低賃金が生活保護費の受給水準を下回る「逆転現象」は引き続き回避される見通し。
- 31日 ○環太平洋連携協定(TPP)交渉の閣僚会合に合わせて米国ハワイ州を訪れていた高橋はるみ知事は、甘利明TPP担当相と面会し、日本の重要5農産物の関税を守るとした国会決議の遵守を求める全国知事会の要請書を手渡した。
- 31日 ○道議会は、2014年度に道議と会派に交付された政務活動費の収支報告の状況と、額面1円以上の全ての領収書のコピーを公開。政務活動費の執行率は92.4%(前年度比3ポイント減)で、3年ぶりに減少。

## 8月の出来事

- 4日 ○政府は、自治体の地方創生を支援するための新型交付金について、国費と地元負担をそれぞれ1000億円超とし、事業費ベースで2000億円超とする方針を決定。
- 5日 ○道議会会派の自民党・道民会議は、飲酒運転根絶条例の素案を発表。年内の条例制定に向けて、素案を基に他会派と調整した上で共同で議員提案し、可決を目指す。
- 5日 ○中央教育審議会の特別部会は、高校では新しい必修科目として、世界史と日本史を統合した「歴史総合」(仮称)や、政治参加など幅広い課題を学ぶ「公共」(仮称)等を設け、小学校では英語を教科に格上げする学習指導要領の改定骨格案を明らかにした。
- 6日 ○日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センターの清水和彦所長は、当初計画で20年程度としている研究期間について、幌延町や道との協議が調べば延長が可能との考えを示した。
- 9日 ○被爆から70年を迎えた長崎原爆犠牲者慰靈平和祈念式典で、田上富久市長は、安全保障関連法案に言及し、慎重に審議するよう求めた。安倍晋三首相も、挨拶で、広島平和祈念式典で言及しなかった「非核三原則の堅持」を明言した。
- 10日 ○JR北海道の島田修社長は、留萌線の留萌一増毛間沿線の留萌市の高橋定敏市長、増毛町の堀雅志町長に対し、2016年度中に同区間を廃止する方針を正式に伝えた。
- 10日 ○農林水産省は、2015年上半年の農林水産物の輸出額を発表。前年同期比24.9%増の3547億円となり、上半年の統計を始めた2005年以降の最高を記録した。
- 11日 ○九州電力は、川内原発1号機(鹿児島県)の原子炉を起動し再稼働させた。2011年3月の東京電力福島第一原発事故後、新規制基準下での原発再稼働は、全国で初めて。
- 12日 ○北海道地方最低賃金審議会は、道内の2015年度の最低賃金(時給)を昨年度より16円引き上げて764円とすることを北海道労働局に答申した。
- 14日 ○政府は、臨時閣議で、安倍晋三首相の戦後70年談話を決定。先の大戦をめぐる日本の「植民地支配」、「侵略」、「反省」、「おわび」の文言は明記されたが、謝罪の意思は過去の首相談話に言及する間接的な形にとどまった。
- 19日 ○日本政府観光局は、1~7月に日本を訪れた外国人旅行者が推計で前年同期比46.9%増の1105万8300人だったと発表。政府が掲げている2020年までに訪日外国人旅行者2000万人にする目標を、2015年内に達成する可能性も出てきた。
- 22日 ○新千歳空港の24時間運用に関する千歳市地域協議会で、住民側は、深夜・早朝の発着枠を現行の6回から30回に拡大する合意文書に調印。内陸型空港で深夜・早朝に30便の離着陸が可能となるのは全国初。
- 22日 ○ロシアのメドベージェフ首相が、北方領土の択捉島を訪問。岸田文雄外相は、ロシアの駐日大使を呼び強く抗議した。
- 25日 ○文部科学省は、2015年度の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を公表。北海道は、科目別平均正答率で、公立校の中學理科が全科目を通じて初めて全国平均を上回った。
- 27日 ○道は、2014年度の道内観光客数を発表。道内観光客の合計は、前年度比1.3%増の5377万人で、1997年度以降で最高を記録。外国人観光客も、前年度比33.7%増の154万1300人となり、3年連続で過去最高を更新した。
- 28日 ○全国の農協を束ねる全国農業協同組合中央会(JA全中)の一般社団法人化を柱とする農協法改正案が参議院本会議で賛成多数により可決、成立。JA全中は、農協法上の組織でなくなり、農協に対する指導、監査権を失うなど権限が縮小することとなつた。

## 9月の出来事

- 1日 ○道教委は、2016年～2018年度の公立高校配置計画を決定。2016年度に奥尻高校(檜山管内奥尻町)が道立高校として初めて町立に移管されることとなった。
- 3日 ○個人情報保護法及びマイナンバー法の改正案が衆議院本会議で可決・成立。マイナンバー制度は、国民に番号を割り当てて行政手続に活用する。2018年からは金融機関の預金口座にも任意で適用される。
- 3日 ○北太平洋の漁業資源保護を議論する「北太平洋漁業委員会(NPFC)」は、公海でのサンマの乱獲を防ぎ、資源を国際的に保護することで合意。
- 4日 ○電源開発は、青森県大間町に建設中の大間原子力発電所に関する運転開始時期を、2021年度から1年程度先送りすることを地元3町村、青森県、函館市と道に報告。
- 8日 ○自民党総裁選が告示され、安倍晋三首相が無投票で再選された。
- 9日 ○JR北海道の島田社長は、定例会見で、2016年度から18年度は150億円規模の経常赤字が続く見通しを示し、収入確保と経費節減、事業範囲の見直しの必要性について述べた。
- 10日 ○日本の人口や世帯構成などを調べる5年に一度の国政調査が始まり、パソコンやスマートフォンを使用したインターネット回答が初めて全国的に導入された。
- 10日 ○台風18号の影響で関東や東北で記録的な豪雨が降り、10日には茨城県常総市三坂町の鬼怒川で、11日には宮城県大崎市の渋井川で堤防が決壊し、大規模な水害に見舞われた。
- 11日 ○厚生労働省は、2015年度の全国の100歳以上の高齢者が前年度比2748人増の6万2748人に上ると発表。1971年から45年連続で過去最多を更新した。道内は、前年度比112人増の2830人。
- 14日 ○熊本県・阿蘇山の中岳で噴火が発生。2000メートル級の噴煙は1994年12月以来。
- 14日 ○JR北海道は、1月から盛り土流出により不通が続くJR日高線鶴川一様似間の2カ所で、新たに土砂が流出したと発表。
- 15日 ○高橋はるみ知事は、主要政策に掲げる道産食品輸出額1000億円の達成に向け、道産品アンテナショップ「北海道どさんこプラザ」の海外1号店を年内にもシンガポールにオープンすることを明らかにした。
- 16日 ○JR北海道とJR東日本は、北海道新幹線(新青森～新函館北斗間)の平成28年3月26日の開業を正式発表。運行本数は1日13往復。また、開業と同時に廃止される並行在来線、江差線の五稜郭～木古内間を引き継ぐ道南いさりび鉄道も、同年3月26日からの運行開始を発表。
- 19日 ○集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法案が、参議院本会議で採決され、賛成多数で可決・成立。
- 19日 ○世界ジオパークへの登録を審査する世界ジオパークネットワークは、日本から申請されていた日高管内様似町の「アポイ岳」を新たに認定したと発表。道内では、2009年の「洞爺湖有珠山」以来。
- 24日 ○北海道電力の真弓明彦社長は、記者会見で、全3基が運転停止している泊原発(後志管内泊村)について、2016年3月までの再稼働の断念を正式に表明。
- 28日 ○世界貿易機関(WTO)は、ジュネーブで紛争処理機関会合を開き、東京電力福島第一原発事故を理由に韓国が日本からの水産物輸入を規制している問題の審理開始を正式に決めた。
- 29日 ○国連総会に出席中の安倍晋三首相は、国連本部でロシアのプーチン大統領と会談。北方領土問題について、2013年4月の日ロ共同声明に基づき、日ロ双方が受け入れ可能な解決策を作成するため交渉の前進を図ることを確認した。

試される大地

# 北海道

**北海道議会時報**  
**第67巻 第4号**

編集 北海道議会事務局政策調査課  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西6丁目  
TEL 011-204-5691  
E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp  
発行 平成27年11月26日